

草加市子ども教育の連携に関する 児童生徒アンケート調査報告書

**平成30年3月
草加市**

目次

第1部 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 配布・回収状況	3
4 主な調査事項	3
5 結果の概要と分析	4
(1) 「自己肯定感」「自己有用感」について	4
(2) 「命の大切さ」について	6
(3) 「家庭学習」について	7
(4) 社会性について	8
(5) 「自己肯定感」「自己有用感」と関連のある質問項目について	9
6 調査のまとめ	10
7 調査結果の利用にあたって	10
第2部 調査結果	11
(1) 学年別自己肯定感・自己有用感	13
(2) 自己肯定感・自己有用感	43
(3) 学校生活について	45
(4) 学校における活動経験について	51
(5) 乗り入れ授業で感じたことについて	54
第3部 資料（調査票）	55
＜小学3年生調査票＞	57
＜小学4年生調査票＞	58
＜小学5年生調査票＞	59
＜小学6年生調査票＞	60
＜中学1年生調査票＞	61
＜中学2年生調査票＞	62
＜中学3年生調査票＞	63

第 1 部 調査概要

1 調査の目的

次の2点について、市内小・中学校における実態を把握し、その実態を踏まえ、子ども教育の連携推進に関わる施策について検討を行う際の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

①子ども教育連携によって育みたい「自己肯定感」「自己有用感」の実態について、第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画の進展に伴う変容を明らかにします。

自己肯定感→「自分は大切な存在だ」と思える心のこと。

自己有用感→「自分が他人に必要とされている」と思える心のこと。

②児童生徒が学校生活に対して抱く期待や不安、交流・連携に対する感想、乗り入れ授業に対する感想を調べ、これまでの交流・連携が児童生徒にどのように受け止められているのかを明らかにします。

2 調査の方法

【対象者】 市内の小学校3年生から中学3年生までの児童生徒

【調査方法】 市立小・中学校にアンケート調査票を配布し、学年ごとに1学級ずつランダムで指定した学級で調査を実施後、回収

【調査期間】 平成29年6月12日から6月19日まで

【標本誤差】 本調査は、抽出調査のため、誤差が生じます。小中学校それぞれの標準誤差は次のとおりです。

小学校：95%の可能性で、誤差が±3%の範囲内。(誤差±3%、信頼度95%)

中学校：95%の可能性で、誤差が±4%の範囲内。(誤差±4%、信頼度95%)

3 配布・回収状況

対象者		配布数(件)	回収数(件)	回収率(%)
小学校	3年生	716	714	99.7%
	4年生	711	698	98.2%
	5年生	712	706	99.2%
	6年生	721	708	98.2%
小学校計		2,860	2,826	98.8%
中学校	1年生	366	359	98.1%
	2年生	395	370	93.7%
	3年生	395	379	95.9%
中学校計		1,156	1,108	95.8%
全体合計		4,016	3,934	98.0%

4 主な調査事項

- 1 (1)・(2) 第一次基本方針・行動計画から継続している課題について
- 1 (3)・(4) 学習の状況について
- 1 (5)～(7) 自ら学ぶ力について
- 1 (8)～(13) 豊かな心について
- 1 (14)～(21) たくましく生きる力について
- 1 (22)・(23) 自己肯定感をはぐくむと考えられるその他の要因について
- 1 (24)～(27) 自己肯定感について

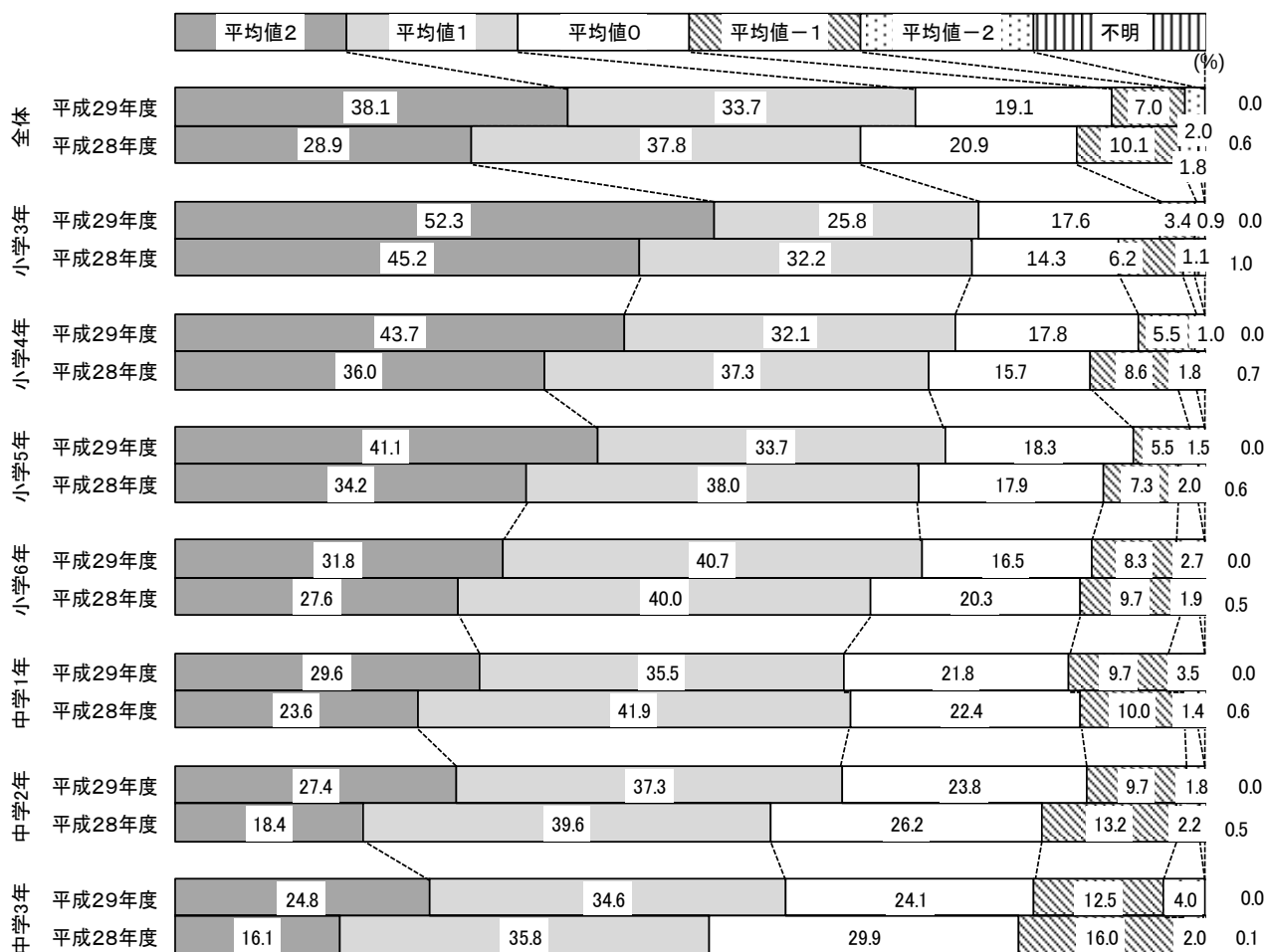
- 1 (28)・(29) 自己有用感について
- 1 (30)～(33) 中学生及び中学校の先生との交流・連携について（小学校6年生のみ）
- 2 学校生活に対する期待や不安について
- 3 異年齢の子どもとの交流について
- 4 乗り入れ授業について（小学校6年生のみ）

5 結果の概要と分析

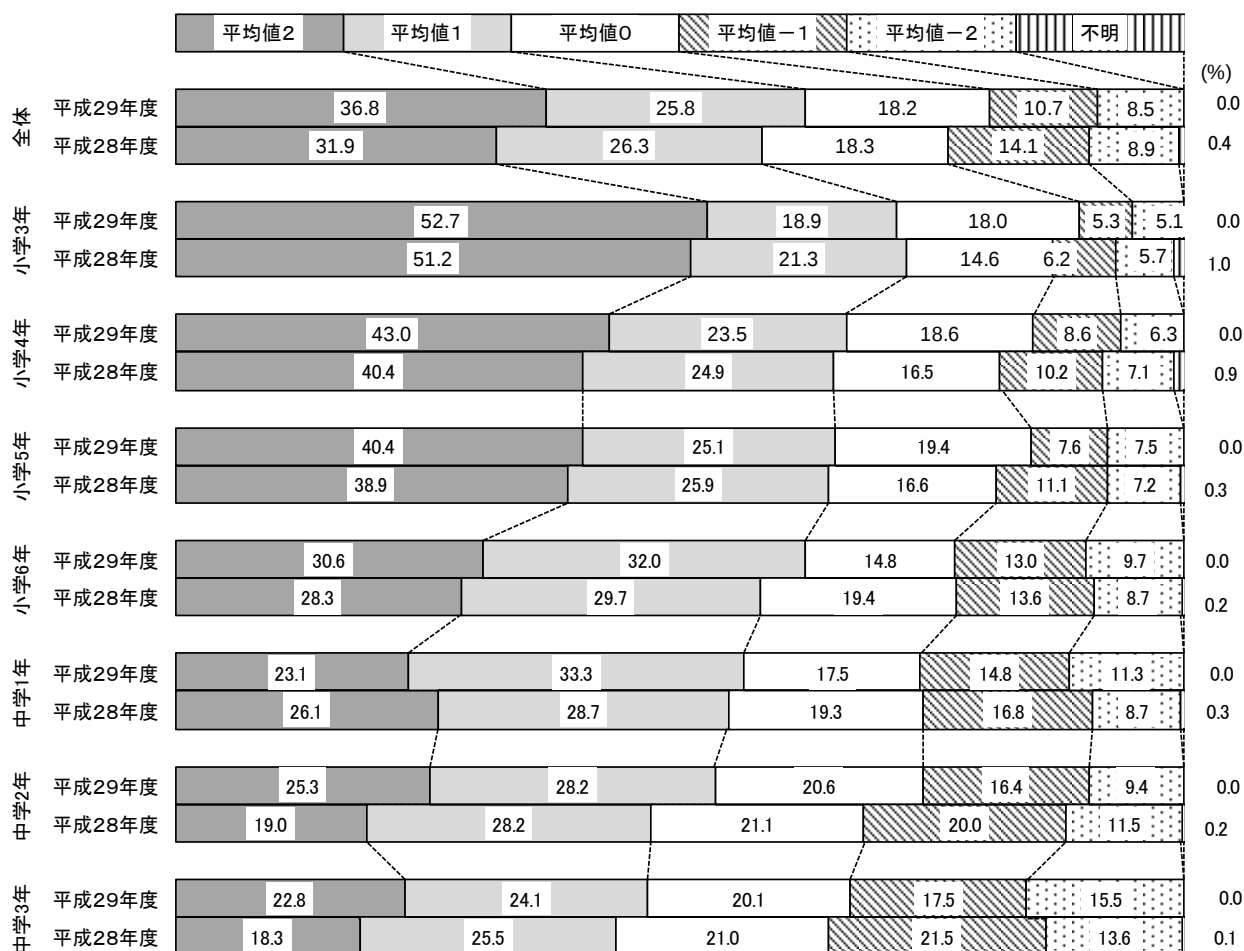
(1) 「自己肯定感」「自己有用感」について

「自己肯定感」に関する設問（1 (24)～(27)）と、「自己有用感」に関する設問（1 (28),(29)）の回答について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえは当てはまらない」を－1点、「当てはまらない」を－2点として、平均値を算出しました。「平均値2」が最も「自己肯定感」「自己有用感」が高く、「平均値－2」が最も「自己肯定感」「自己有用感」が低いことを表します。

〔自己肯定感〕



〔自己有用感〕

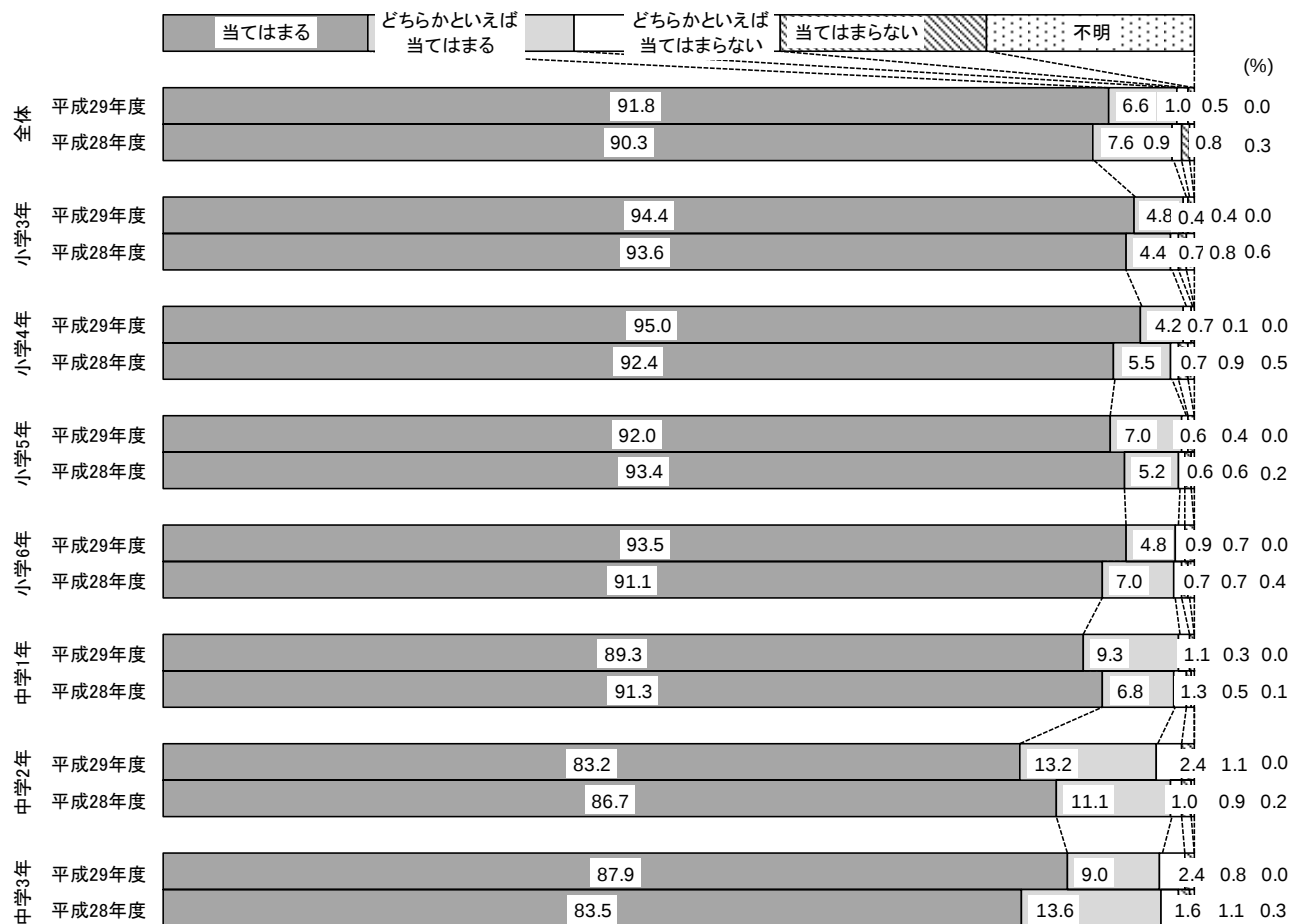


【分析】

- 自己肯定感、自己有用感ともに、ほぼすべての学年で昨年度よりも平均値2、平均値1の割合が増加しています。特に中学2年、中学3年の割合は、他学年よりも大きく増加しています。これまでの子ども教育の連携に関する取組が効果を上げていると推測できます。
- 平均値2、平均値1の学年間の変化に注目すると、小3→小4は、昨年度に引き続き減少幅が大きいです。また、平成28年度は、小5→小6及び中1→中2の減少幅が大きかったが、平成29年度は、小6→中1及び中2→中3の減少幅が大きくなっています。このことから、小3～小4、小5～中1、中1～中3の3つの時期に自己肯定感や自己有用感が薄れやすいことが分かります。

(2)「命の大切さ」について

Q1 自分自身に当てはまること 自分や相手の命は大切だと思う。

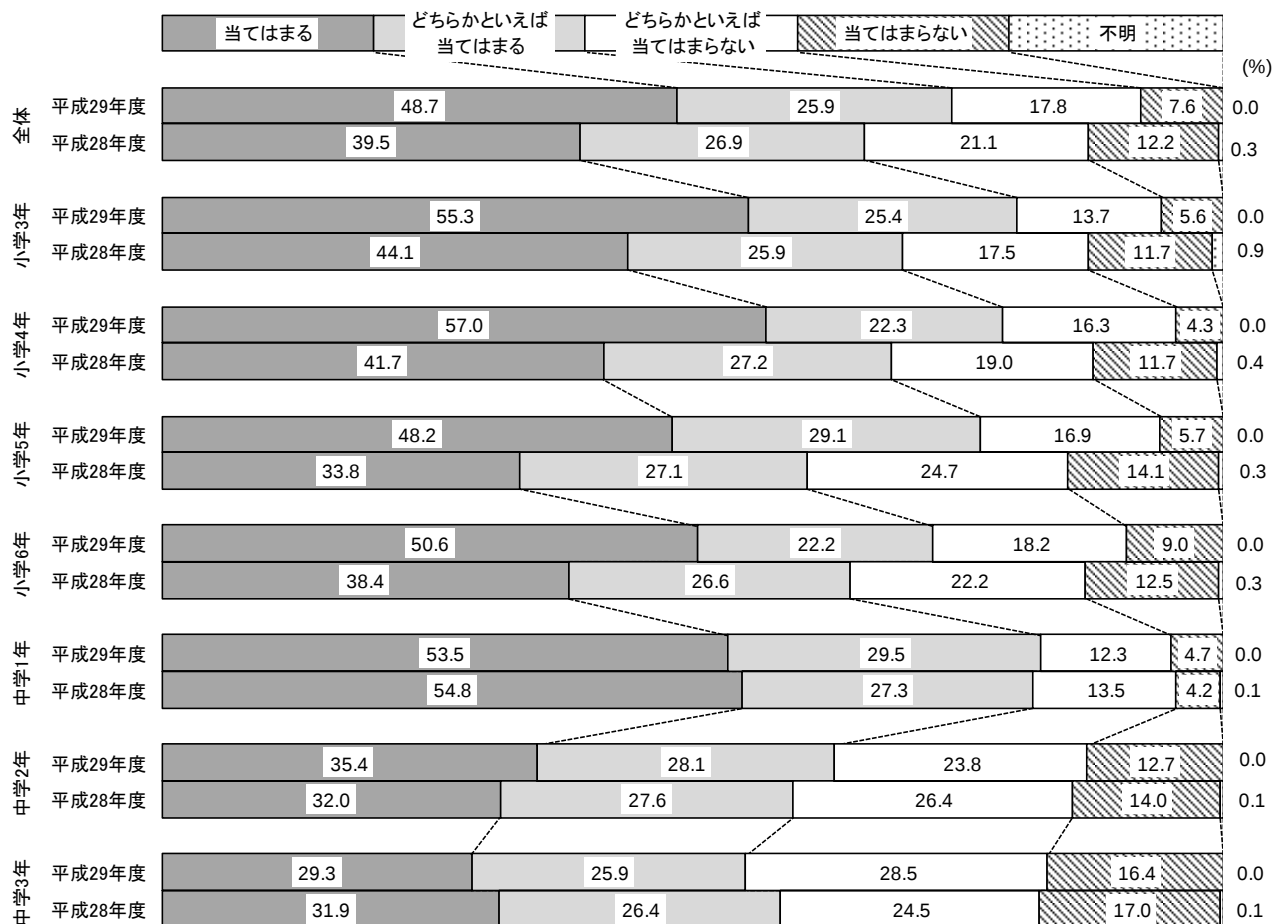


【分析】

- ・全体では、若干肯定的な回答が増加しているが、学年ごとに見ると増加した学年と減少した学年が混在しています。
- ・否定的な回答をした子どもの割合は、学年が上がるにつれて、若干増える傾向にあります。
- ・平成28年度と同様に、他の設問と比較して「当てはまる」の割合が極めて高く、命の大切さに関する指導が効果を上げていると推測できます。
- ・「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と答えた子どもは中学2年を除いて1%未満になりましたが、平成29年度は抽出調査のため誤差を考慮する必要があります。引き続き、否定的な回答をした子どもには、個別に対応する必要があります。

(3)「家庭学習」について

Q1 自分自身に当てはまること 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

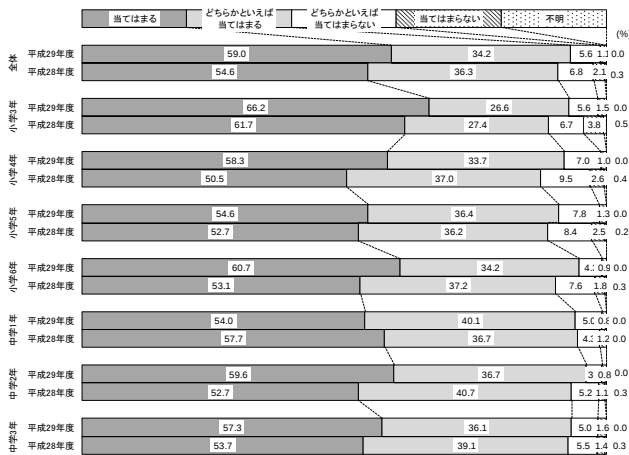


【分析】

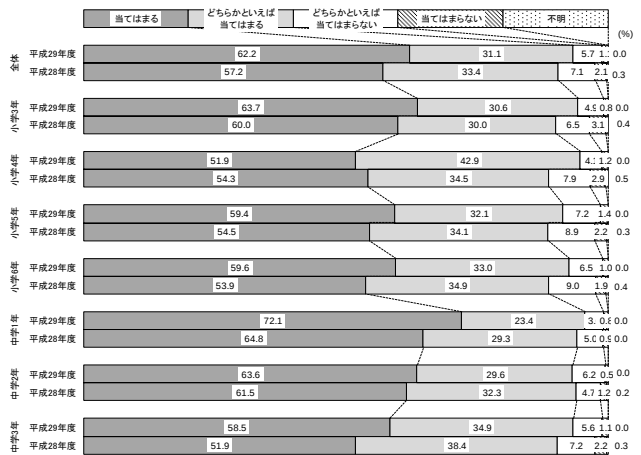
- ・肯定的な回答をした子どもの割合は、中学3年以外で増加しています。特に、小学3～6年が大きく増加しており、家庭学習に関する指導が効果を上げていると推測できます。
- ・平成28年度と同様に、肯定的な回答をした子どもの割合は中学1年が最も高く、小中学校で行っている「中学校進学に際する家庭学習の重要性についての指導」が効果を上げていると推測できます。
- ・平成28年度から若干改善しているが、中学1年から中学2年にかけて肯定的な回答の割合が大きく減少しており、引き続き家庭学習の習慣づけについて指導を充実させる必要があります。

(4) 社会性について

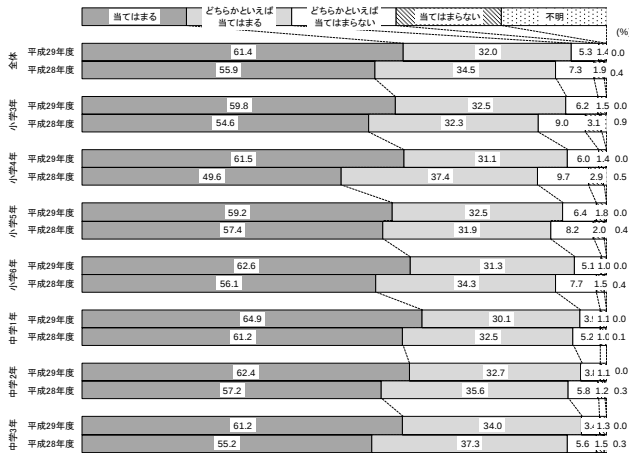
【我慢することができる】



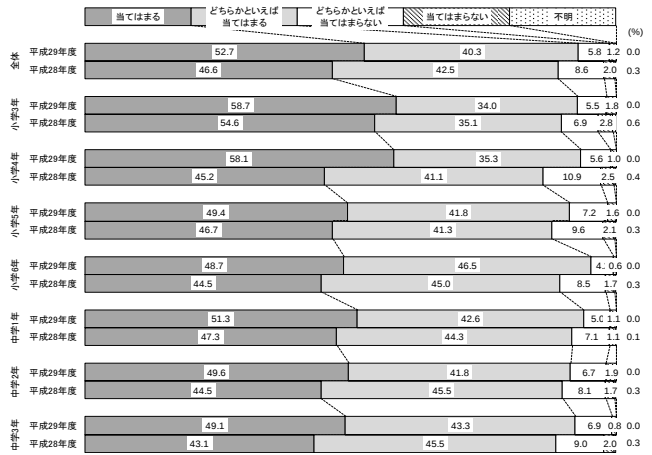
【あいさつや返事をしっかりしている】



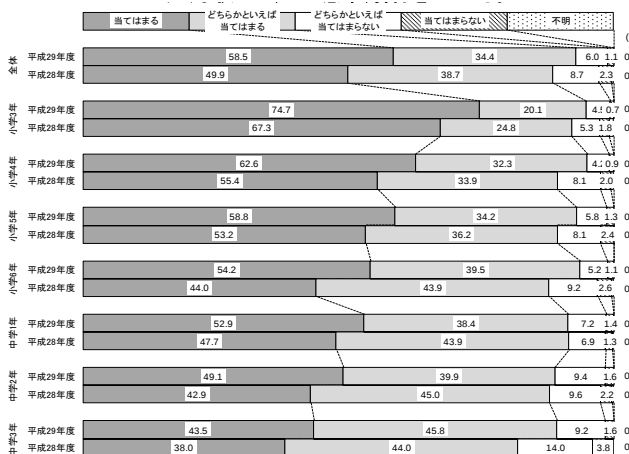
【相手や場所に合せて、ていねいな言葉をつかう】



【きまりを守ることができる】



【一生懸命、掃除をしている】



【分析】

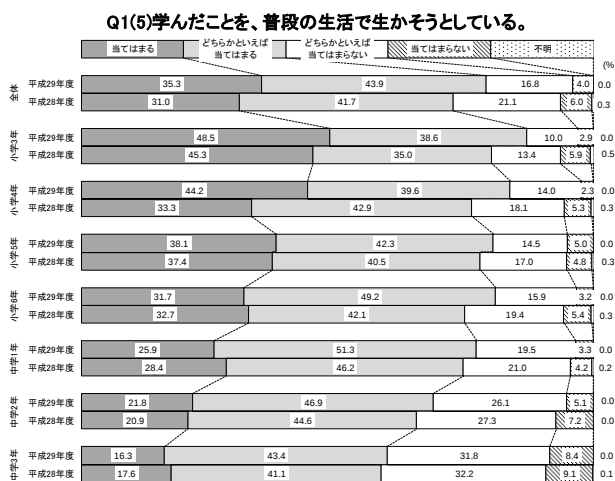
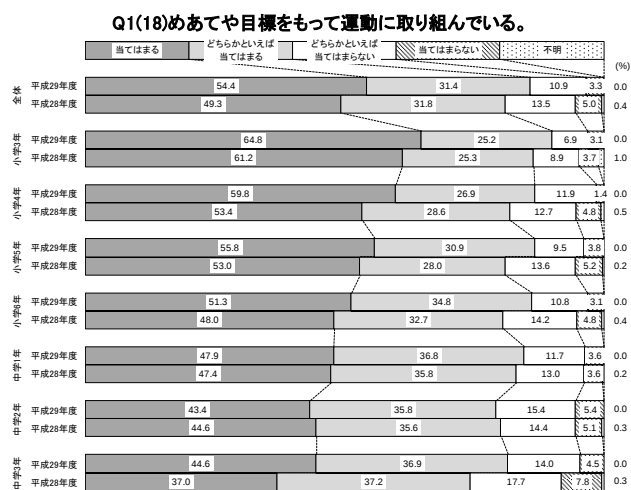
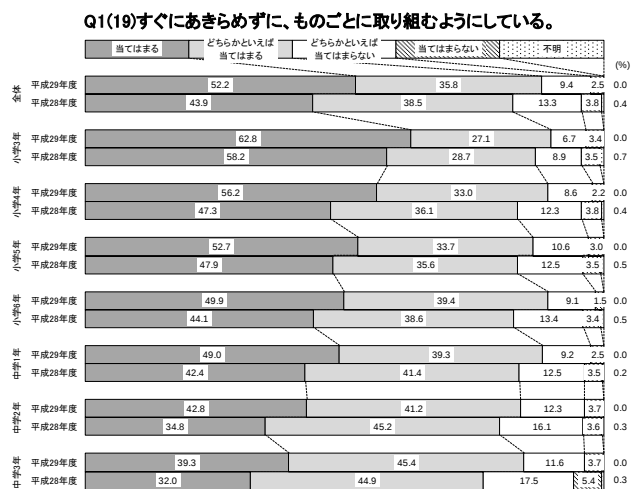
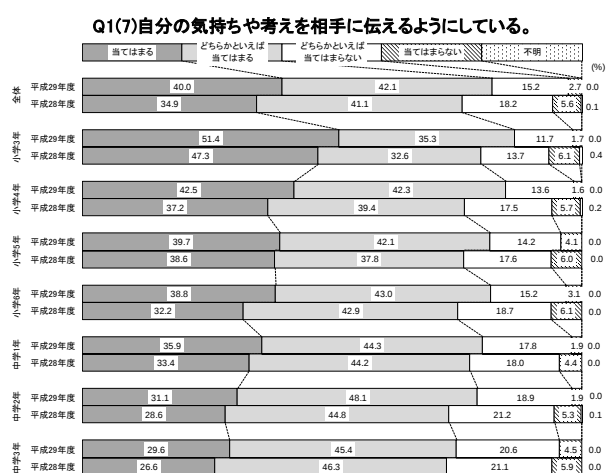
- ①の設問は、全体的に小6→中1で肯定的な回答が減少する傾向があります。それに対し、上で示した社会性に関する設問は、平成28年度から引き続き、中学1年で肯定的な回答が増加しています。これは、中学校入学に際して、期待感をもって学校生活を送っていることや、中学校の生活指導や部活動等を通して、子どもたちの社会性が伸びていることによるものと推測できます。
- 上で示した設問では、ほぼ全ての学年で肯定的な回答が増加しています。

(5)「自己肯定感」「自己有用感」と関連のある設問について

平成28年度の本アンケート調査において、関連分析の結果、自己肯定感及び自己有用感と関連があるのは、次の設問であることが分かりました。

設問	関連関係の有無	
	自己肯定感	自己有用感
自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	有	有
すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	有	有
めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	有	
学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。		有

これらの設問の経年変化は、以下のとおりです。



【分析】

- ・上で示した設問では、ほぼ全ての学年で肯定的な回答が増加しています。
- ・「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」は、すべての学年で肯定的な回答の割合が大きく増加しています。

6 調査のまとめ

- (1) 平成28年度の調査結果により、「自己肯定感」「自己有用感」の育成は、子どもの力を総合的に伸ばすことができる可能性があることが分かりました。
- (2) これまでの子ども教育連携の取組などにより、子どもの「自己肯定感」「自己有用感」が着実に育成されていることが分かりました。
- (3) 幼児期から、「自分は大切な存在だと思える心（自己肯定感）」や「自分が他人に必要とされていると思える心（自己有用感）」の育成を意図して保育・教育を行うことが大切だと考えられます。
- (4) 「自分は大切な存在だと思える心（自己肯定感）」の育成に際しては、「自分の気持ちや考えを相手に伝える経験をさせる」「めあてや目標をもたせて運動に取り組ませる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組めるように支援する」ことが、有効である可能性があります。
- (5) 「自分が他人に必要とされていると思える心（自己有用感）」の育成に際しては、「学んだことを、普段の生活で生かせるよう指導したり、助言したりする」「自分の気持ちや考えを相手に伝える経験をさせる」「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組めるように支援する」ことが、有効である可能性があります。
- (6) その他、教員・保育士による温かな声掛け・励まし・支援や、お互いに助け合えるクラス・学級づくりなど、「自己肯定感」「自己有用感」を育成するためには、様々な実践があります。各園・各学校の実態に応じて、実践を深めていくことが大切です。

7 調査結果の利用にあたって

- (1) 集計結果は、原則、回答率（％）を小数点第2位を四捨五入して示しています。そのため、各選択肢の回答率をすべて合計しても、100.0%にならないことがあります。
- (2) 回答者数に対する回答率（％）を示しているため、複数回答の設問では、各選択肢の回答率（％）をすべて合計すると100.0%を超えることがあります。
- (3) 選択肢の文が長い場合、図表中では、要約していることがあります。
- (4) 回答者数が少ない設問では、各選択肢の回答率（％）は、大きく偏る可能性があります。

第 2 部 調査結果

(1) 学年別自己肯定感・自己有用感

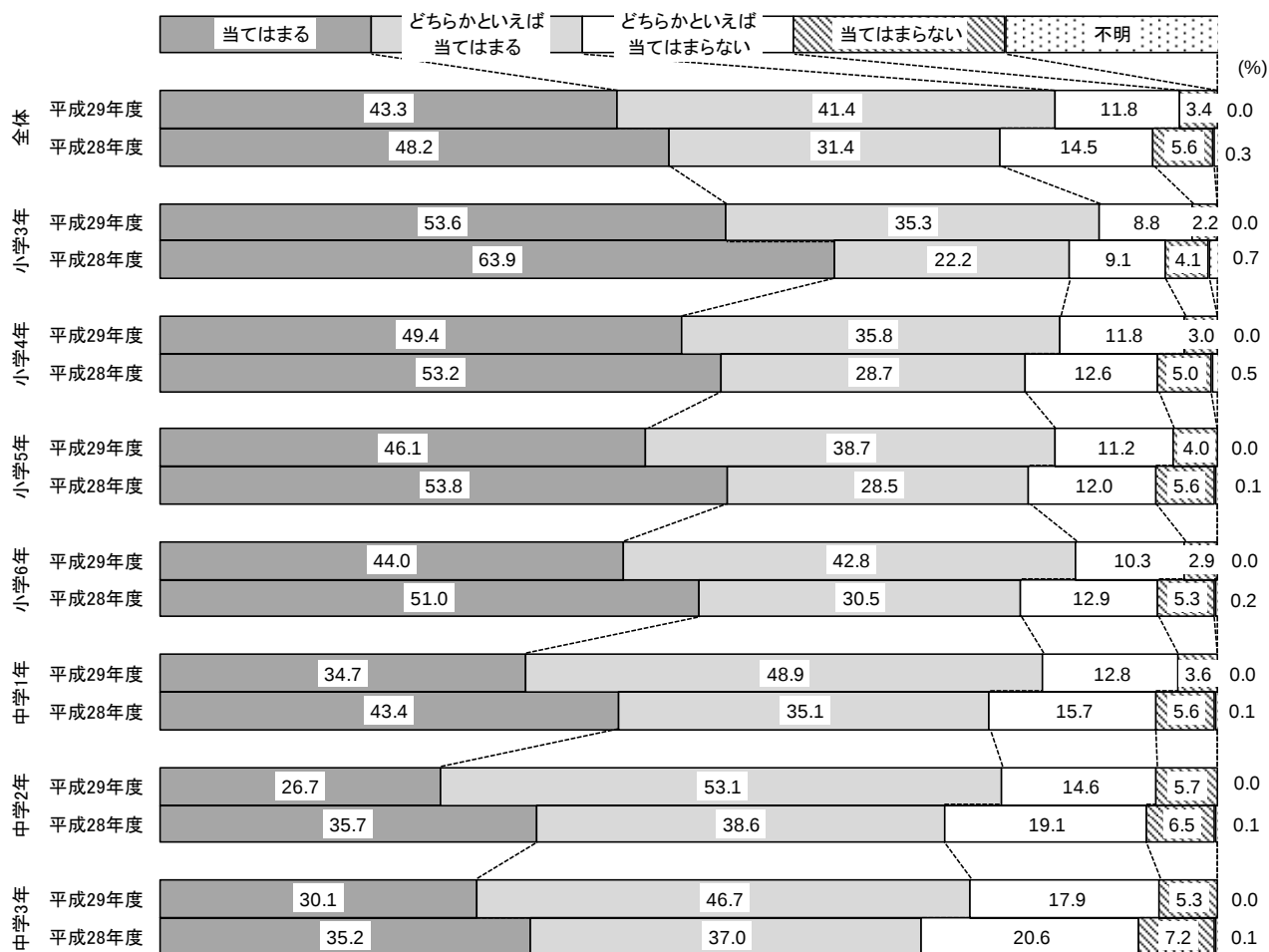
1 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

1 (1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

「勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は79.6%から84.7%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は20.1%から15.2%へ減少しました。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の88.9%で全体よりも4.2ポイント高く、最も低いのが中学3年の76.8%で全体よりも7.9ポイント低くなっています。

Q1(1)勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

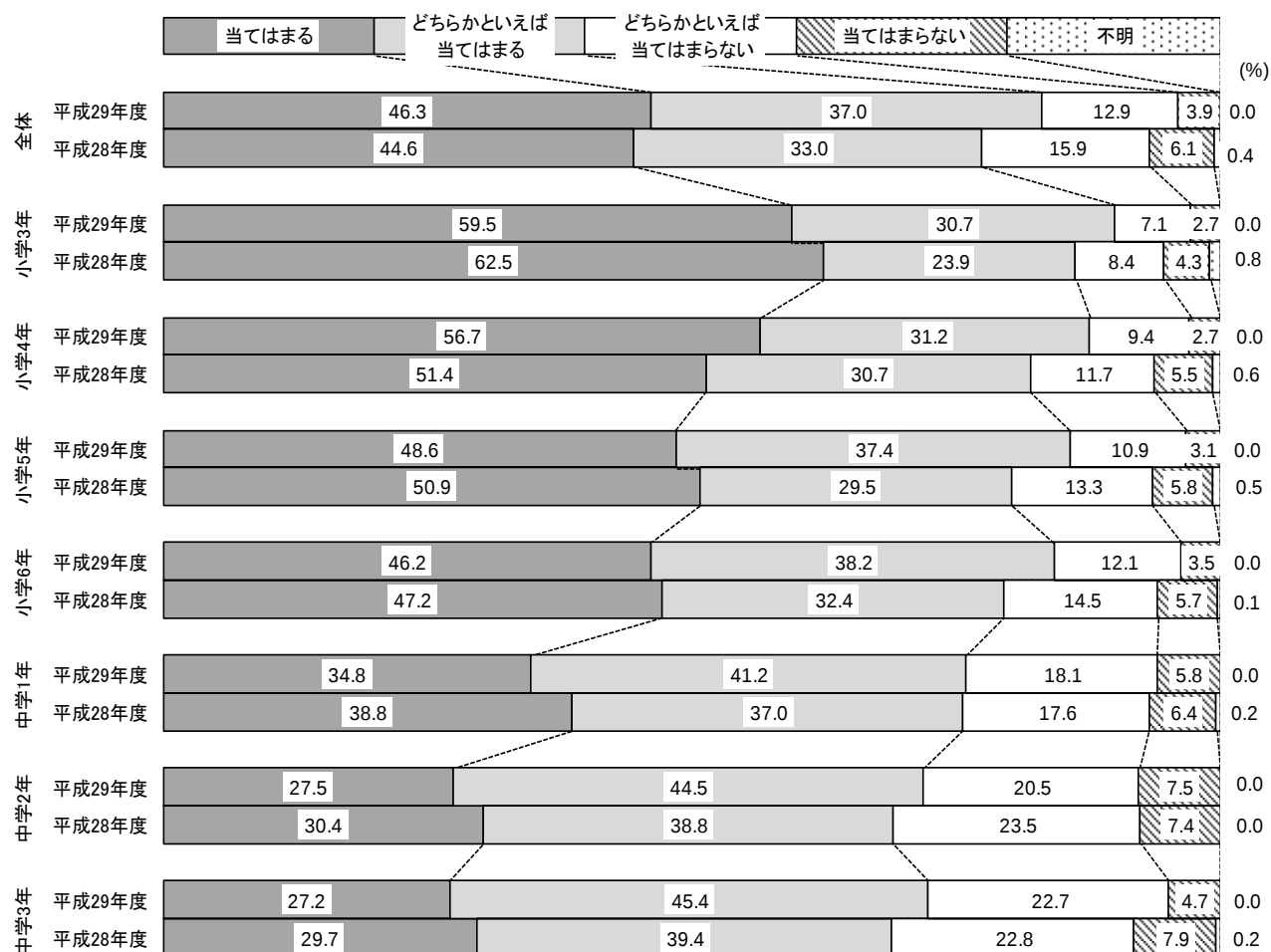


1 (2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

「勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は77.6%から83.3%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は22.0%から16.7%へ減少しました。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の90.2%で全体よりも6.9ポイント高く、最も低いのが中学2年の72.0%で全体よりも11.3ポイント低くなっています。

Q1(2)勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

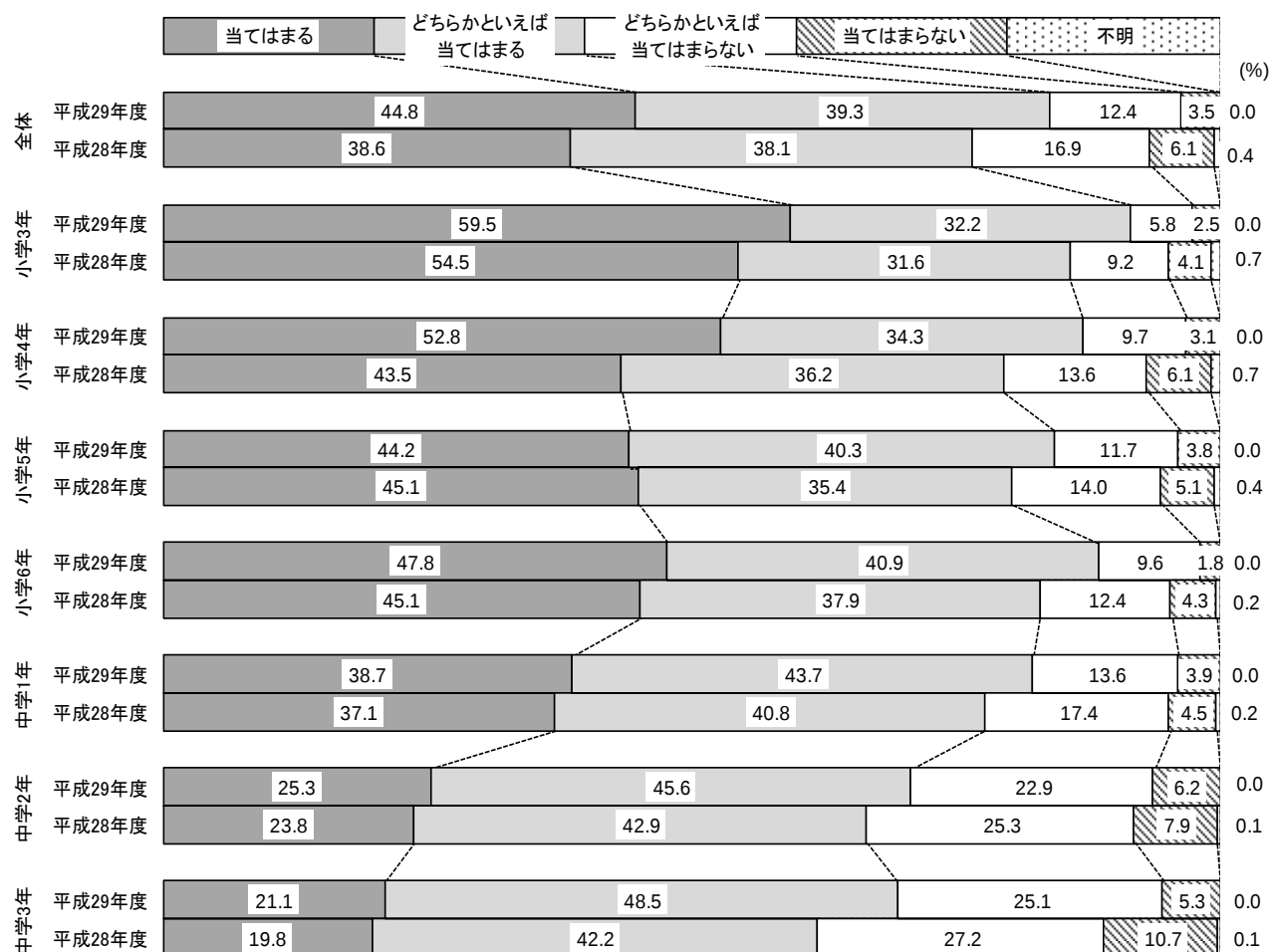


1 (3) 授業の内容は、だいたい分かる。

「授業の内容は、だいたい分かる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 76.7%から 84.1%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 23.0%から 15.9%へ減少しました。

学年別にみると、肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 91.7%ですが、小学5年までに 84.5%まで減少した後、小学6年で 88.6%となり、回復傾向が見られます。その要因としては、子どもの育ちの実態と教科等の系統性を踏まえた授業の実践や乗り入れ授業の成果などであると推測できます。

Q1(3)授業の内容は、だいたい分かる。



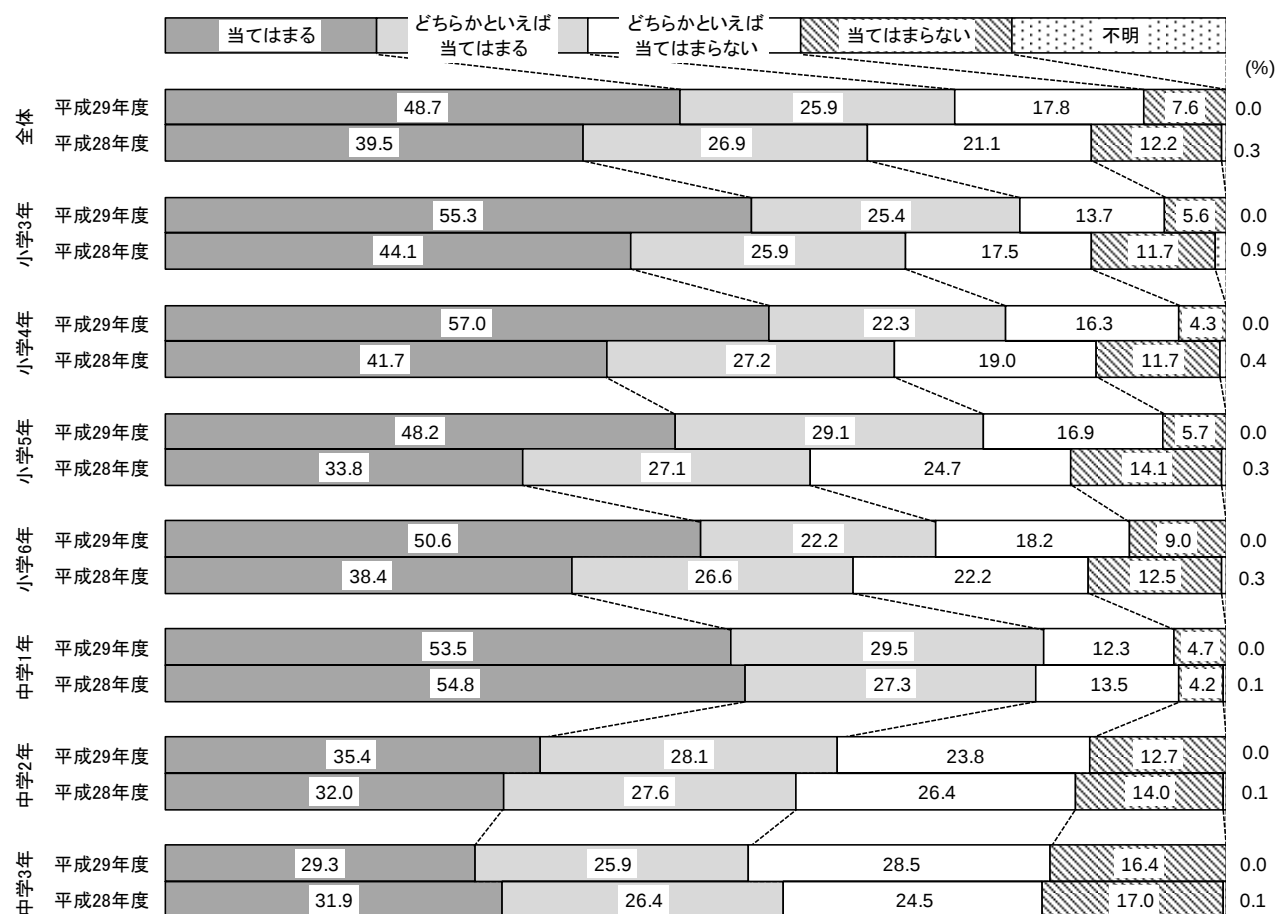
1 (4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

「月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 66.4%から 74.6%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 33.3%から 25.4%へ減少しています。

平成28年度と比較して、小学3年から小学6年までの肯定的な回答が大きく増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答は、小学3年から小学5年にかけて減少したあと、中学1年にかけて増加し、83.0%と最も高くなっていますが、中学2年、中学3年は60%前後に減少します。

Q1(4)月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。

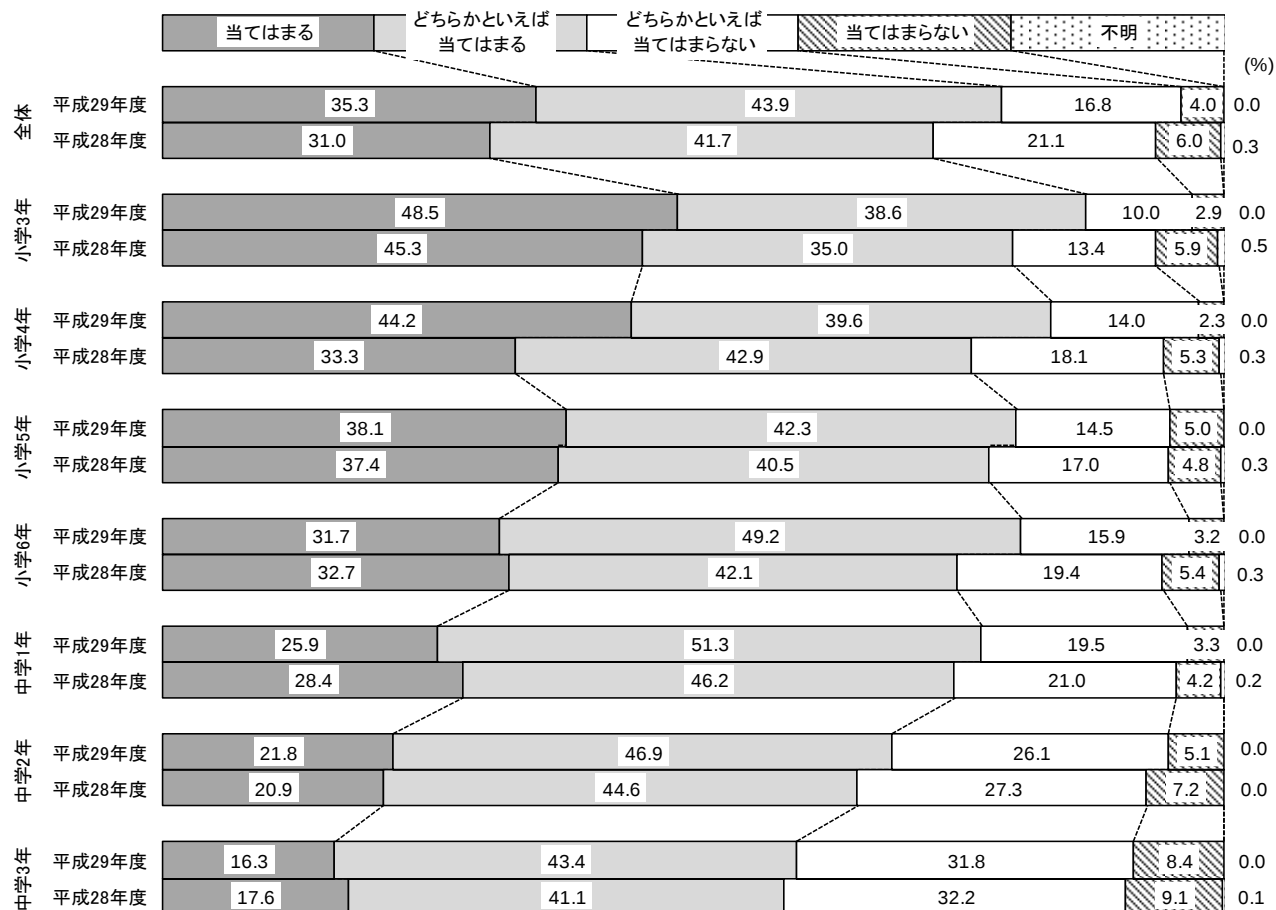


1 (5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は72.7%から79.1%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は27.1%から20.9%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。

Q1(5)学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

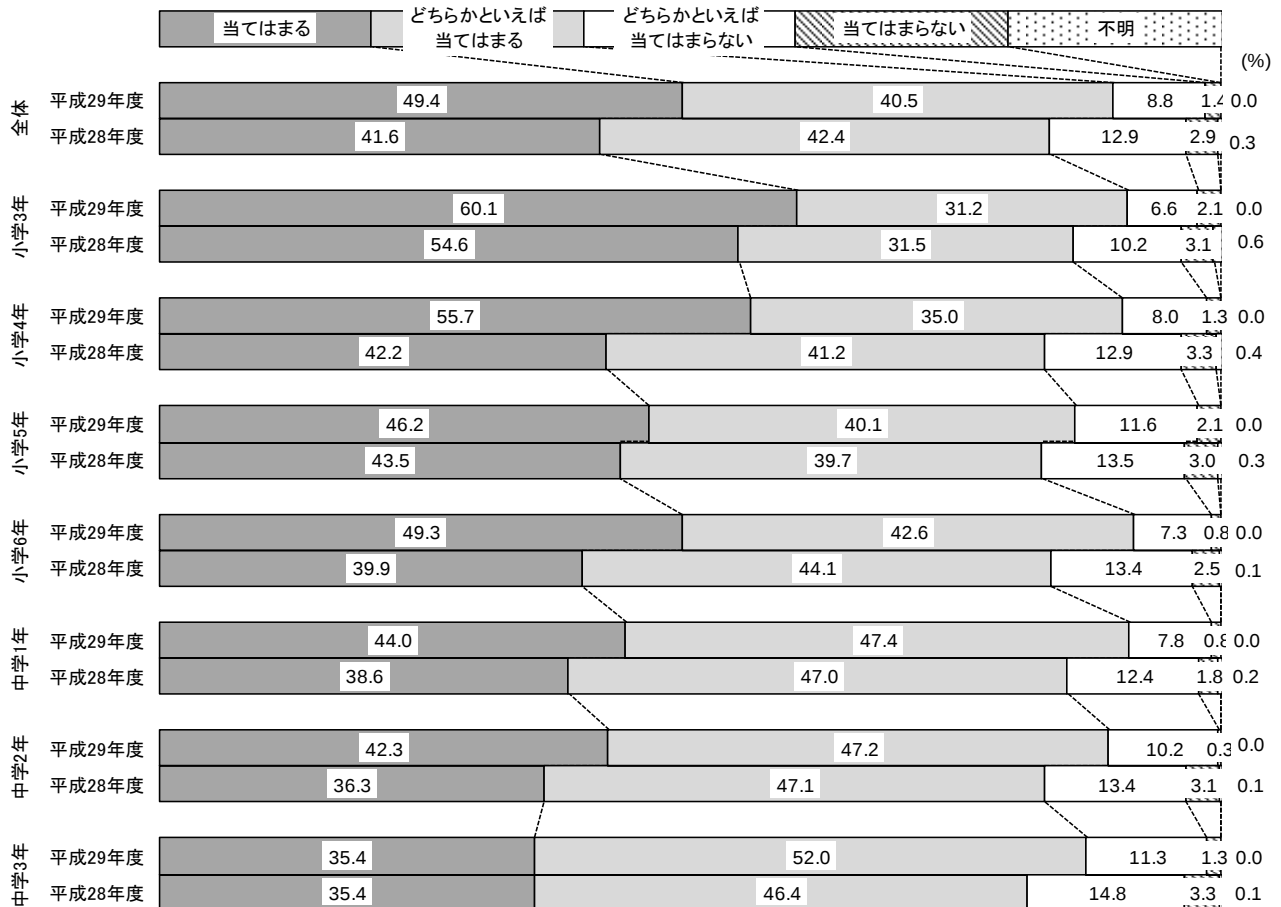


1 (6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。

「静かに集中して人の話を聞くようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 84.0%から 89.9%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 15.8%から 10.1%へ減少しています。

平成 28 年度と比べて、全ての学年で肯定的な回答が増加しており、特に小学 4 年の「当てはまる」の回答は 13.5 ポイント増加しています。

Q1(6)静かに集中して人の話を聞くようにしている。



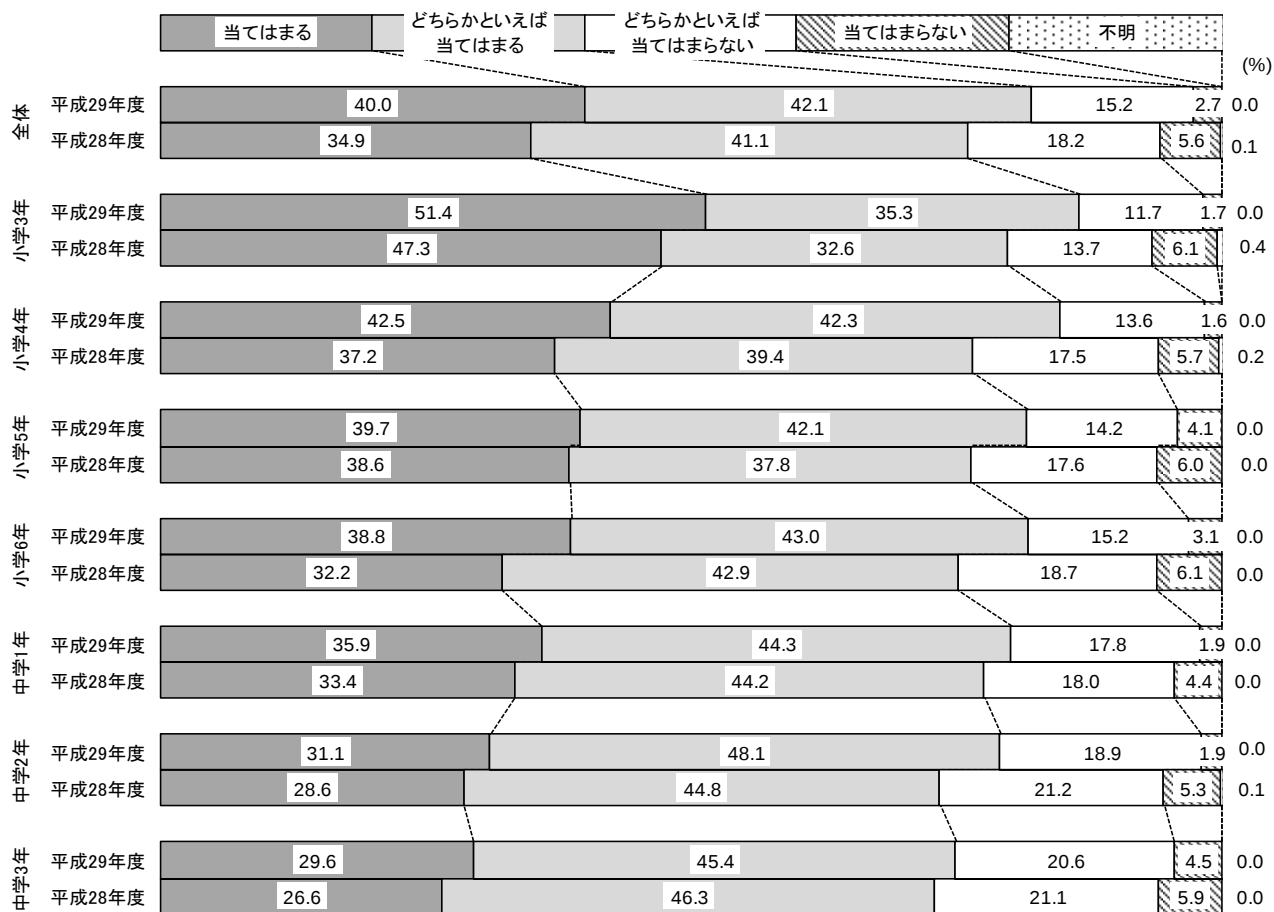
1 (7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。

「自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は76.0%から82.1%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は23.8%から17.9%へ減少しています。

平成28年度と比べて、全ての学年で肯定的な回答が増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の86.7%で、最も低いのが中学3年の74.9%となっています。

Q1(7)自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。



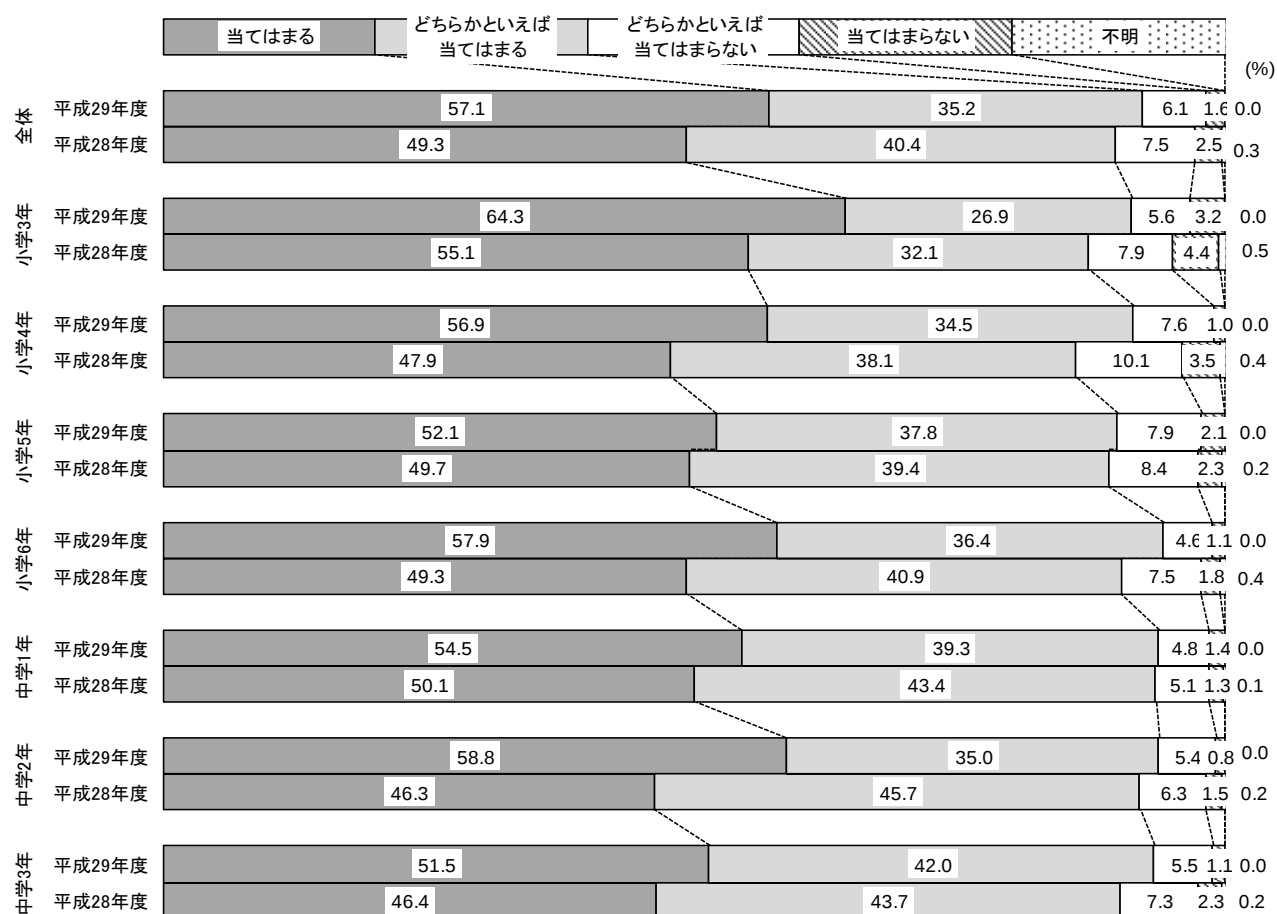
1 (8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。

「いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 89.7%から 92.3%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 10.0%から 7.7%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学6年の 94.2%で、最も低いのが小学5年の 89.9%となっています。

他の設問と比べて、各年別の変化が小さく、どの学年も肯定的な回答が非常に高くなっています。その要因としては、いじめ撲滅のための指導の成果などであると推測できます。

Q1(8)いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。

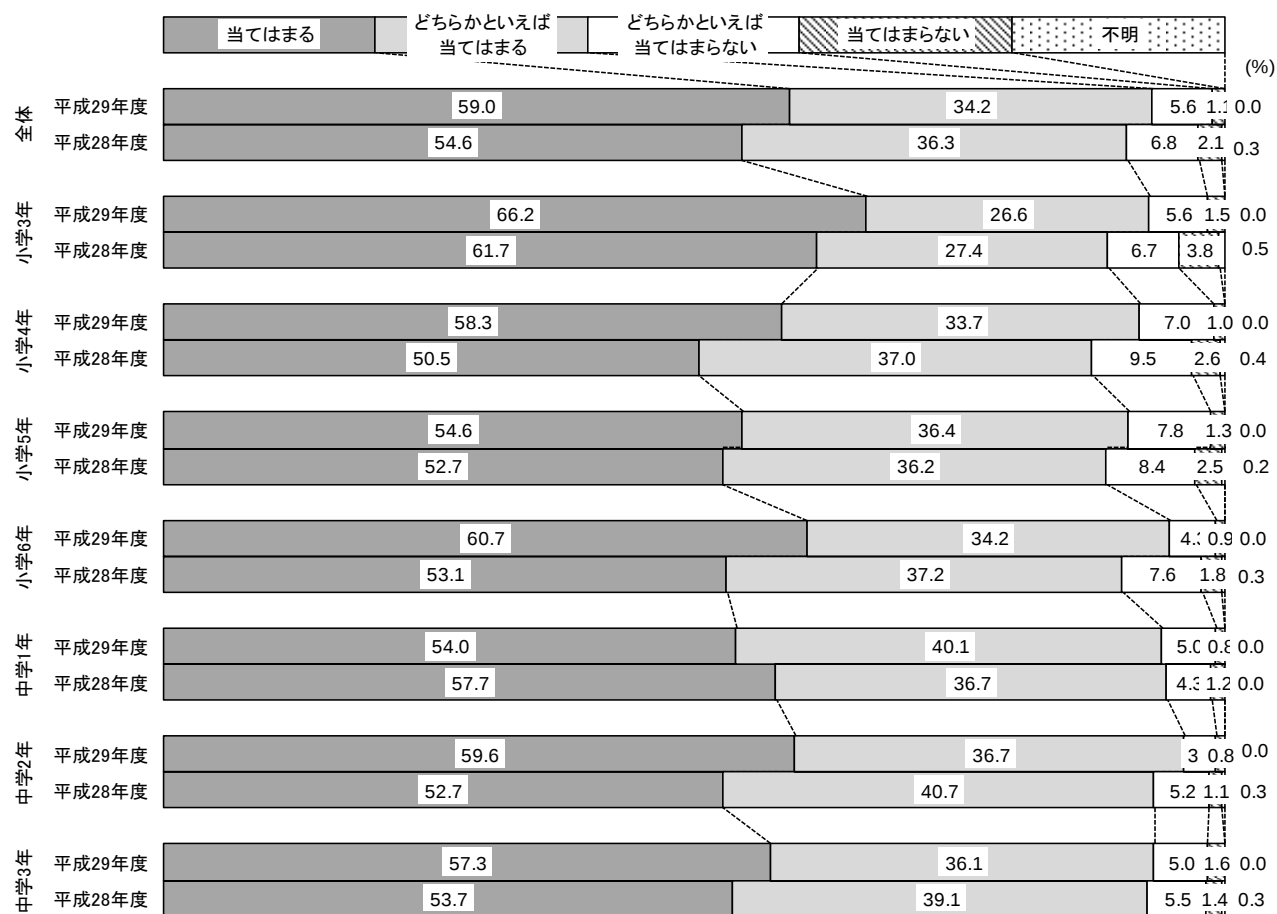


1 (9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。

「順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は90.9%から93.2%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は8.9%から6.8%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は平成28年度に引き続いて全体的に小学生よりも中学生の方が高い傾向がみられます。

Q1(9)順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。

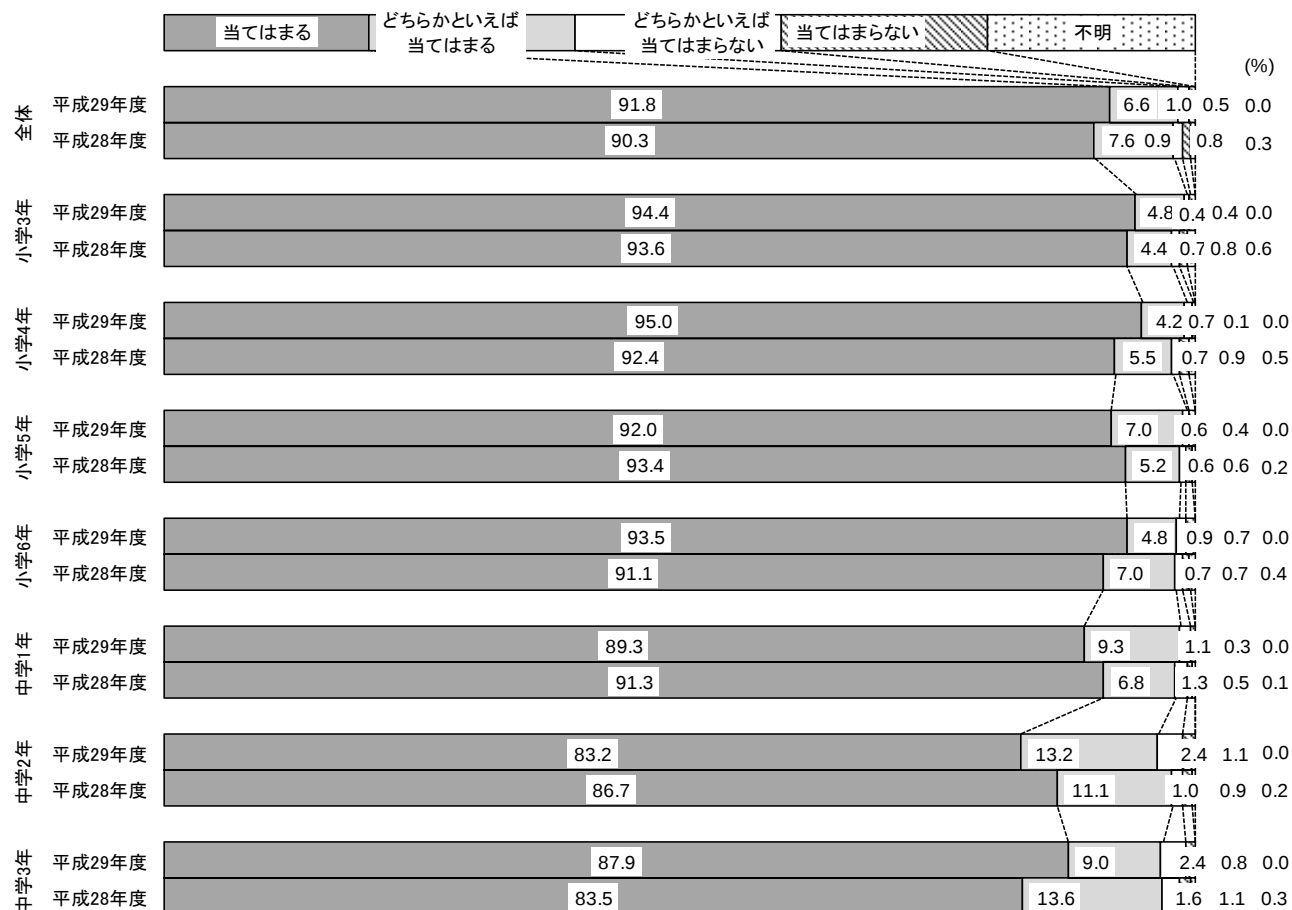


1 (10) 自分や相手の命は大切だと思う。

「自分や相手の命は大切だと思う」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 97.9%から 98.5%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 1.7%から 1.5%へ減少しています。

平成28年度と同様に、肯定的な回答の割合が非常に高く、命の大切に関する指導の成果が現れていると推測できます。

Q1(10)自分や相手の命は大切だと思う。



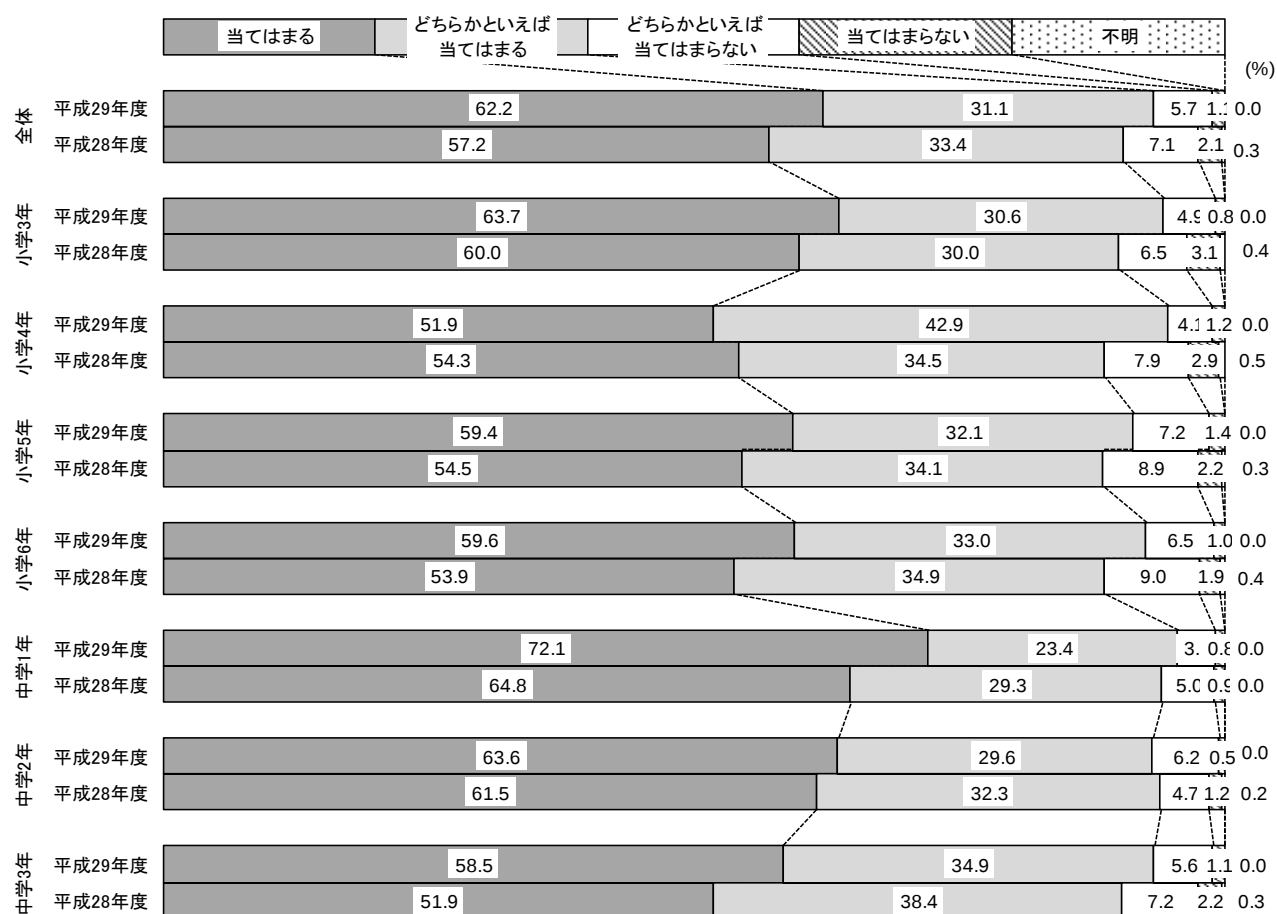
1 (11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

「家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 90.6%から 93.3%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 9.2%から 6.7%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが中学1年の 95.5%となっています。

平成28年度と比較して、小学3年から小学6年までの肯定的な回答が、中学生と比べて増加しています。その要因としては、小中学校合同のあいさつ運動に取り組む学校が増えていることなどであると推測できます。

Q1(11)家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

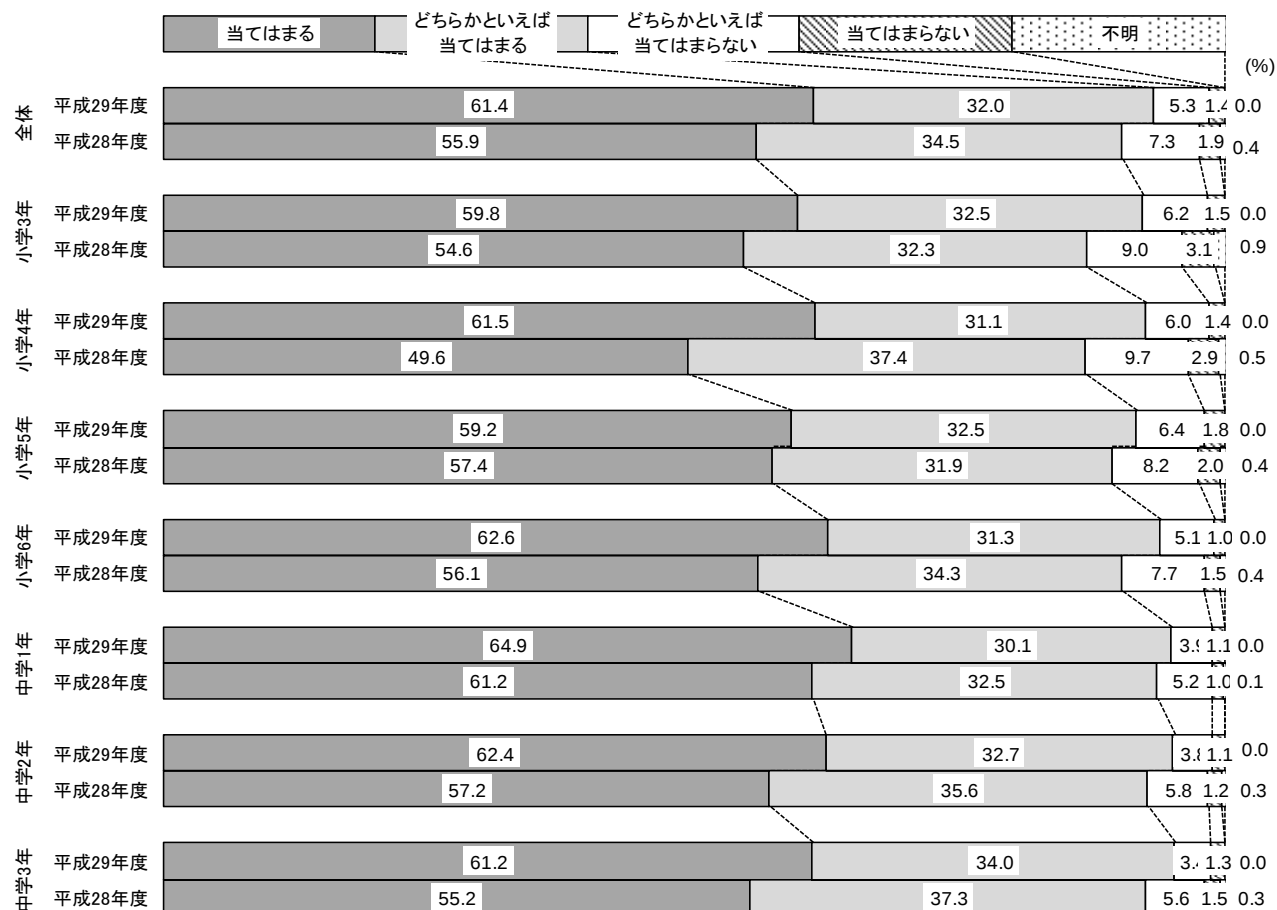


1 (12) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。

「相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 90.4%から 93.3%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 9.2%から 6.7%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は、小学生よりも中学生の方が高い傾向がみられます。

Q1(12)相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。



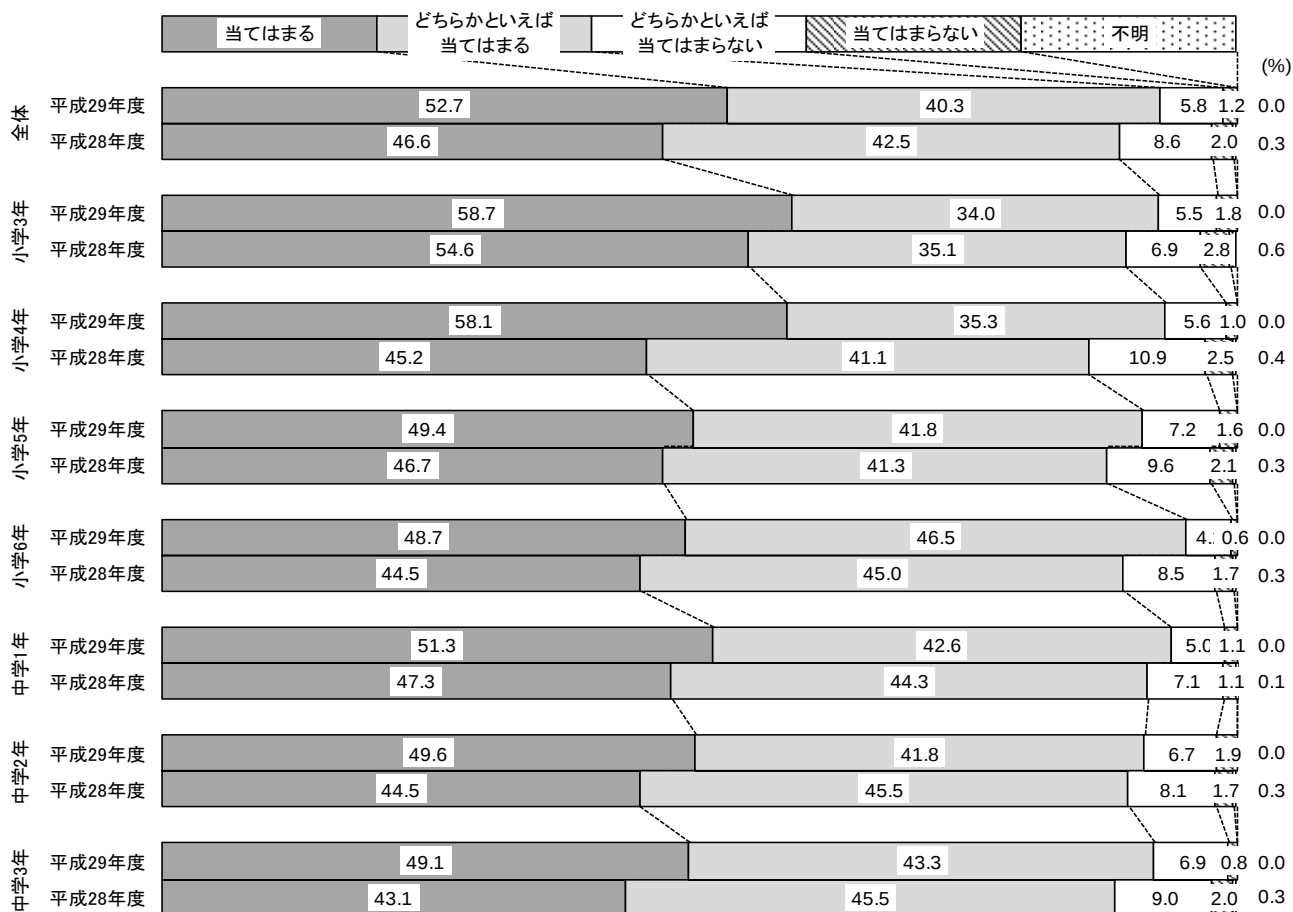
1 (13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。

「学校のきまりや家の約束を守ることができる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 89.1%から 93.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 10.6%から 7.0%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが中学 1 年の 95.2%で、最も低いのが小学 6 年の 91.2%となっています。

平成 28 年度と比べると、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加していますが、特に小学 4 年の「当てはまる」は、12.9 ポイント増加しています。

Q1(13)学校のきまりや家の約束を守ることができる。



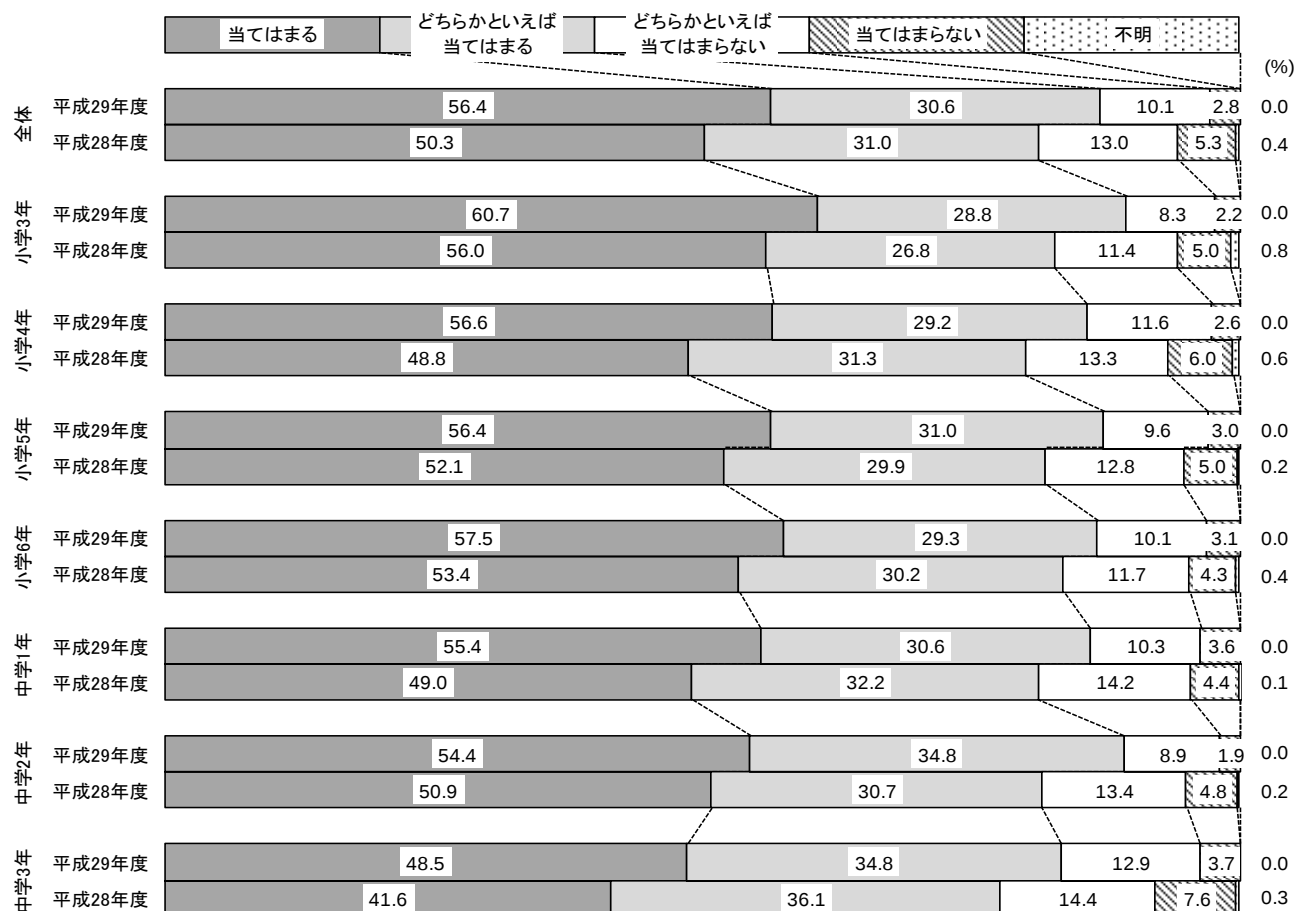
1 (14) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。

「ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は81.3%から87.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は18.3%から13.0%へ減少しています。

平成28年度と比べると、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の89.5%で、最も低いのが中学3年の83.4%となっています。

Q1(14)ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。

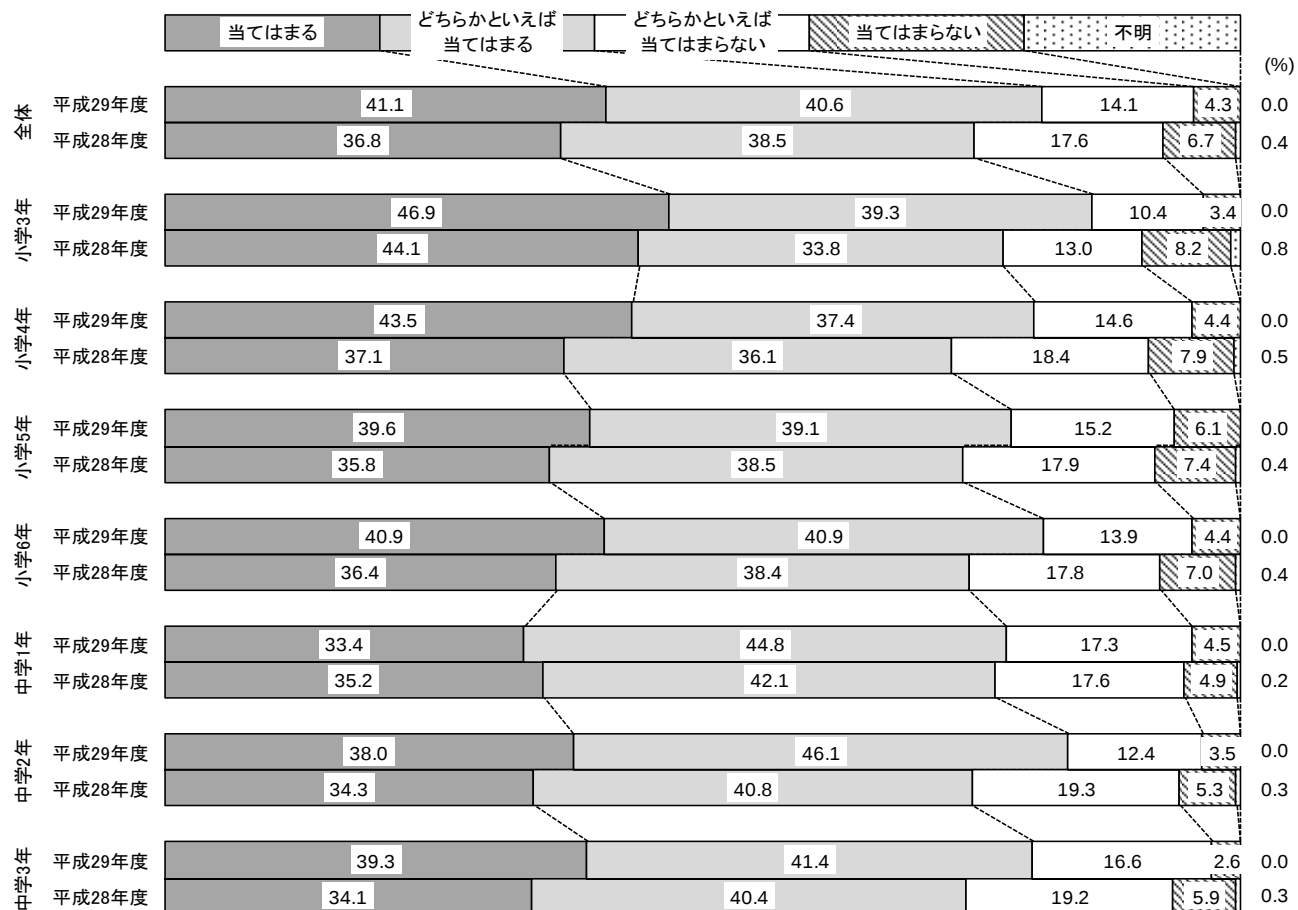


1 (15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。

「家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は75.3%から81.7%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は24.3%から18.3%へ減少しています。

平成28年度と比べると、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加しています。

Q1(15)家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。

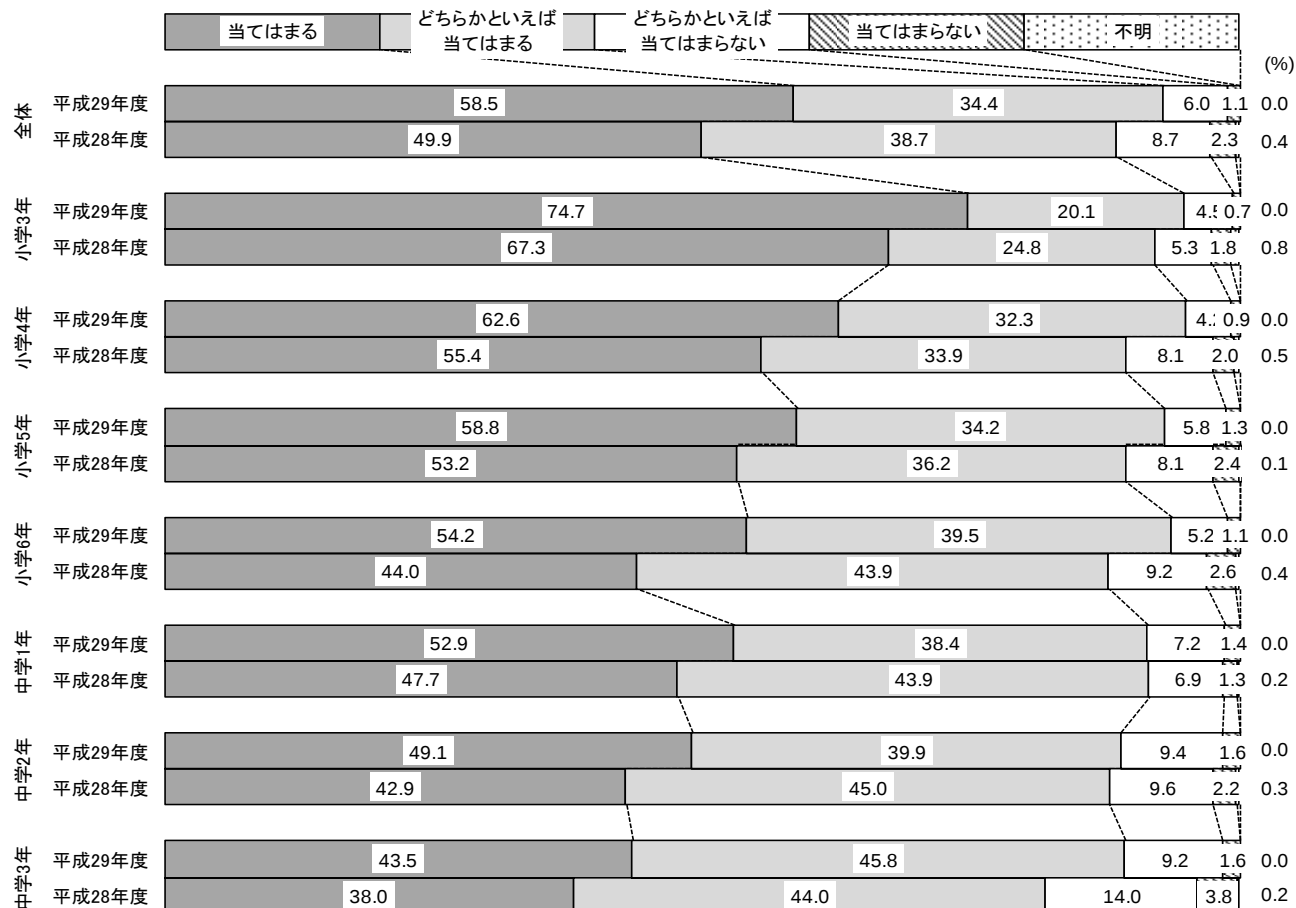


1 (16) 学校では、一生懸命、掃除をしている。

「学校では、一生懸命、掃除をしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 88.6%から 92.9%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 11.0%から 7.1%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学4年の 95.0%で、最も低いのが中学2年の 88.9%となっています。

Q1(16)学校では、一生懸命、掃除をしている。

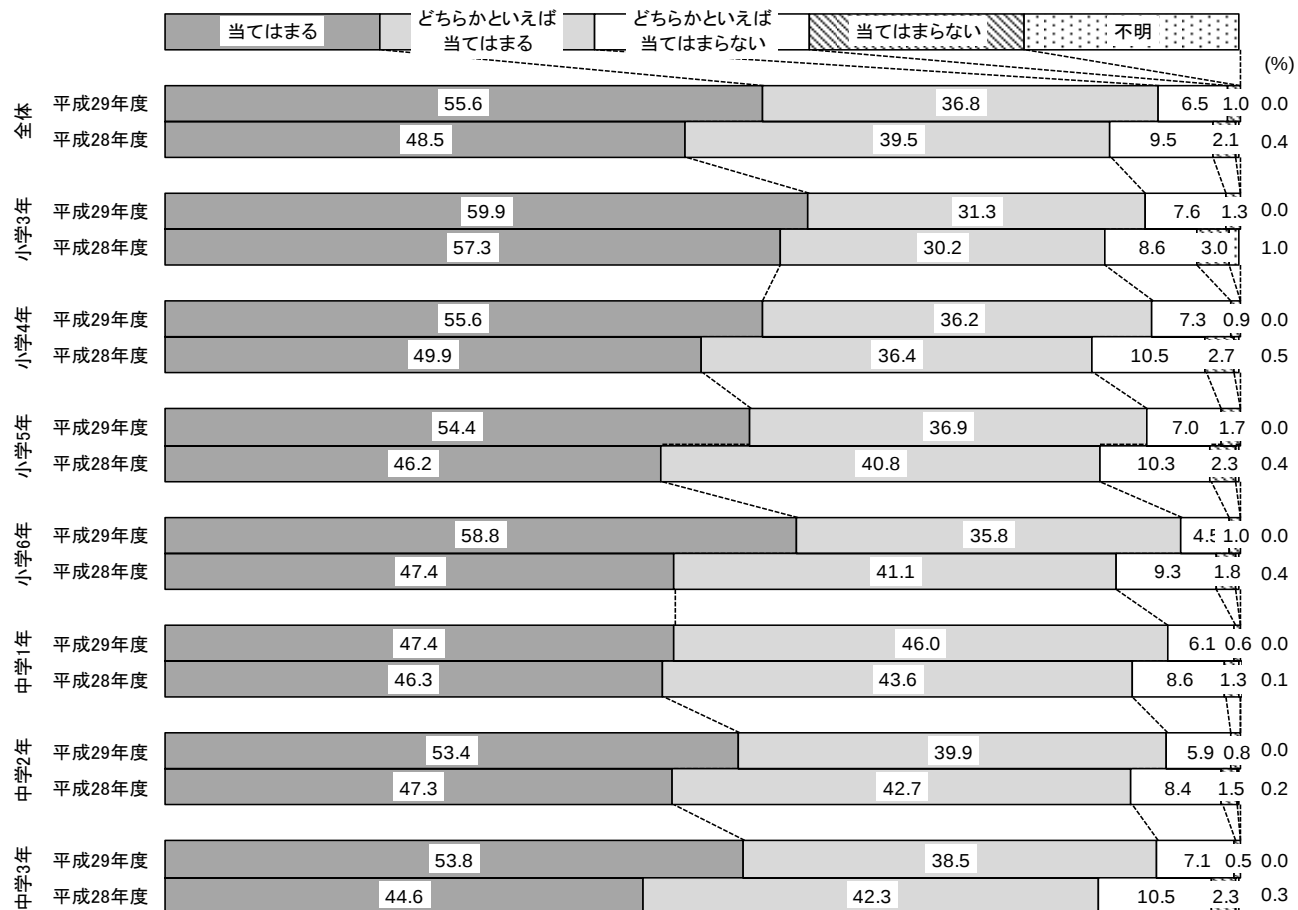


1 (17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。

「家や学校で、決められた時間を守ることができる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 88.0%から 92.4%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 11.6%から 7.6%へ減少しています。

平成 28 年度と比べると、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加していますが、特に小学 6 年の「当てはまる」は、11.4 ポイント増加しています。

Q1(17)家や学校で、決められた時間を守ることができる。

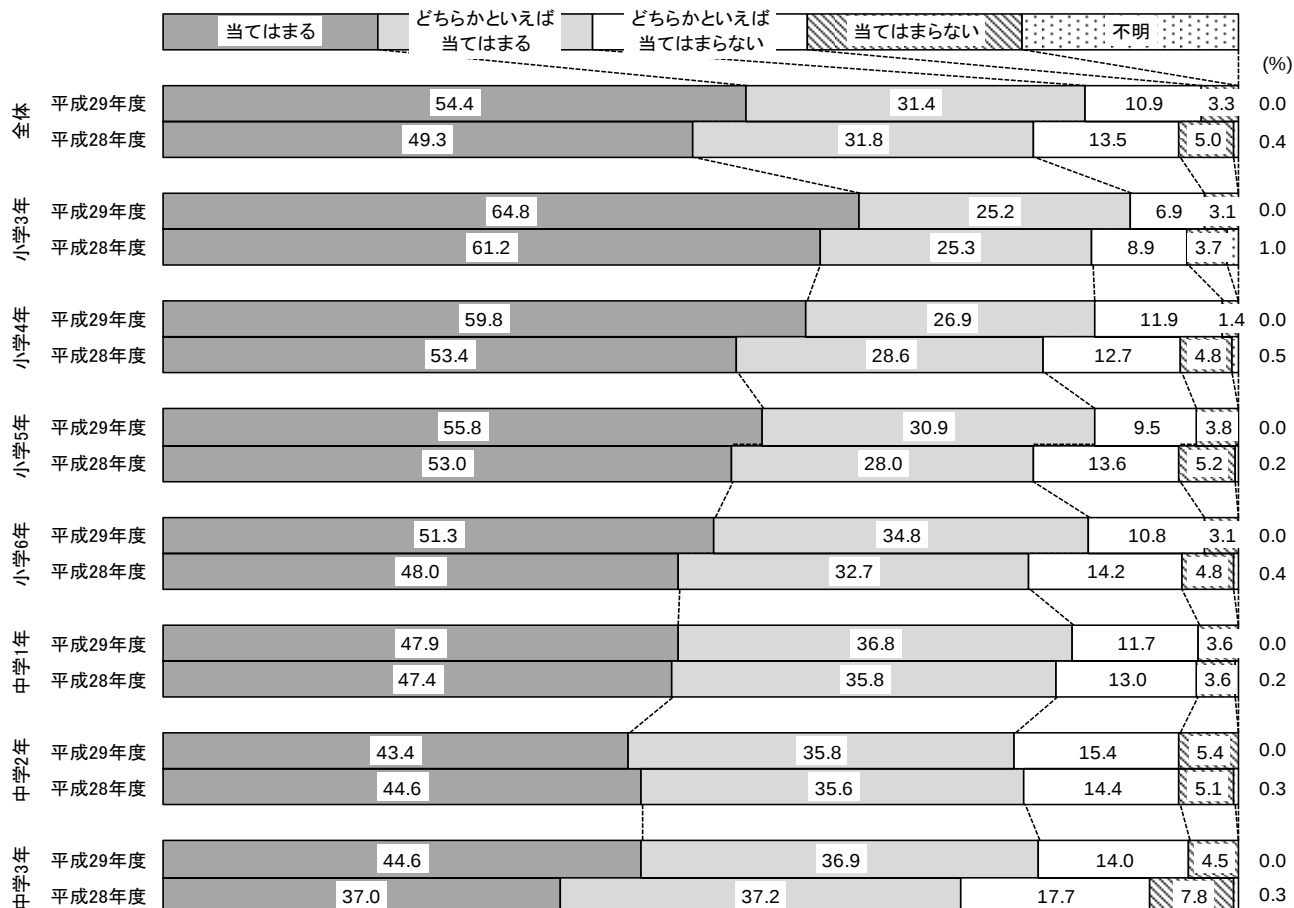


1 (18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。

「めあてや目標をもって運動に取り組んでいる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 81.1%から 85.8%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 18.5%から 14.2%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 90.0%で、最も低いのが中学2年の 79.2%となっています。

Q1(18)めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。

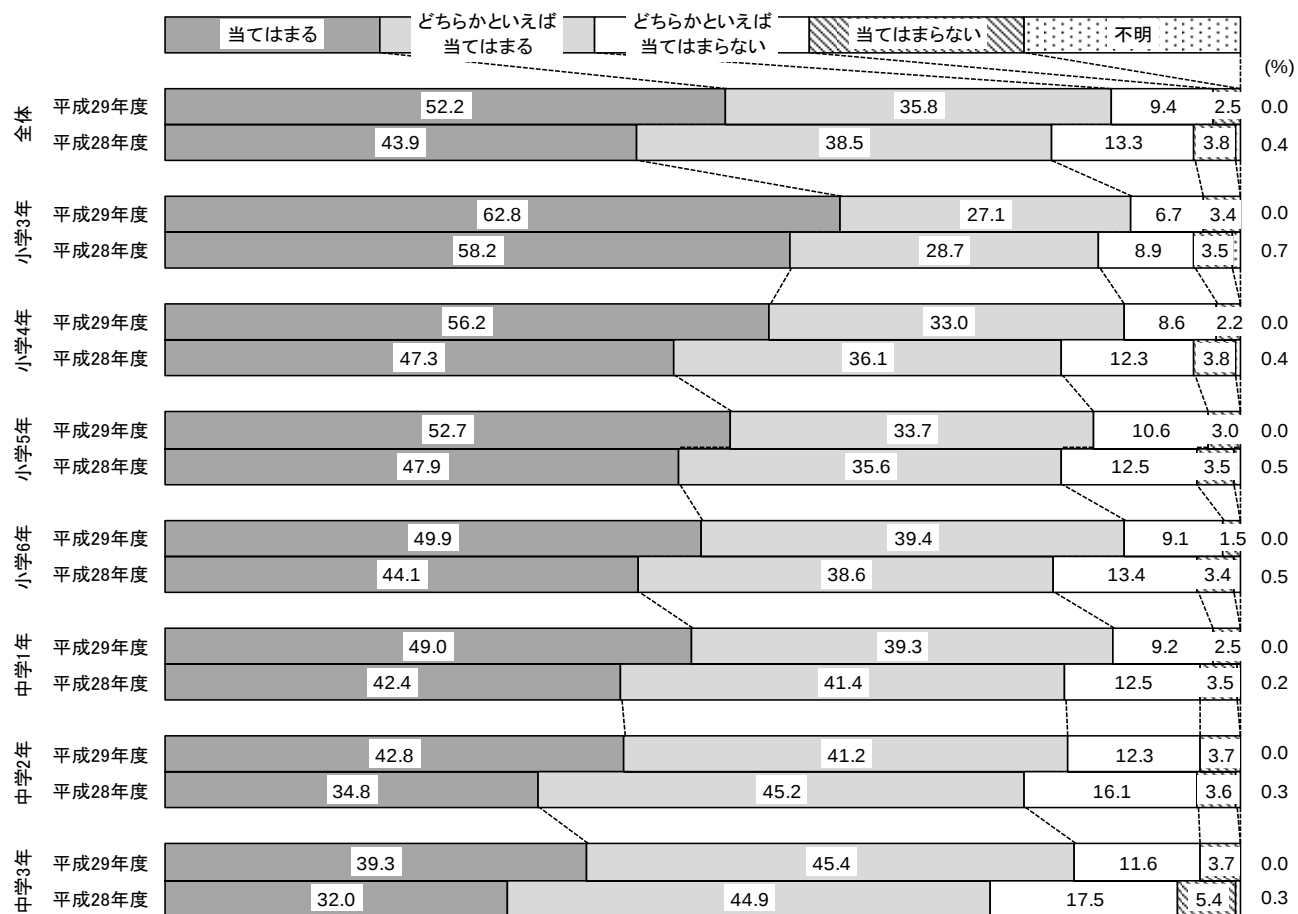


1 (19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

「すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 82.4%から 88.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 17.1%から 12.0%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は最も高いのが小学3年の 89.9%で、最も低いのが中学2年の 84.0%となっています。

Q1(19)すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

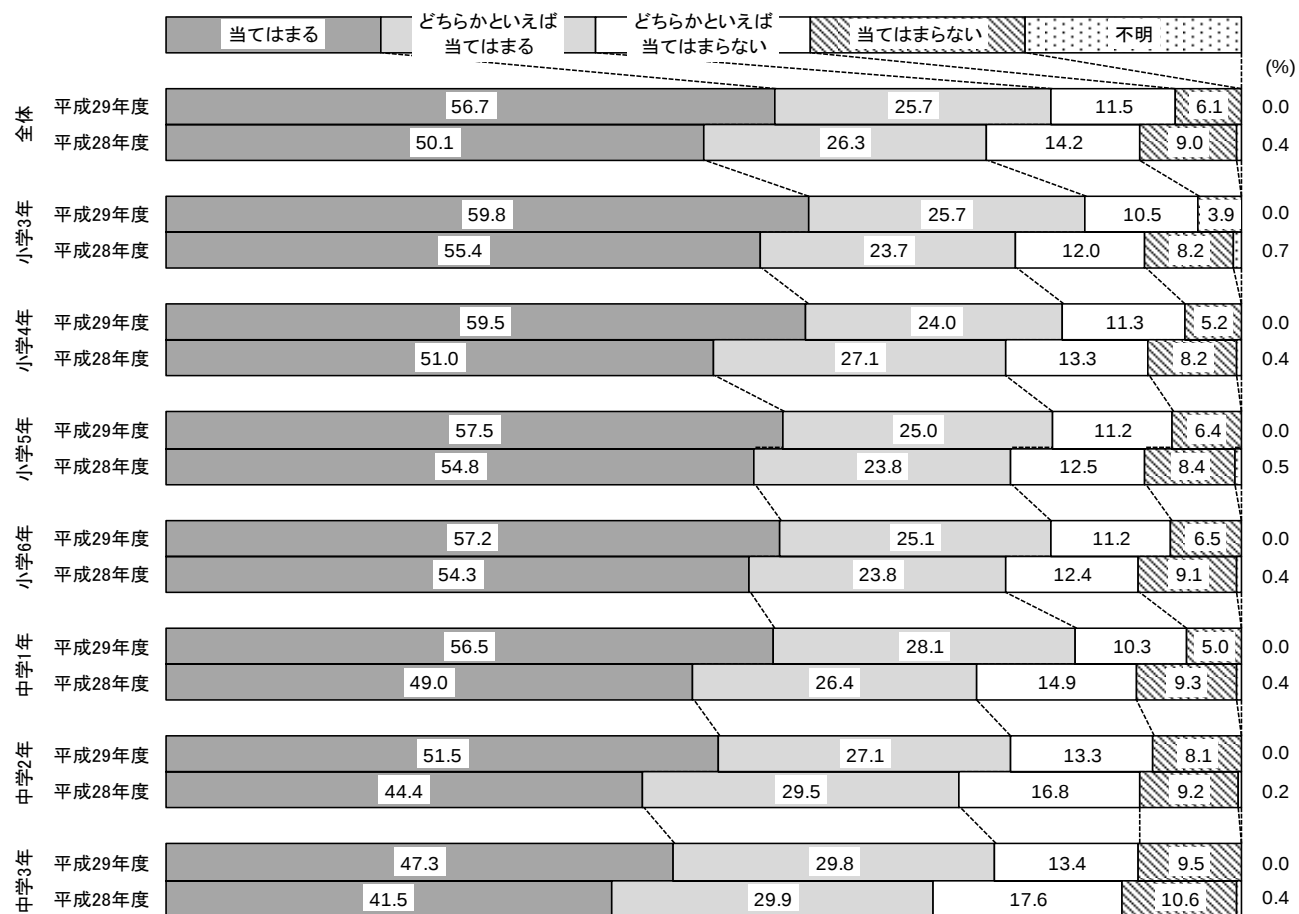


1 (20) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。

「きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 76.4%から 82.4%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 23.2%から 17.6%へ減少しています。

平成28年度と比べると、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加していますが、特に中学1年の肯定的な回答は、9.3ポイント増加しています。

Q1(20)きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。



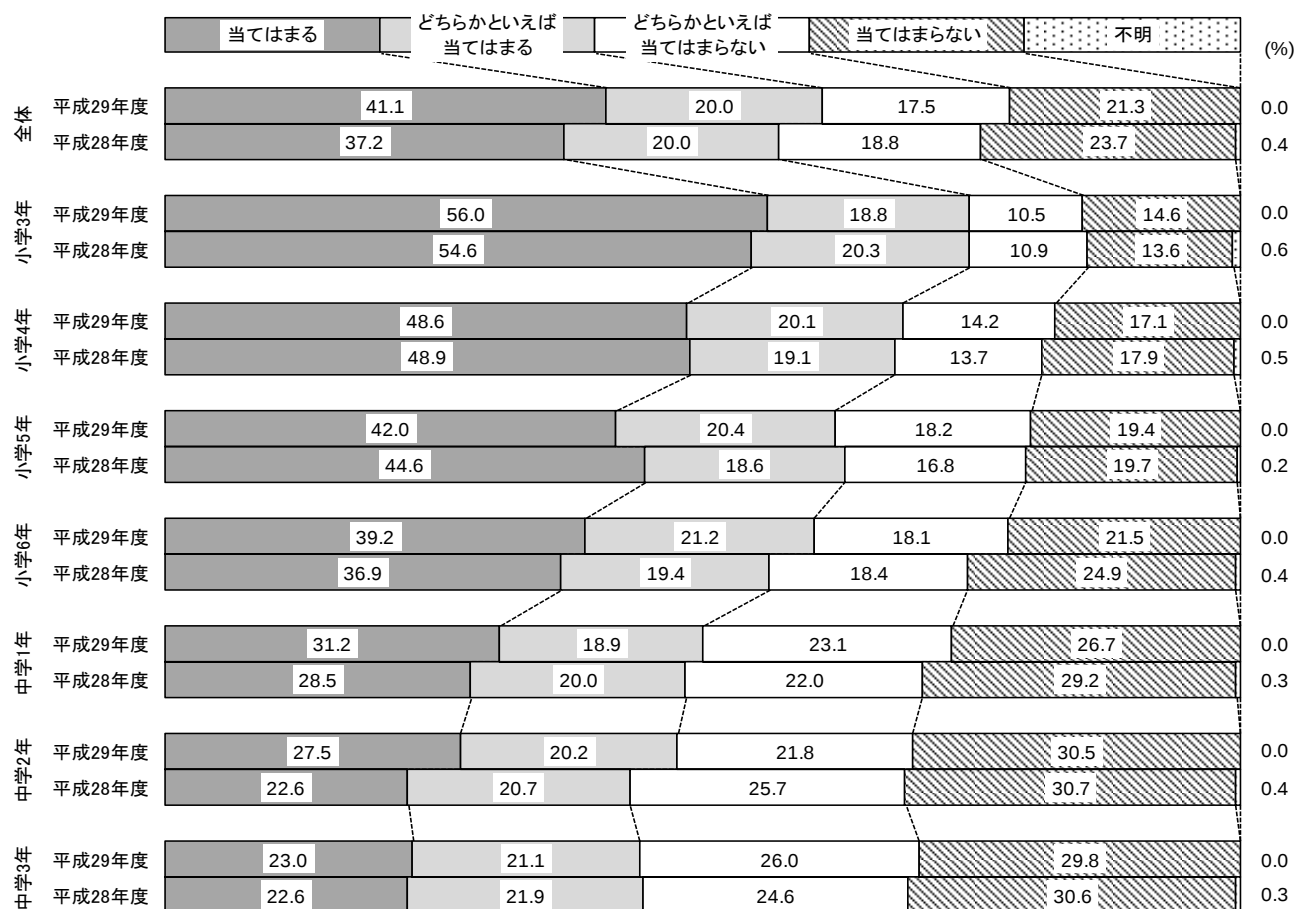
1 (21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。

「月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 57.2%から 61.1%に増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 42.5%から 38.9%に減少しています。

他の設問と比べて、平成28年度からの変化が大きくありません。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 74.9%で、最も低いのが中学3年の 44.2%となっています。

Q1(21)月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。



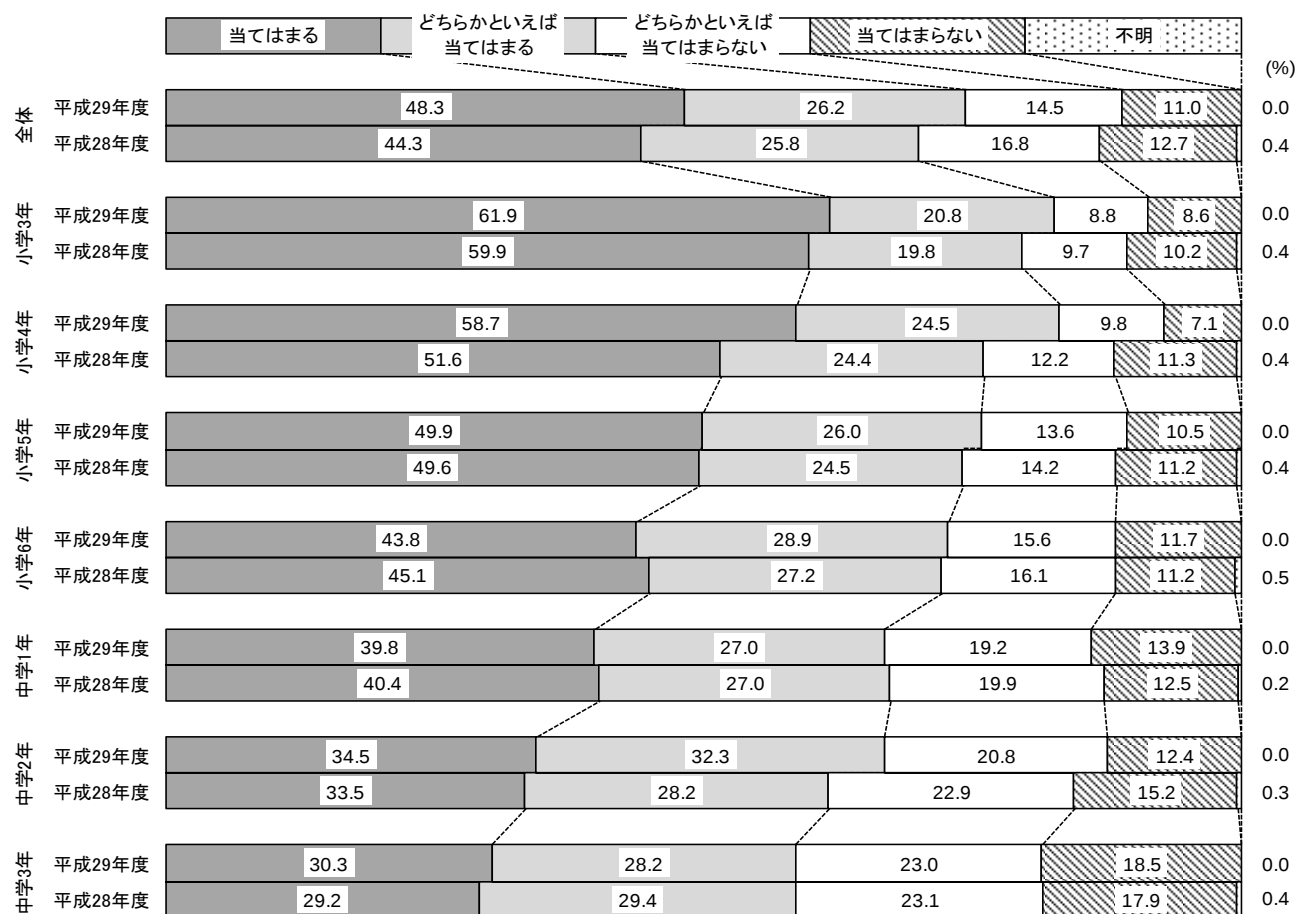
1 (22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。

「よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は70.1%から74.5%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は29.5%から25.5%に減少しています。

他の設問と比べて、平成28年度からの変化が大きくありません。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学4年の83.2%で、最も低いのが中学3年の58.6%となっています。

Q1(22)よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。

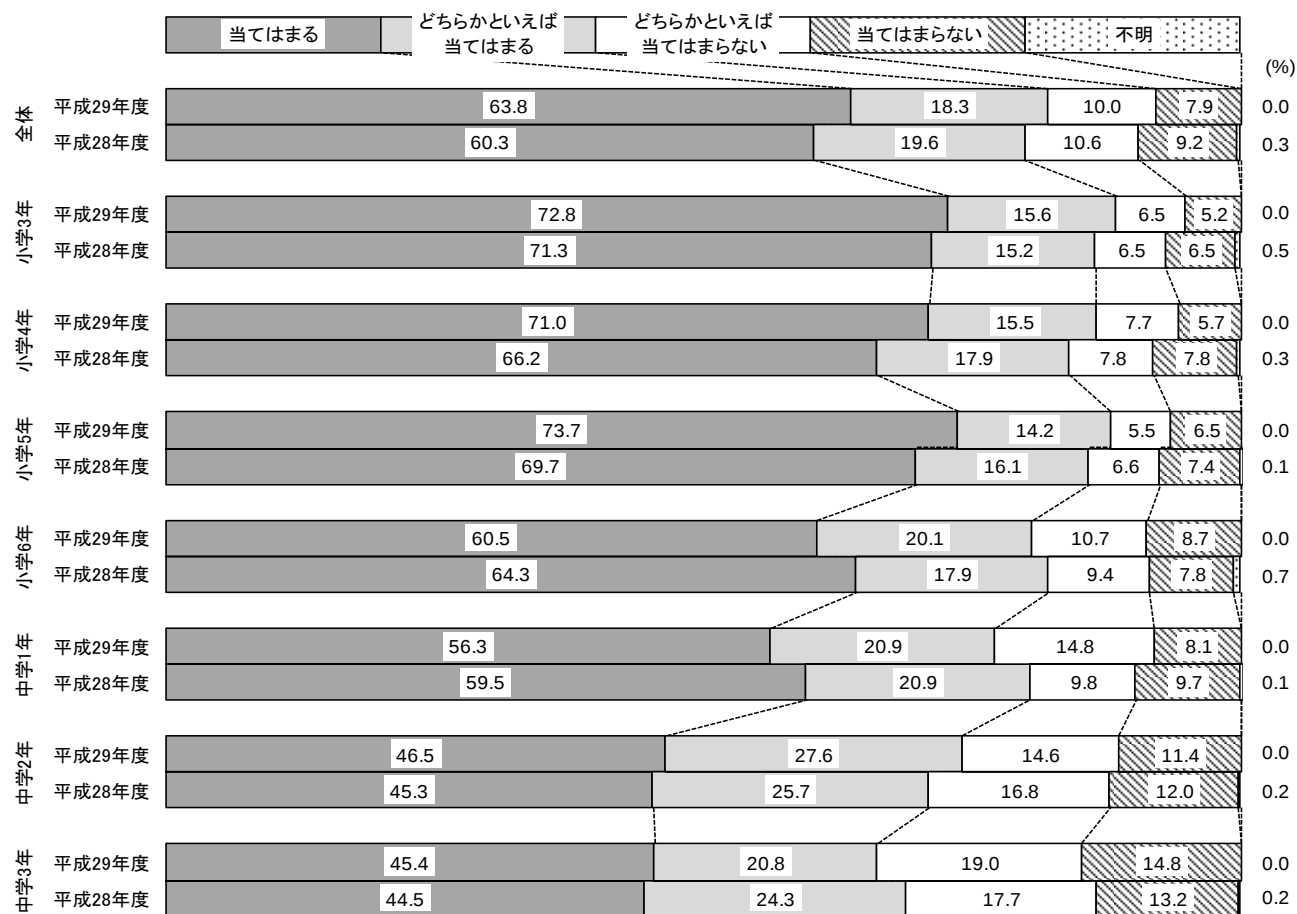


1 (23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。

「なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 79.9%から 82.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 19.8%から 18.0%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は小学3年から小学6年までは 80.0%以上の割合となっていますが、中学1年から中学3年までは約6割から約7割にとどまっています。

Q1(23)なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。



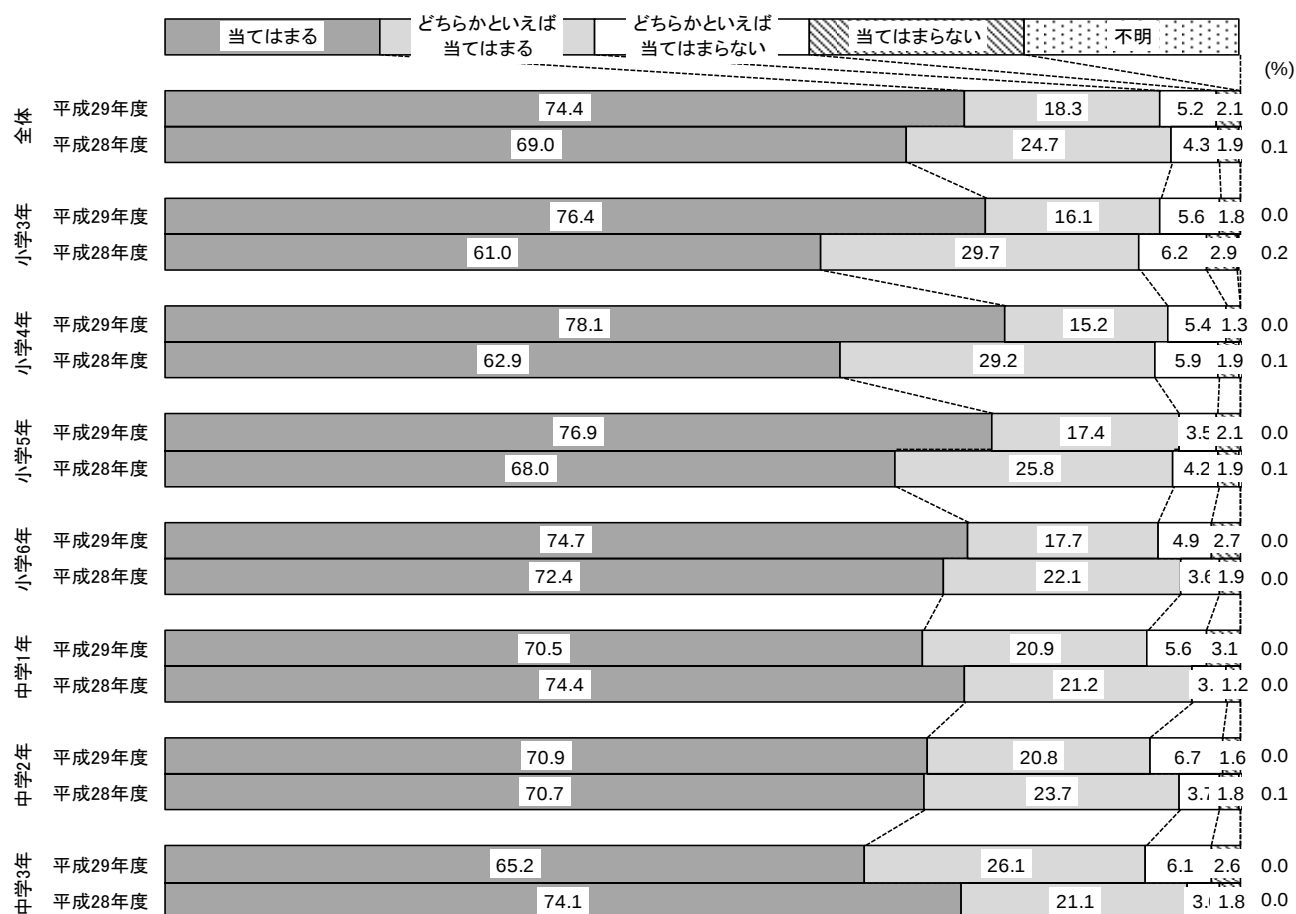
1 (24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。

「今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 93.7%から 92.7%へ減少し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 6.2%から 7.3%へ増加しています。

一方で、「当てはまる」という回答の割合は、中学3年以外の学年では増加しており、特に小学3年では 15.4 ポイント、小学4年では 15.2 ポイント増加している。

学年別にみると、全ての学年で肯定的な回答の割合が 90%を超えており、非常に高い水準になっています。

Q1(24)今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。



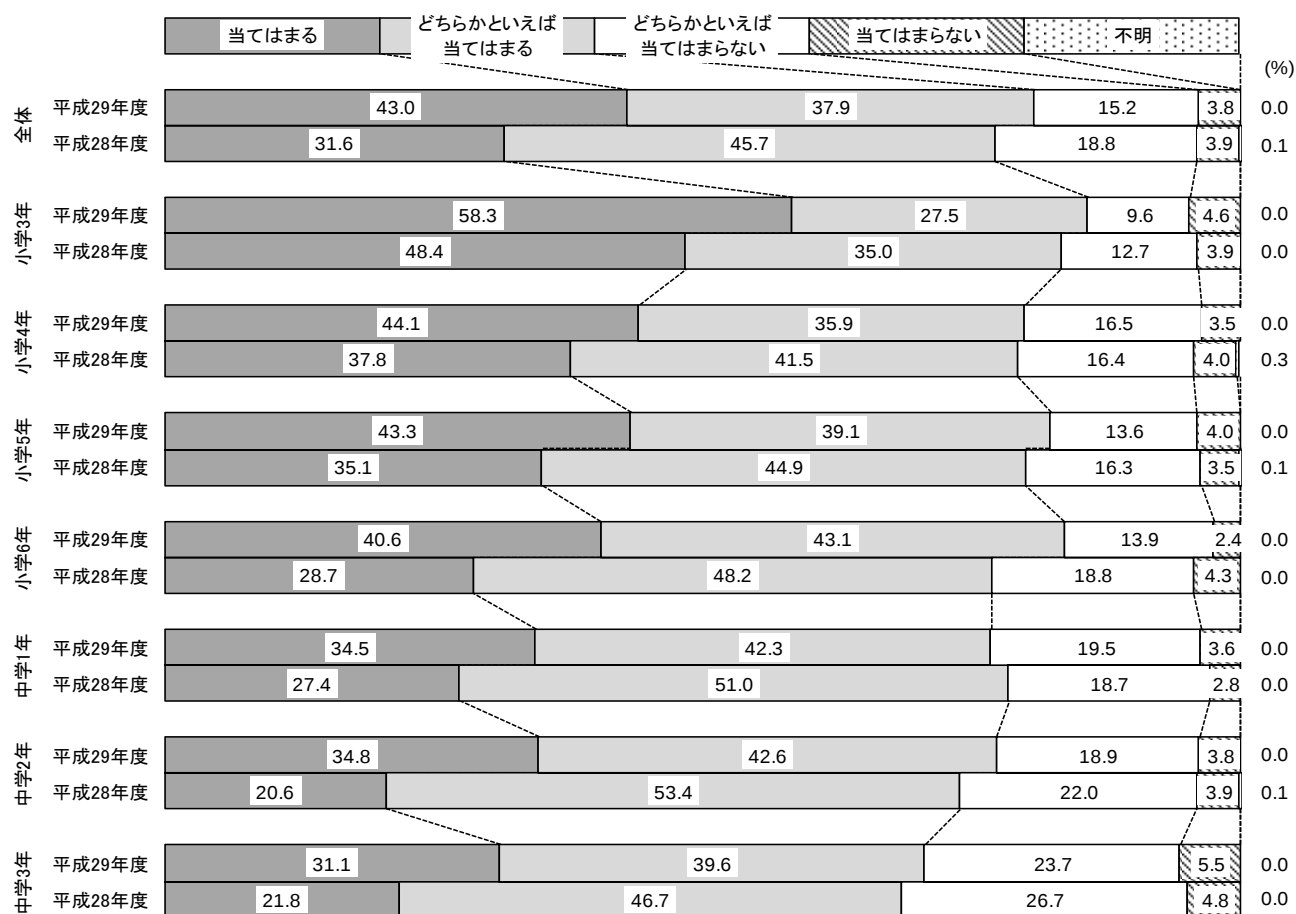
1 (25) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。

「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 77.3%から 80.9%に増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 22.7%から 19.1%に減少しています。

平成28年度と比べると、ほぼ全ての学年で「当てはまる」の回答の割合が大きく増加しており、特に小学3年では 9.9 ポイント、小学6年では 11.9 ポイント、中学2年では 14.2 ポイント中学3年では 9.3 ポイント増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答の割合が、学年が上がるにつれて低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 85.8%で全体よりも 4.9 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 70.7%で全体よりも 10.2 ポイント低くなっています。

Q1(25)難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。



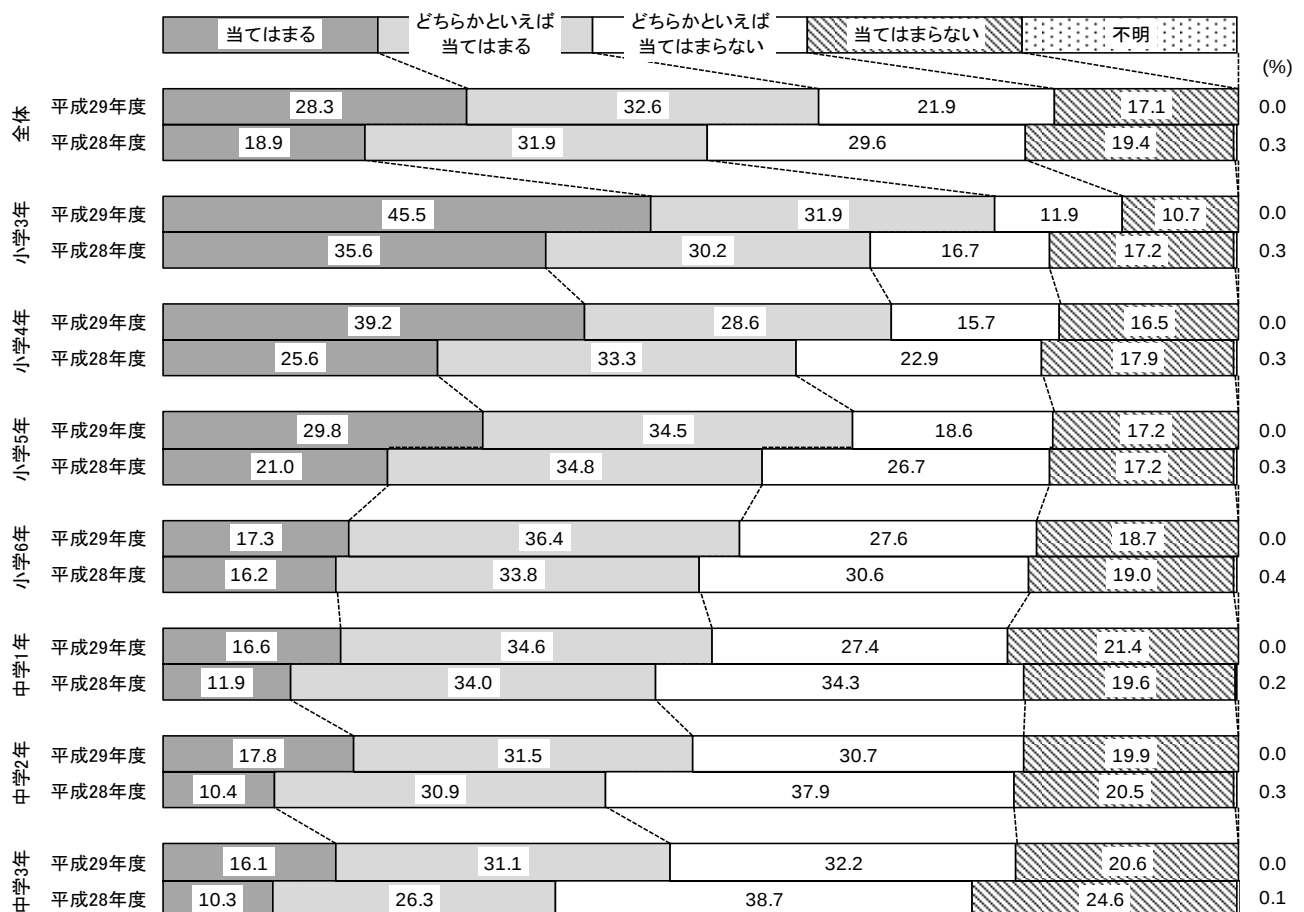
1 (26) 自分のことを好きだと思う。

「自分のことを好きだと思う」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 50.8%から 61.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 49.0%から 39.0%へ減少しています。

平成28年度と比べると、ほぼ全ての学年で「当てはまる」の回答の割合が大きく増加しており、特に小学3年では 9.9 ポイント、小学4年では 13.6 ポイント増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答の割合が、学年が上がるにつれて低くなる傾向があります。肯定的な回答は、最も高いのが小学3年の 77.4%で全体よりも 16.4 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 47.2%で全体よりも 13.8 ポイント低くなっています。

Q1(26)自分のことを好きだと思う。



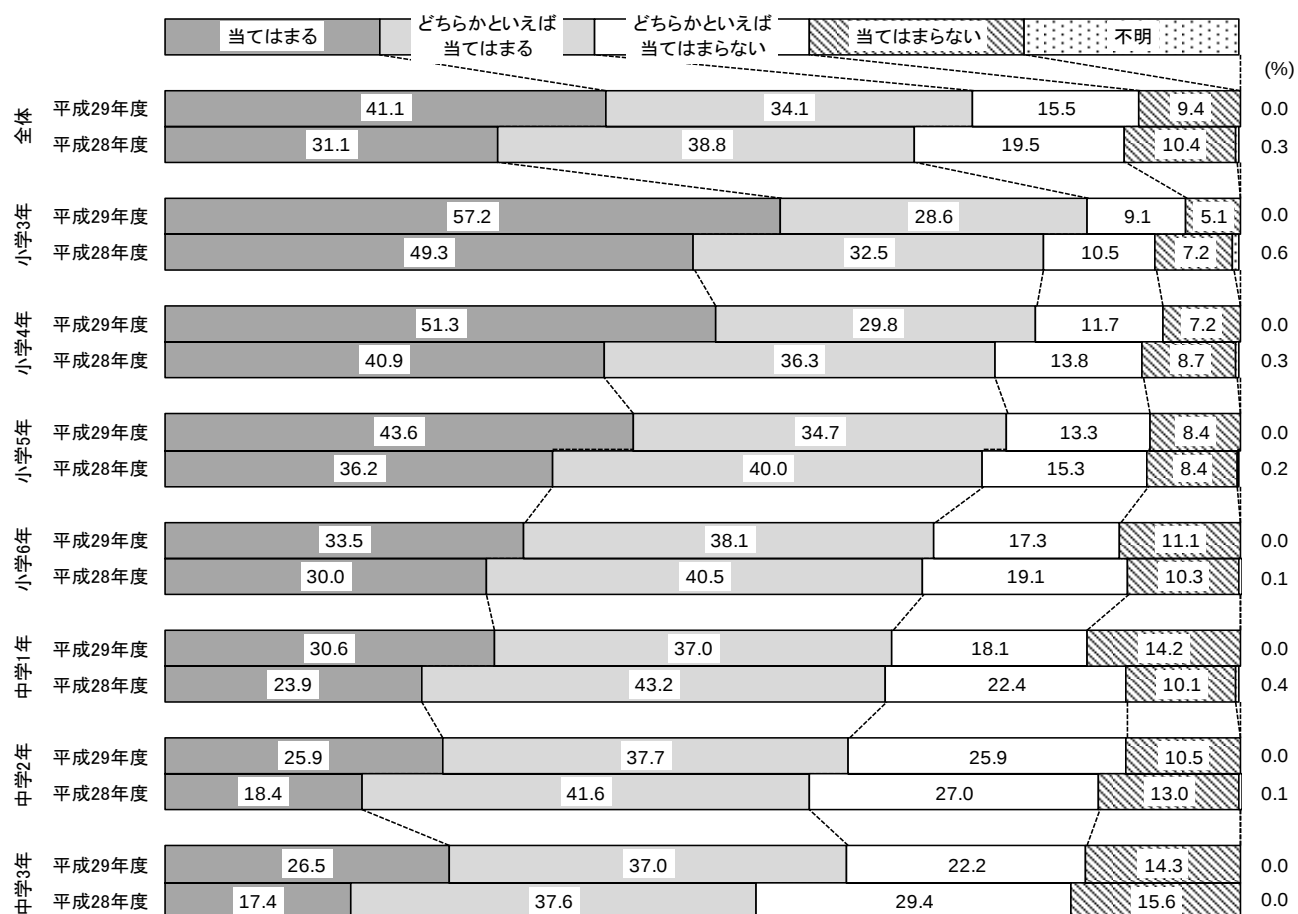
1 (27) 自分には、よいところがあると思う。

「自分には、よいところがあると思う」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 69.9%から 85.8%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 29.9%から 24.8%へ減少しています。

平成28年度と比べると、全ての学年で「当てはまる」の回答の割合が増加しており、特に小学4年では10.4ポイント増加しています。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。最も高いのが小学3年の85.8%で全体よりも10.6ポイント高く、最も低いのが中学3年の63.5%で全体よりも11.7ポイント低くなっています。

Q1(27)自分には、よいところがあると思う。

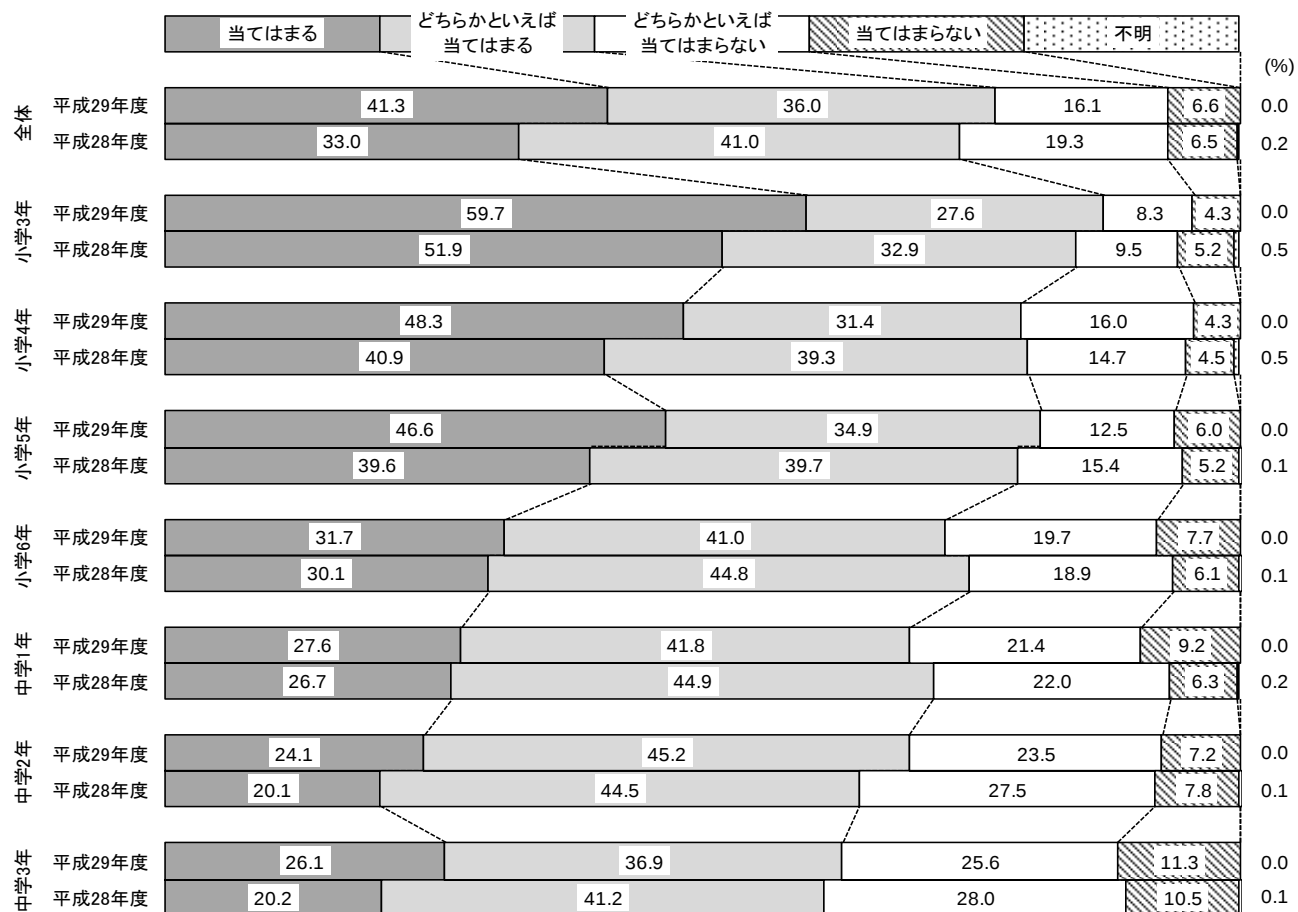


1 (28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。

「自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 74.0%から 77.3%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 25.8%から 22.7%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。最も高いのが小学3年の 87.4%で全体よりも 10.1 ポイント高く、最も低いのが中学3年の 63.1%で全体よりも 14.2 ポイント低くなっています。

Q1(28)自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。

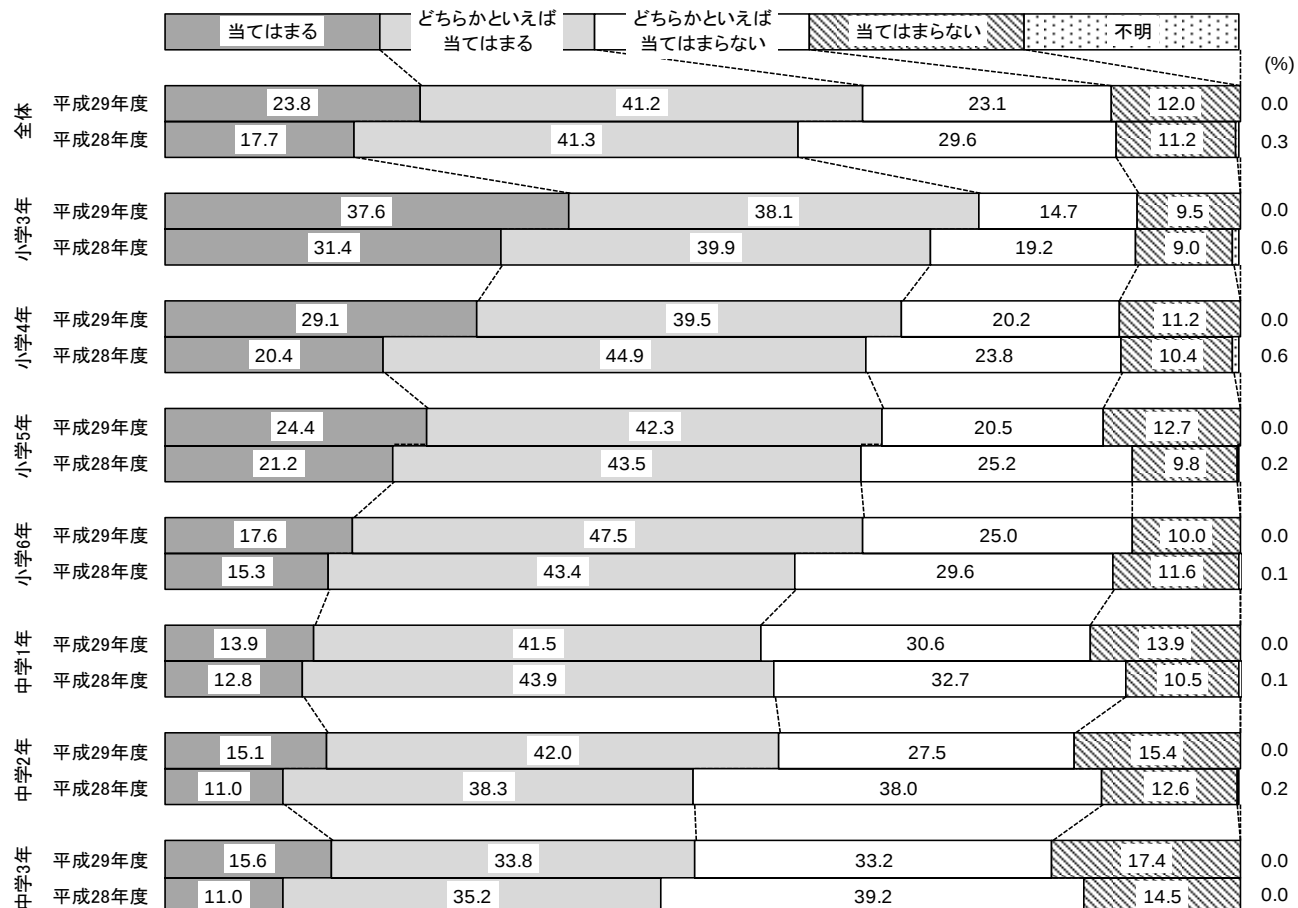


1 (29) 自分は、人の役に立っていると思う。

「自分は、人の役に立っていると思う」については、全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は 59.0%から 65.0%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は 40.8%から 35.0%へ減少しています。

学年別にみると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。特に中学3年では、肯定的な回答の割合が 50%を切っています。

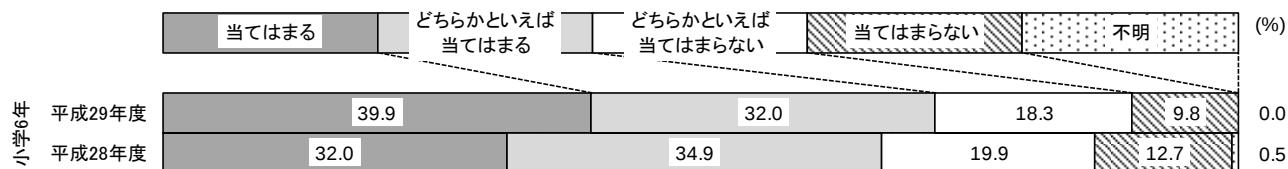
Q1(29)自分は、人の役に立っていると思う。



1 (30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。(小学6年のみ)

小学6年の「いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は66.9%から71.9%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は32.6%から28.1%へ減少しています。

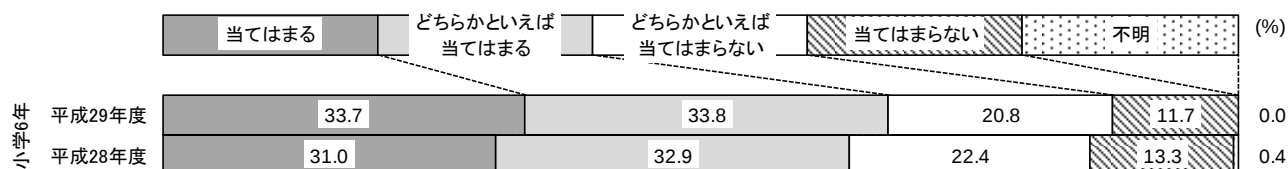
Q1(30)いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。



1 (31) 中学生に親しみを感じる。(小学6年のみ)

小学6年の「中学生に親しみを感じる」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は63.9%から67.6%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は35.7%から32.4%へ減少しています。

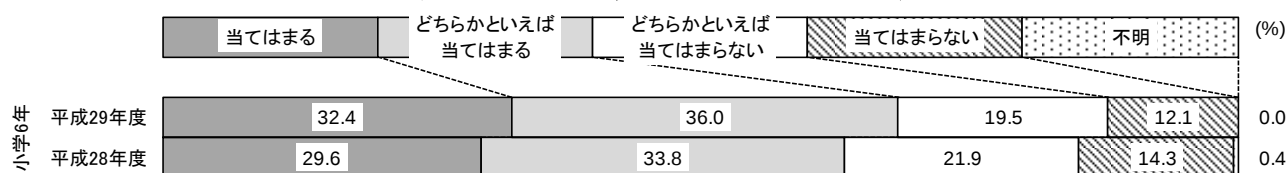
Q1(31)中学生に親しみを感じる。



1 (32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。(小学6年のみ)

小学6年の「中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は63.4%から68.4%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は36.2%から31.6%へ減少しています。

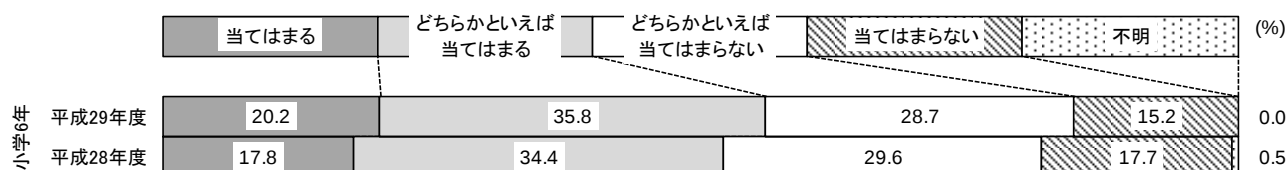
Q1(32)中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。



1 (33) 中学校の先生に親しみを感じる。(小学6年のみ)

小学6年の「中学校の先生に親しみを感じる」については、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計）は52.2%から56.7%へ増加し、否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）は47.3%から43.3%へ減少しています。

Q1(33)中学校の先生に親しみを感じる。



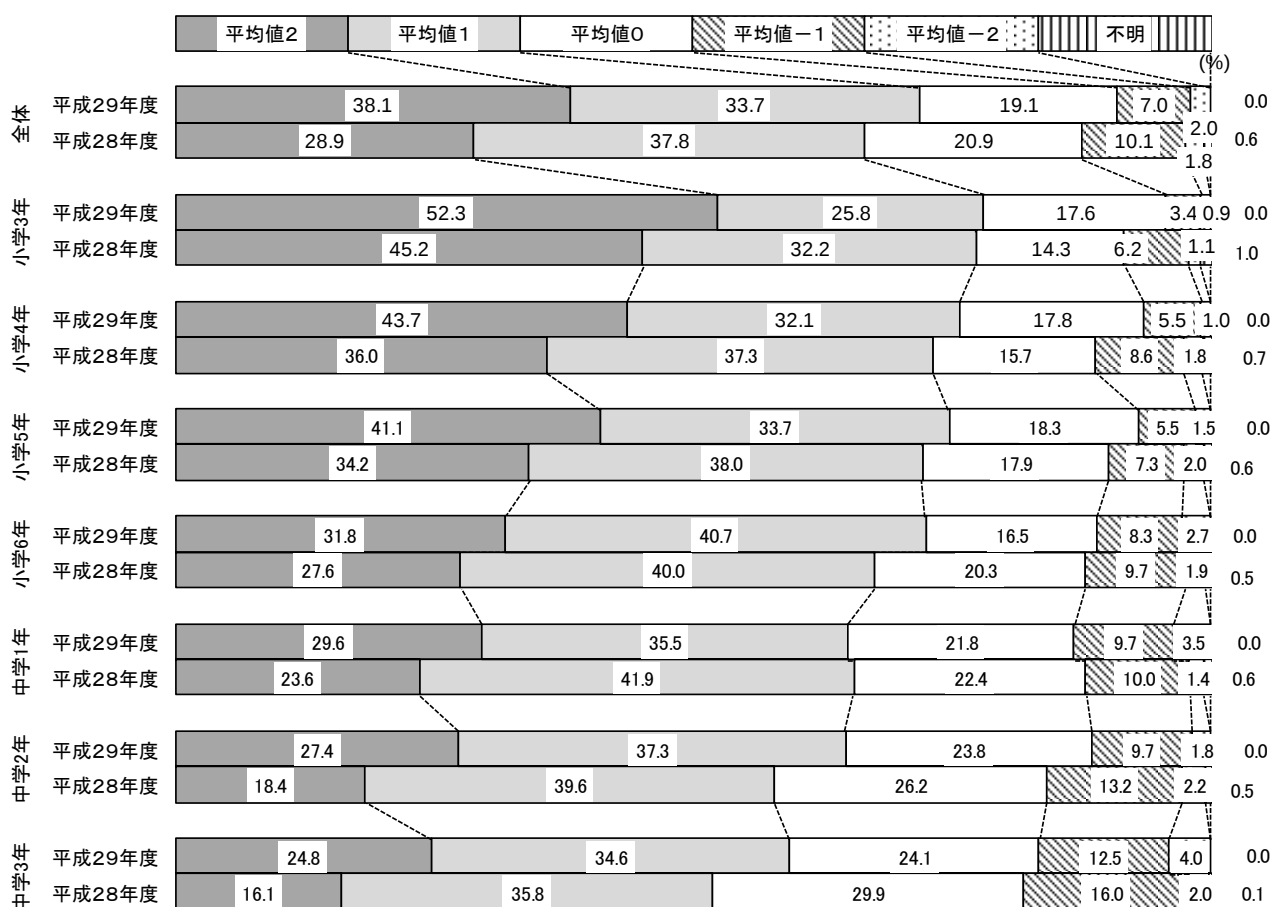
(2) 自己肯定感・自己有用感

〔自己肯定感〕

自己肯定感に関する内容（「今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」「自分のことを好きだと思う」「自分には、よいところがあると思う」）について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を－1点、「当てはまらない」を－2点として平均値を算出したところ、全体では、2点が38.1%、1点が33.7%、0点が19.1%、－1点が7.0%、－2点が2.0%となりました。平均点2と平均点1を合わせた割合は、66.7%から71.8%へ増加しています。

平成28年度と比べると、全ての学年で「平均点2」の割合が増加しており、特に中学2年では9.0ポイント増加するなど、中学2年、中学3年で改善が見られます。

学年別にみると、学年が上がるにつれて、自己肯定感が低くなる傾向にあります。



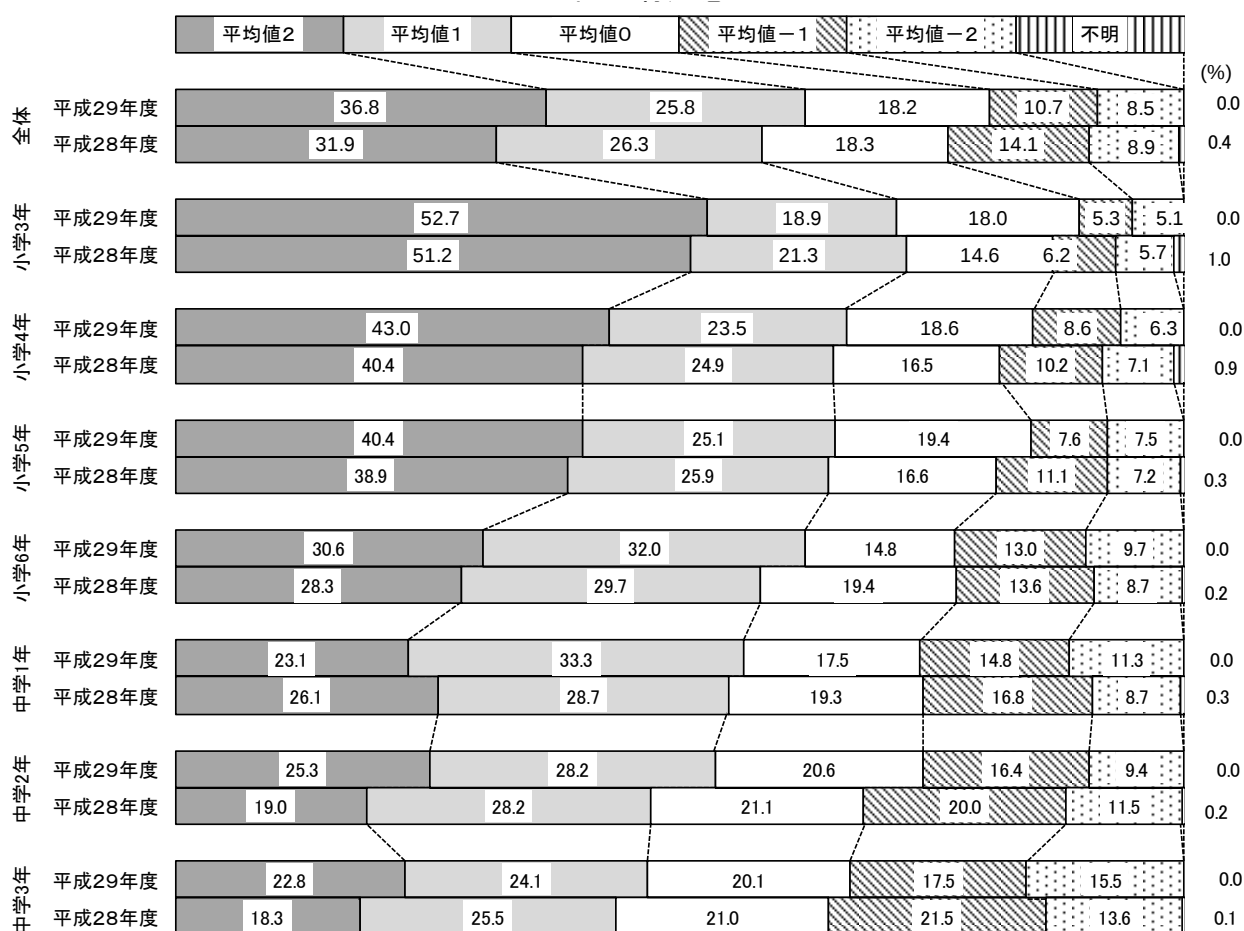
〔自己有用感〕

自己有用感に関する内容（「自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている」「自分は、人の役に立っていると思う」）について、「当てはまる」を2点、「どちらかといえば当てはまる」を1点、「どちらかといえば当てはまらない」を－1点、「当てはまらない」を－2点として平均値を算出したところ、全体では、2点が36.8%、1点が25.8%、0点が18.2%、－1点が10.7%、－2点が8.5%となっています。

平均点2と平均点1を合わせた割合は、58.2%から62.6%へ増加しています。

平成28年度と比べると、ほぼ全ての学年で「平均点2」の割合が増加しており、特に中学2年、中学3年で改善が見られます。

学年別にみると、学年が上がるにつれて、自己有用感が低くなる傾向にあります。

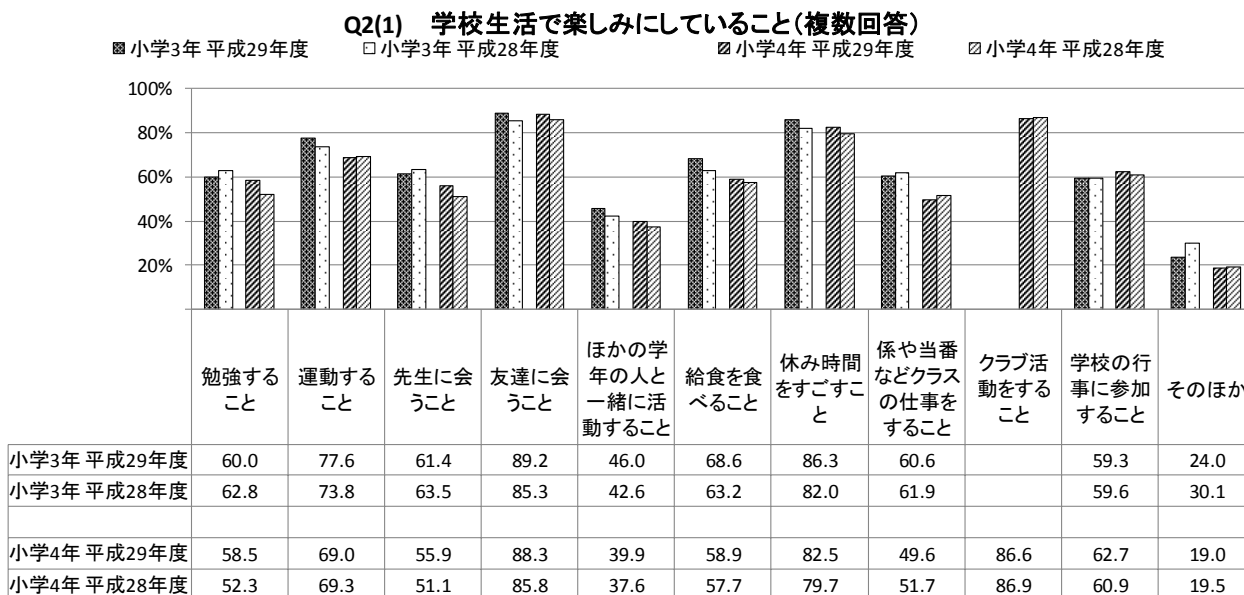


(3) 学校生活について

2 (1) 小学校生活で楽しみにしていること

小学3年・4年の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「友達に会うこと」(3年:89.2%、4年:88.3%)で、次いで「休み時間をすごすこと」(3年:86.3%、4年:82.5%)となっています。また、小学4年では「クラブ活動をする事」が86.6%と高くなっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。



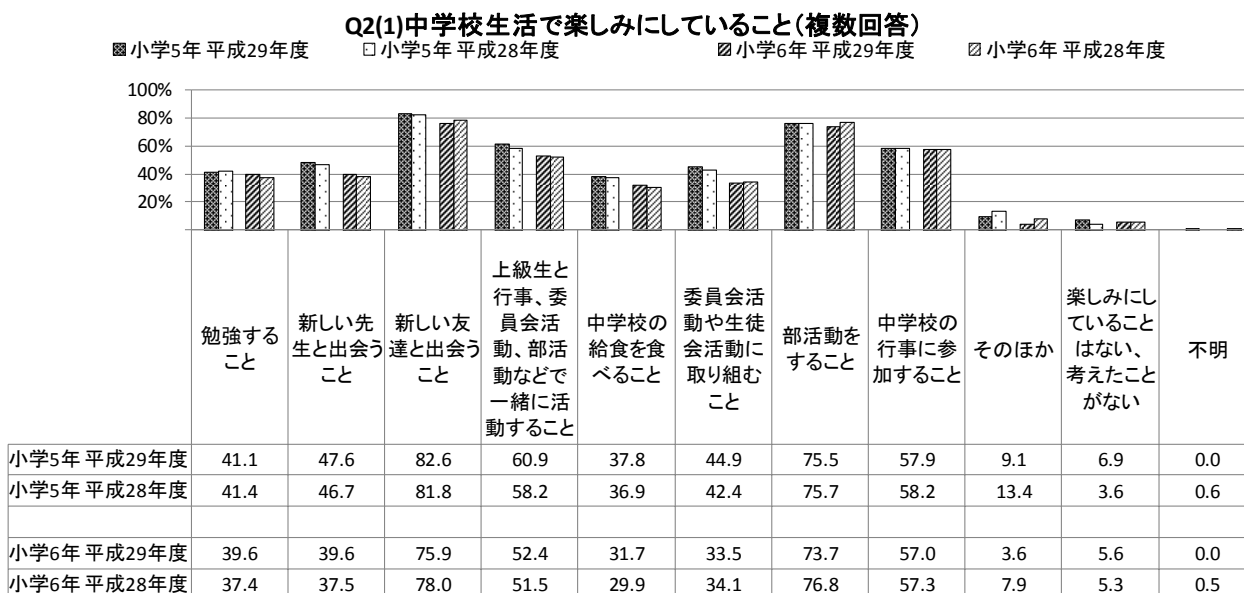
※小学4年のみの選択肢あり

2 (1) 中学校生活で楽しみにしていること

〔小学5年・6年の比較〕

小学5年・6年の「中学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「新しい友達と出会うこと」(5年:82.6%、6年:75.9%)で、次いで「部活動をする事」(5年:75.5%、6年:73.7%)となっています。

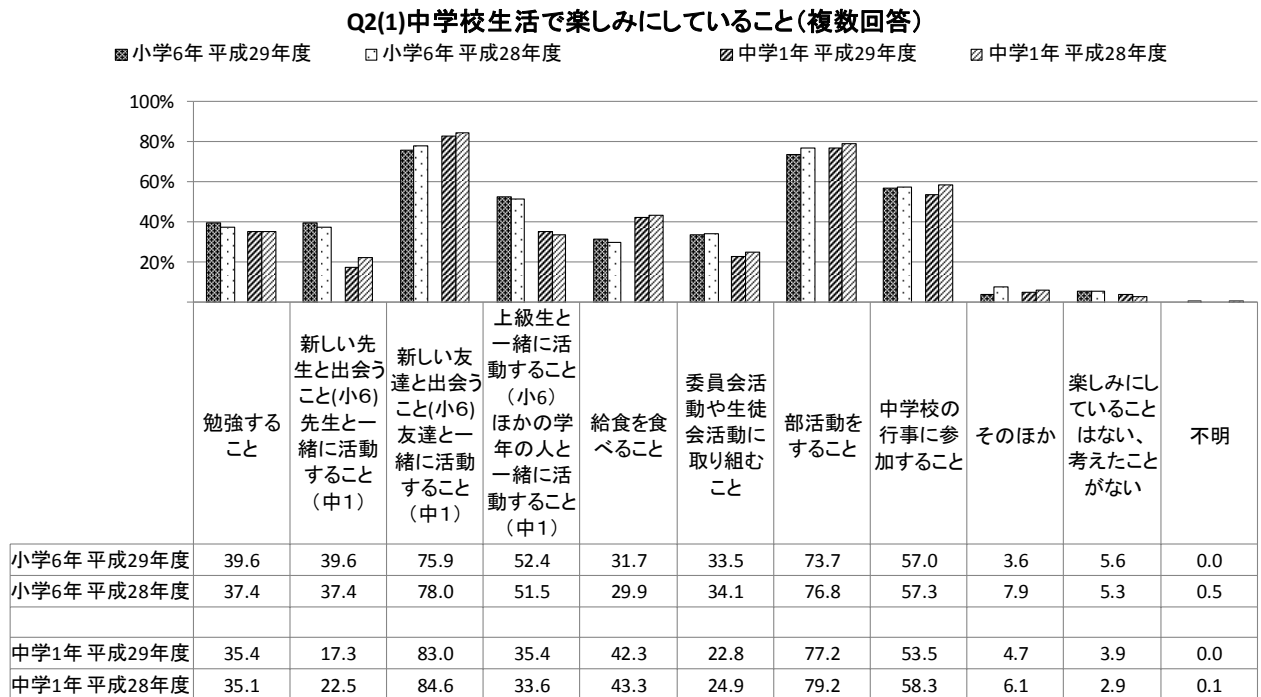
平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。



〔小学6年・中学1年の比較〕

小学6年・中学1年の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「新しい友達と出会うこと」(小学6年：75.9%)「友達と一緒に活動すること」(中学1年：83.0%)で、次いで「部活動をする事」(小学6年：73.7%、中学1年：77.2%)、「中学校の行事に参加すること」(小学6年：57.0%、中学1年：53.5%)となっています。

また、小学6年の「新しい先生と出会うこと」が39.6%、「上級生と一緒に活動すること」が52.4%であるのに対して、中学1年ではそれぞれ17.3%(-22.3ポイント)、35.4%(-17.0ポイント)となっており、中学校入学前と入学後で大きな差があります。



※小学6年、中学1年のみの選択肢あり

〔中学1年～中学3年の比較〕

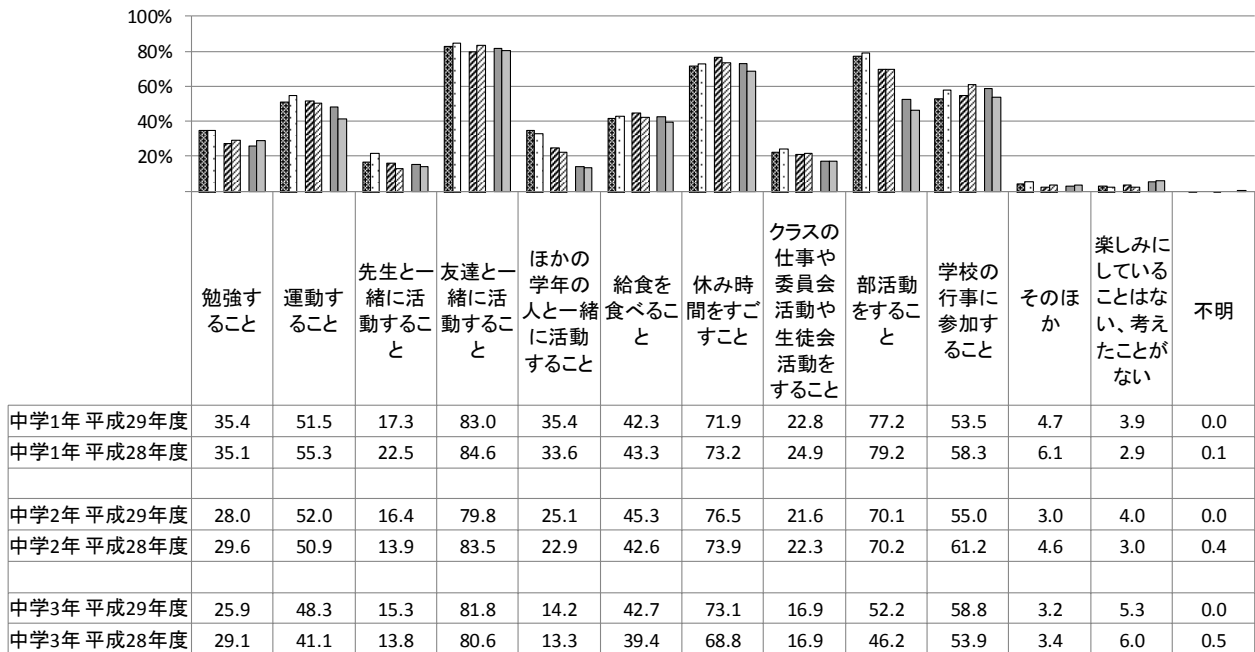
中学生の「学校生活で楽しみにしていること」については、最も高かったのが「友達と一緒に活動すること」（1年：83.0%、2年：79.8%、3年：81.8%）で、次いで「休み時間を過ごすこと」（1年：71.9%、2年：76.5%、3年：73.1%）、「部活動をする事」（1年：77.2%、2年：70.1%、3年：52.2%）となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

また、「ほかの学年の人と一緒に活動すること」「部活動に参加すること」は、学年が上がるにつれて、回答の割合が減少する傾向にあります。

Q2(1) 中学生：学校生活で楽しみにしていること(複数回答)

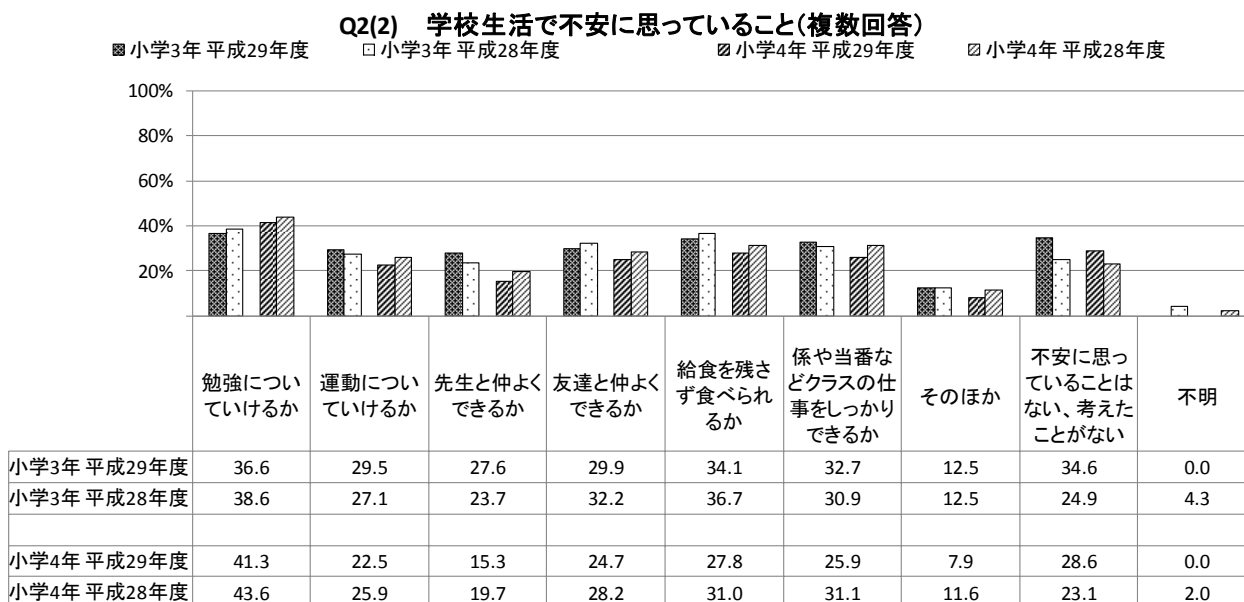
■ 中学1年 平成29年度 □ 中学1年 平成28年度 ▨ 中学2年 平成29年度 ▩ 中学2年 平成28年度 ■ 中学3年 平成29年度 □ 中学3年 平成28年度



2 (2) 小学校生活で不安に思っていること

小学3年・4年の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけるか」(3年:36.6%、4年:43.6%)で、次いで「給食を残さず食べられるか」(3年:34.1%、4年:27.8%)、「係や当番などクラスの仕事をしっかりできるか」(3年:32.7%、4年:25.9%)となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

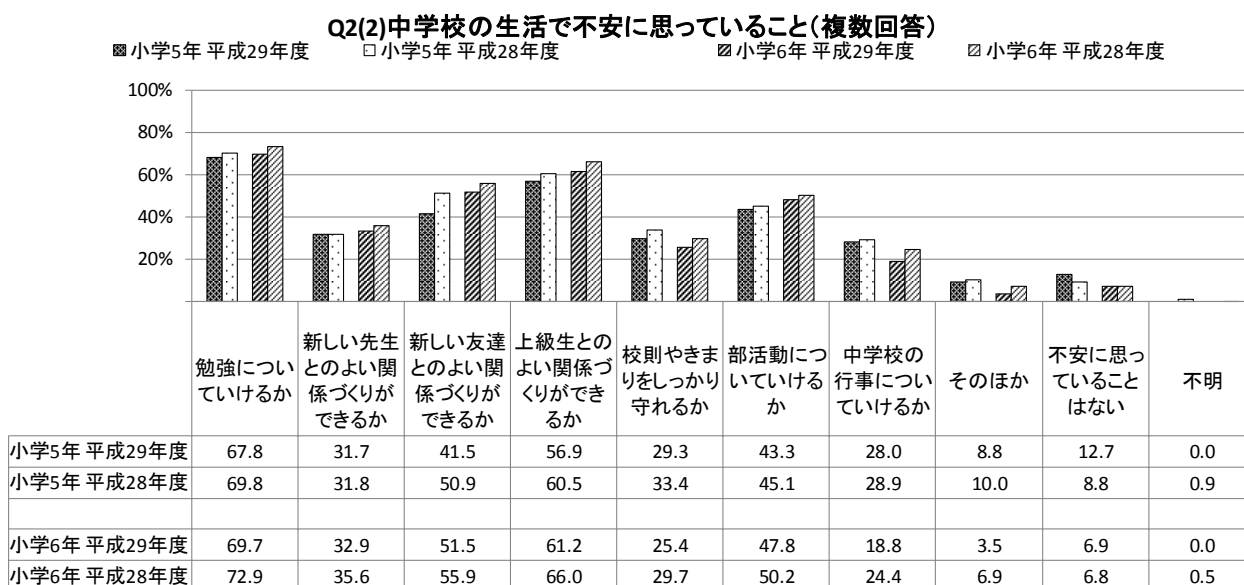


2 (2) 中学校の生活で不安に思っていること

〔小学5年・6年の比較〕

小学5年・6年の「中学校の生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけるか」(5年:67.8%、6年:69.7%)で、次いで「上級生とのよい関係づくりができるか」(5年:56.9%、6年:61.2%)、「新しい友達とのよい関係づくりができるか」(5年:41.5%、6年:51.5%)となっています。

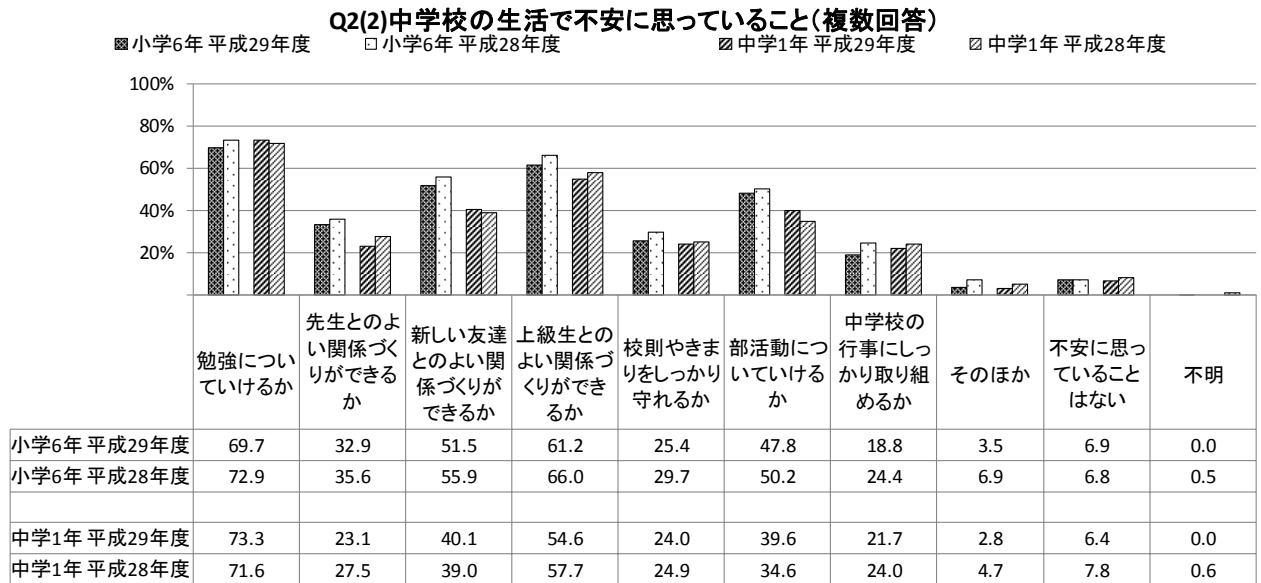
平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。



〔小学6年・中学1年の比較〕

小学6年・中学1年の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけないか」（小学6年：69.7%、中学1年：73.3%）で、次いで「上級生とのよい関係づくりができるか」（小学6年：61.2%、中学1年：54.6%）、「友達とのよい関係づくりができるか」（小学6年：51.5%、中学1年：40.1%）となっています。

また、小学6年の「新しい友達とのよい関係づくりができるか」が 51.5%、「部活動についていけないか」が 47.8%であるのに対して、中学1年ではそれぞれ 40.1%（-11.4 ポイント）、39.6%（-8.2 ポイント）となっており、中学校入学前と入学後で差があります。



※小学6年のみの選択肢あり

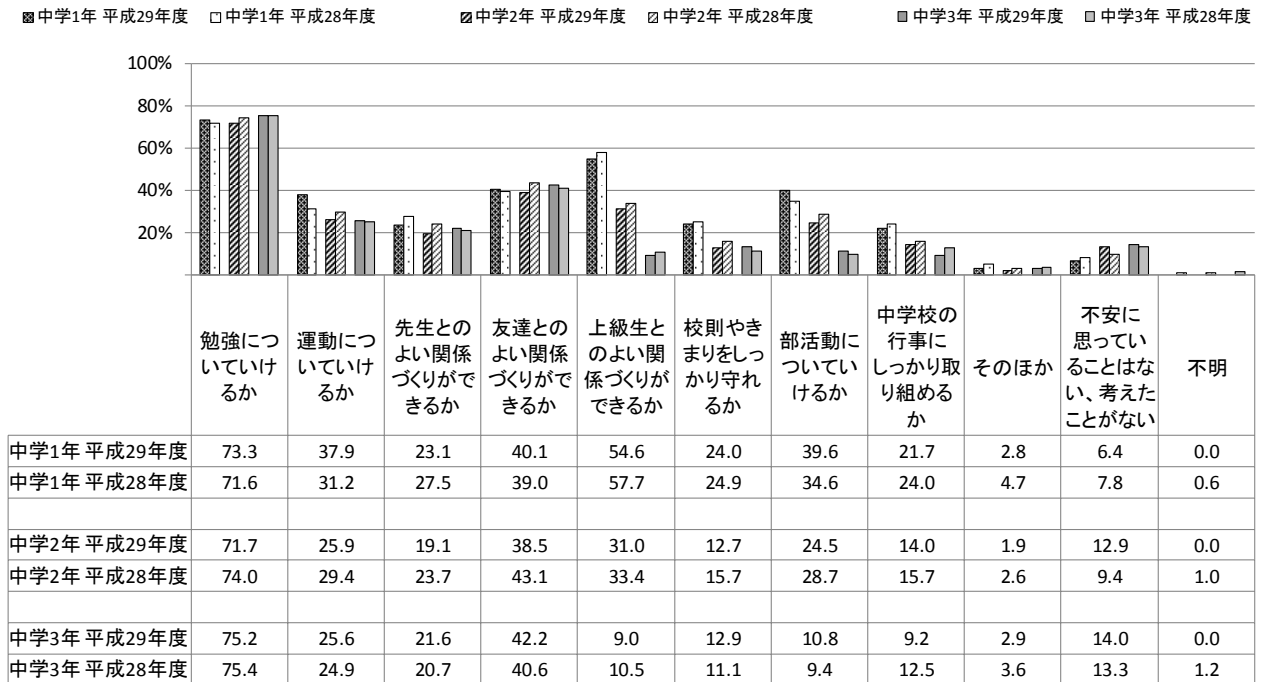
〔中学1年～中学3年の比較〕

中学生の「学校生活で不安に思っていること」については、最も高かったのが「勉強についていけない」（1年：73.3%、2年：71.7%、3年：75.2%）で、次いで「上級生とのよい関係づくりができるか」（1年：54.6%、2年：31.0%、3年：9.0%）、「友達とのよい関係づくりができるか」（1年：40.1%、2年：38.5%、3年：42.2%）となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

また、「上級生とのよい関係づくりができるか」「部活動についていけないか」「中学校の行事にしっかりと取り組めるか」は、学年が上がるにつれて、回答の割合が減少する傾向にあります。

Q2(2) 中学生：学校生活で不安に思っていること(複数回答)



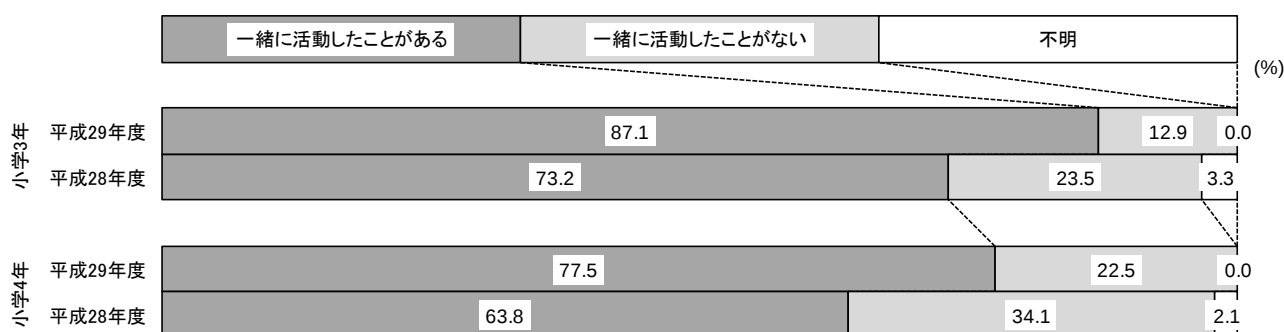
(4) 学校における活動経験について

3 (1) 学校における幼稚園児・保育園児との活動経験

小学3年・4年の「学校における幼稚園児・保育園児との活動経験」については、「一緒に活動したことがある」が3年で73.2%から87.1%へ、4年で63.8%から77.5%へ増加しました。

また、「一緒に活動したことがない」が3年で23.5%から12.9%へ、4年で34.1%から22.5%へ減少しました。

Q3(1)学校における幼稚園児・保育園児との活動経験

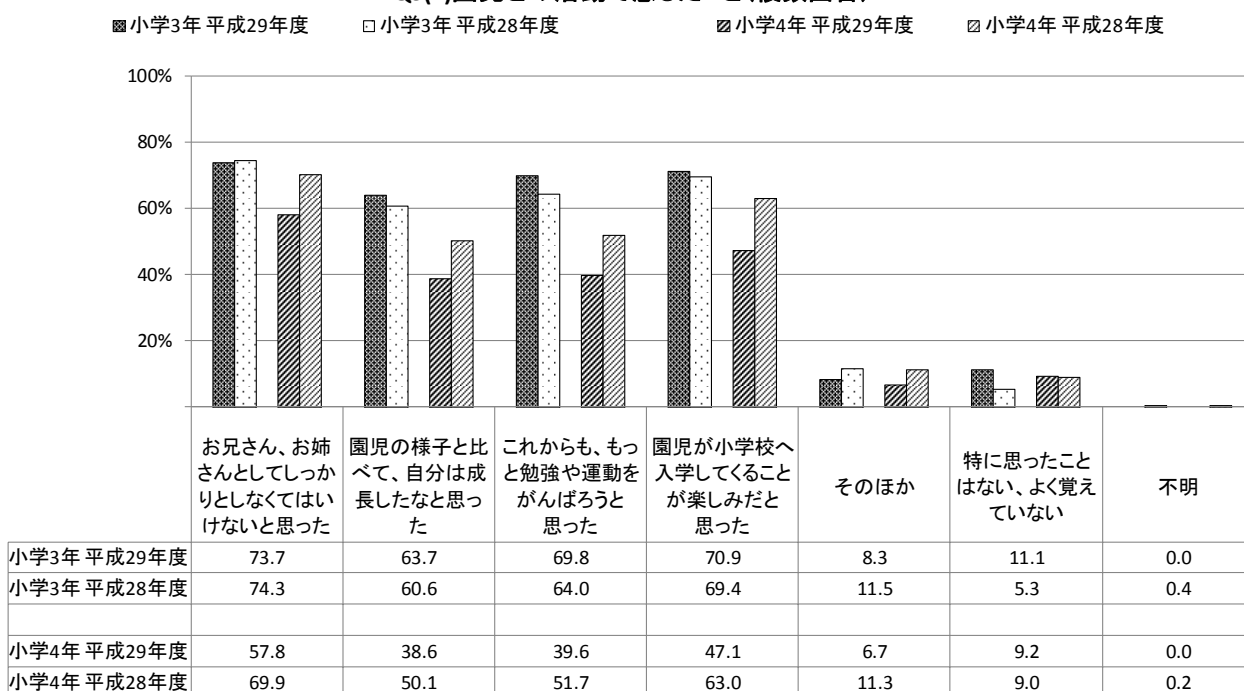


3 (2) 園児との活動で感じたこと

小学3年・4年（活動経験者）の「園児との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「お兄さん、お姉さんとしてしっかりとしなくてはいけないと思った」（3年：73.7%、4年：57.8%）で、次いで「園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った」（3年：70.9%、4年：47.1%）、「これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った」（3年：69.8%、4年：39.6%）となっています。

平成28年度と比べて、小学4年の「お兄さん、お姉さんとしてしっかりとしなくてはいけないと思った」「園児の様子と比べて、自分は成長したなと思った」「これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った」「園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った」は、10ポイント程度減少しています。

Q3(2)園児との活動で感じたこと(複数回答)

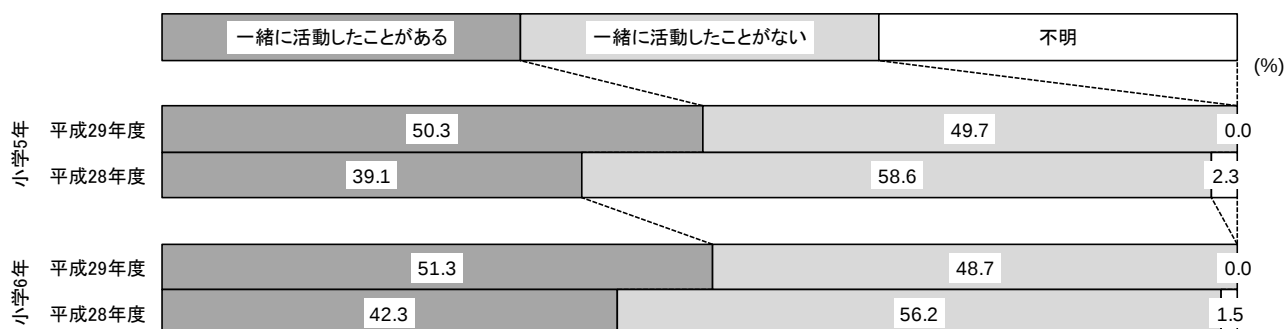


③ (1) 学校における中学生との活動経験

小学5年・6年の「学校における中学生との活動経験」については、「一緒に活動したことがある」が5年で39.1%から50.3%へ、6年で42.3%から51.3%へ増加しました。

また、「一緒に活動したことがない」が5年で58.6%から49.7%へ、6年で56.2%から48.7%へ減少しています。

Q3(1)学校における中学生との活動経験

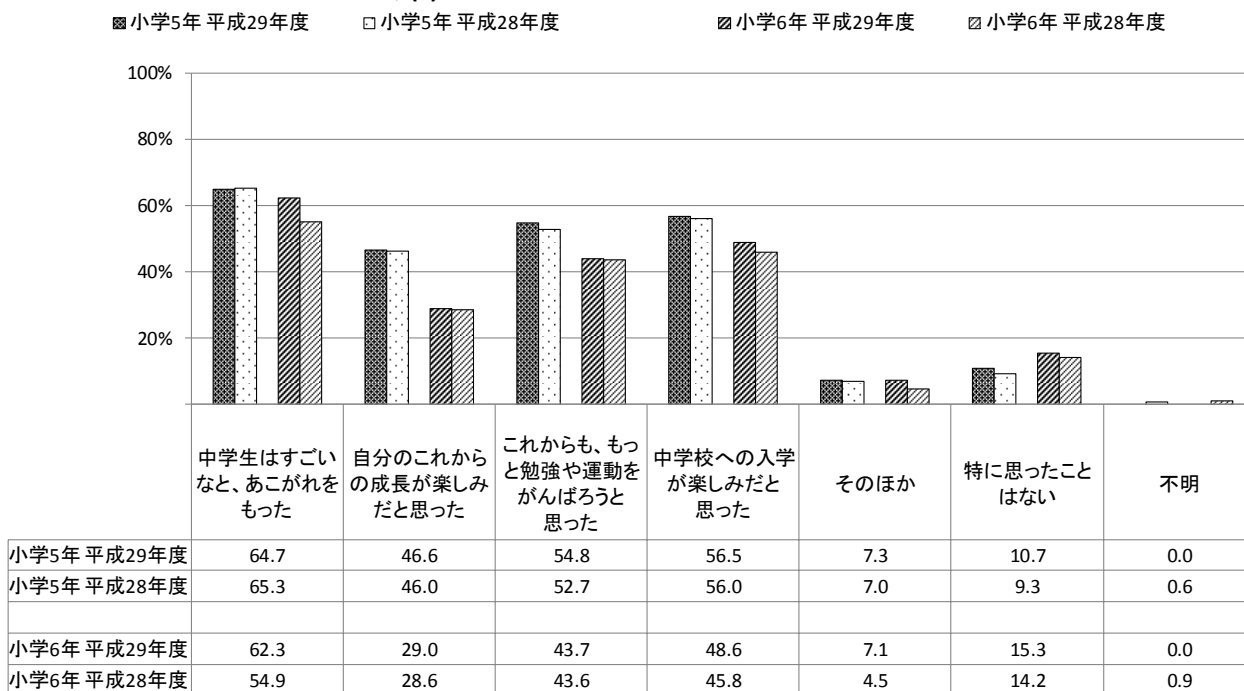


③ (2) 中学生との活動で感じたこと

小学5年・6年（活動経験者）の「中学生との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「中学生はすごいなと、あこがれをもった」（5年：64.7%、6年：62.3%）で、次いで「中学校への入学が楽しみだと思った」（5年：56.5%、6年：48.6%）、「これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った」（5年：54.8%、6年：43.7%）となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

Q3(2)中学生との活動で感じたこと(複数回答)

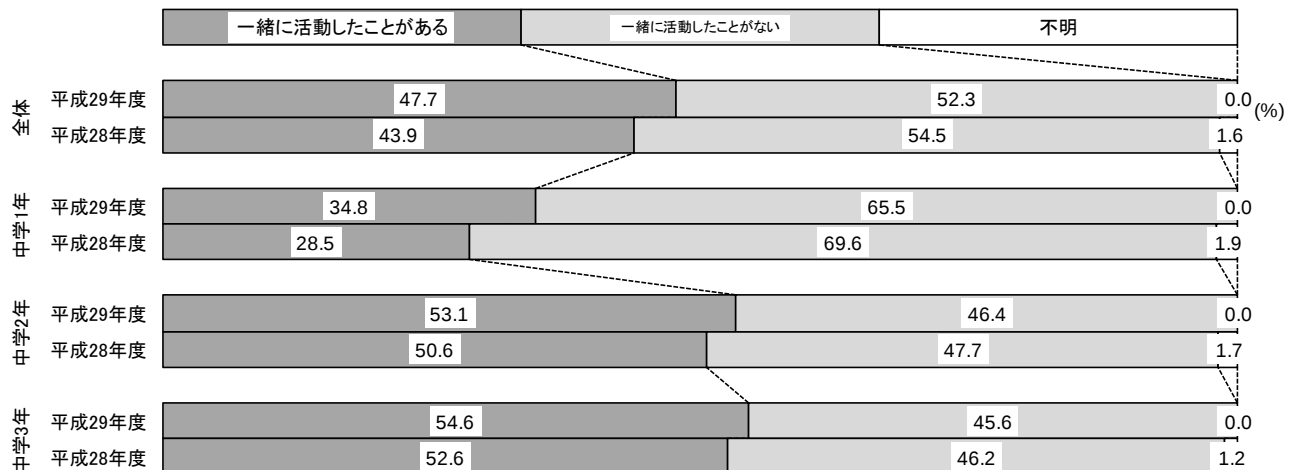


3 (1) 学校における園児・小学生との活動経験

中学生の「学校における園児・小学生との活動経験」については、全体では「一緒に活動したことがある」が43.9%から47.7%へ増加し、「一緒に活動したことがない」が54.5%から52.3%へ減少しています。

学年別にみると、学年が上がるにつれ、「一緒に活動したことがある」（1年：34.8%、2年：53.1%、3年：54.6%）の割合が高くなる傾向にあります。

Q3(1) 中学生：学校における園児・小学生との活動経験

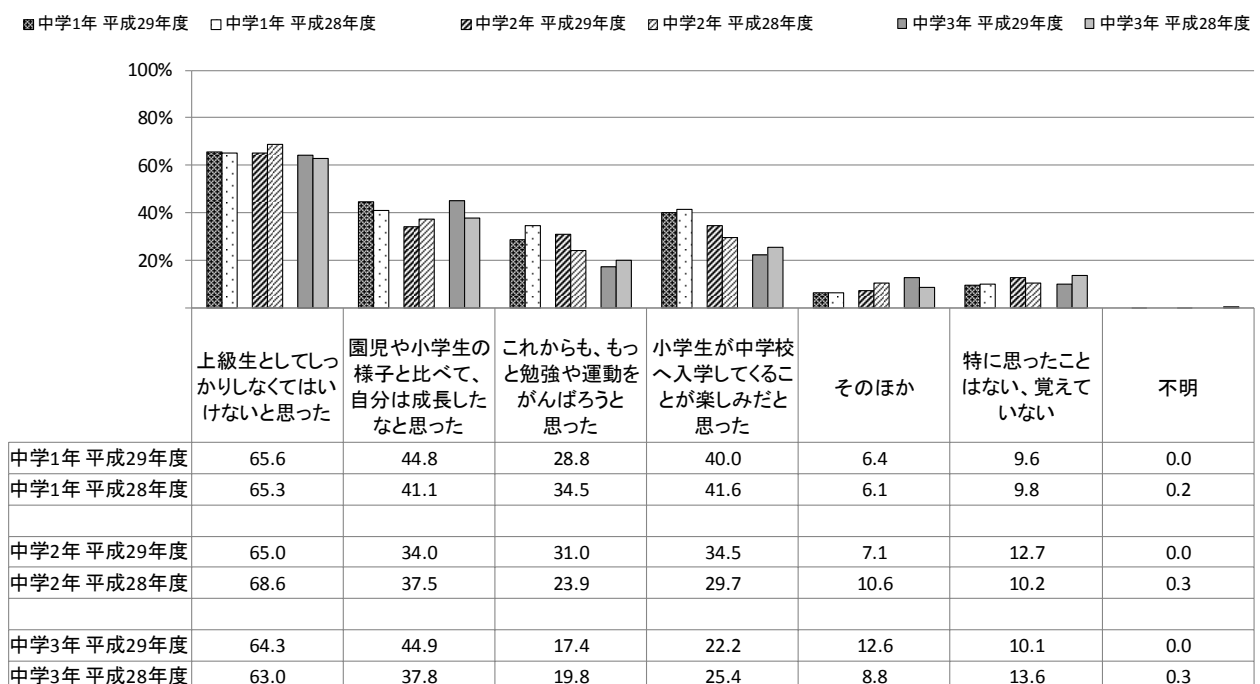


3 (2) 園児・小学生との活動で感じたこと

中学生（活動経験者）の「園児・小学生との活動で感じたこと」については、最も高かったのが「上級生としてしっかりしなくてはいけないと思った」（1年：65.6%、2年：65.0%、3年：64.3%）で、次いで「園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したなと思った」（1年：44.8%、2年：34.0%、3年：44.9%）、「小学生が中学校へ入学してくることが楽しみだと思った」（1年：40.0%、2年：34.5%、3年：22.2%）となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

Q3(2)園児・小学生との活動で感じたこと(複数回答)



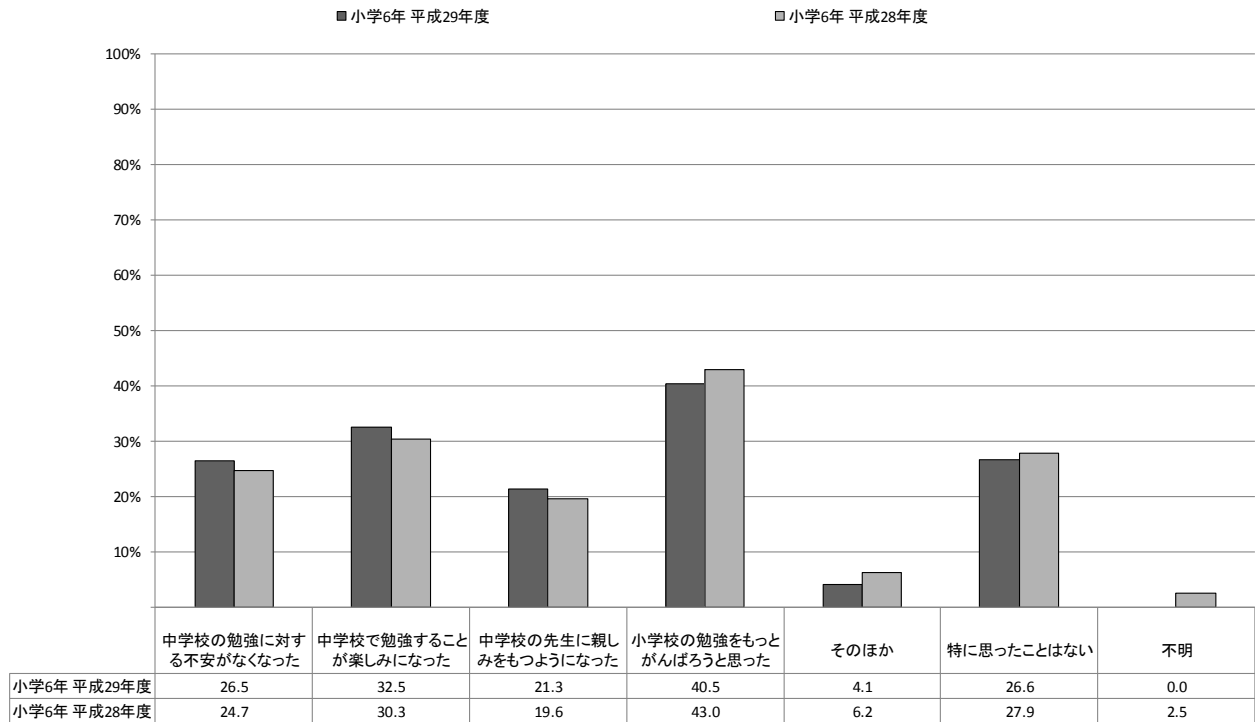
(5) 中学生の先生が参加する授業（乗り入れ授業）で感じたことについて

4 中学生の先生が参加する授業で感じたこと

小学6年の「中学生の先生が参加する授業で感じたこと」については、最も高かったのが「小学校の勉強をもっとがんばろうと思った」で40.5%、次いで「中学校で勉強することが楽しみのになった」が32.5%、「中学校の勉強に対する不安がなくなった」が26.5%となっています。

平成28年度と比べて、回答の割合に大きな変化はありません。

Q4 小学6年生:中学校教師参加授業で感じたこと(複数回答)



第3部 資料（調査票）

＜小学3年生調査票＞

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

小学校第3学年
調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

1 この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。

2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。

3 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかというくらい当てはまる	どちらかというくらい当てはまらない	当てはまらない
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(3) 3年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、いろいろな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

2 あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 勉強すること

2 運動すること

3 先生に会うこと

4 友達に会うこと

5 ほかの学年の人と一緒に活動すること

6 給食を食べること

7 休み時間をすごすこと

8 係や当番などクラスの仕事をすること

9 学校の行事に参加すること

10 そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。

()

11 楽しんでいることはない、考えたことがない

2 学校生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 勉強についていけない

2 運動についていけない

3 先生と仲よくできるか

4 友達と仲よくできるか

5 給食を残さずに食べられるか

6 係や当番などクラスの仕事をしっかりとできるか

7 そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。

()

8 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

	当てはまる	どちらかというくらい当てはまる	どちらかというくらい当てはまらない	当てはまらない
(14) はほぼ毎日、早起きをして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の人と、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を含めると、2時間より短い。	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の人がいる。	1	2	3	4
(23) なりた職業や将来の夢があったり、目標にする人がある。	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第3学年

3 あなたは、幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、入学してから今までに、秋まつりや昔遊びなど、学校で幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

1 一緒に活動したことがある

2 一緒に活動したことがない

2 【1で「一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

あなたは、園児と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 お兄さん、お姉さんとしてしっかりと役割をこなすことができた

2 園児の様子と比べて、自分は成長したと思った

3 これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った

4 園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った

5 そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。

()

6 特に思ったことはない、よく覚えていない

<小学4年生調査票>

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

小学校第4学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

- この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
- それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
- 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかというくらい	どちらかというくらい	当てはまらない
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。 ……………	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。 ……………	1	2	3	4
(3) 4年生の授業の内容は、だいたい分かる。 ……………	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。 ……………	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。 ……………	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。 ……………	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。 ……………	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。 ……………	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することが出来る。 ……………	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。 ……………	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。 ……………	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。 ……………	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。 ……………	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

- ② あなたは、**学校生活についてどのように思っていますか。**それぞれの質問に答えてください。

- (1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字や記号を○で囲んでください。

- 勉強すること
- 運動すること
- 先生に会うこと
- 友達に会うこと
- ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 給食を食べること
- 休み時間をすごすこと
- 係や当番などクラスの仕事をすること
- クラブ活動すること
- 学校の行事に参加すること
- そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
- 楽しんでいることはない、考えたことがない

- (2) 学校生活で不満足に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
- 運動についていけない
- 先生と仲よくできるか
- 友達と仲よくできるか
- 給食を残さずに食べられるか
- 係や当番などクラスの仕事をしっかりとできるか
- そのほか→不満足に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
- 不満足に思っていることはない、考えたことがない

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

	当てはまる	どちらかというくらい	どちらかというくらい	当てはまらない
(14) はほぼ毎日、早起きをして、朝ごはんを食べている。 ……………	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。 ……………	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしている。 ……………	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。 ……………	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。 ……………	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。 ……………	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。 ……………	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。 ……………	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。 ……………	1	2	3	4
(23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。 ……………	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 ……………	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。 ……………	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。 ……………	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。 ……………	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。 ……………	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。 ……………	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第4学年

- ③ あなたは、**幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。**それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、入学してから今までに、秋まつりや昔遊びなど、**学校で幼稚園や保育園などの園児と一緒に活動したことがありますか。**当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

- (2) 【(1)で「1 一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

- あなたは、園児と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- お兄さん、お姉さんとしてしっかりと役割がなかったと思った
- 園児の様子と比べて、自分は成長したと思った
- これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 園児が小学校へ入学してくることが楽しみだと思った
- そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
- 特に思ったことはない、よく覚えていない

＜小学5年生調査票＞

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

小学校第5学年
調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

1 この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。

2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。

3 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

1 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかという程度	どちらかという程度	当てはまらない
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(3) 5年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、いろいろな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

2 あなたは、中学校の生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) 中学校の生活で楽しみにしていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 勉強すること

2 新しい先生と出会うこと

3 新しい友達と出会うこと

4 上級生と行事、委員会活動、部活動などで一緒に活動すること

5 中学校の給食を食べること

6 委員会活動や生徒会活動に取り組むこと

7 部活動をする

8 中学校の行事に参加すること

9 そのほか→楽しみにしていることをカッパの中に書いてください。

()

10 楽しみにしていることはない、考えたことがない

2 中学校の生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 勉強についていけるか

2 新しい先生とのよい関係づくりができるか

3 新しい友達とのよい関係づくりができるか

4 上級生とのよい関係づくりができるか

5 校則やきまりをしっかりと守れるか

6 部活動についていけるか

7 中学校の行事についていけるか

8 そのほか→不安に思っていることをカッパの中に書いてください。

()

9 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

	当てはまる	どちらかという程度	どちらかという程度	当てはまらない
(14) はほぼ毎日、早起きをして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の人や、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を含めると、2時間より短い。	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	1	2	3	4
(23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第5学年

3 あなたは、中学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

(1) あなたは、入学してから今までに、あいさつ運動や音楽朝会など、学校で中学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

1 一緒に活動したことがある

2 一緒に活動したことがない

2 【1で「一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

あなたは、中学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

1 中学生はすごいなと、あこがれをもった

2 自分のこれからの成長が楽しみだと思った

3 これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った

4 中学校への入学が楽しみだと思った

5 そのほか→思ったことをカッパの中に書いてください。

()

6 特に思ったことはない

<小学6年生調査票>

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

小学校第6学年 調査用紙

() 小学校 (男 ・ 女)

お願い

- この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
- それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
- 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかという程度	どちらかという程度	当てはまる
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。 ……………	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。 ……………	1	2	3	4
(3) 6年生の授業の内容は、だいたい分かる。 ……………	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。 ……………	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。 ……………	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。 ……………	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。 ……………	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。 ……………	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。 ……………	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。 ……………	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。 ……………	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、ていねいな言葉をつかうようにしている。 ……………	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。 ……………	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

- ② あなたは、中学校の生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
- (1) 中学校の生活で楽しみにしていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
 - 新しい先生と出会うこと
 - 新しい友達と出会うこと
 - 上級生と行事、委員会活動、部活動などで一緒に活動すること
 - 中学校の給食を食べること
 - 委員会活動や生徒会活動に取り組むこと
 - 部活動すること
 - 中学校の行事に参加すること
 - そのほか→楽しみにしていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 楽しみにしていることはない、考えたことがない

- ② 中学校の生活で不安に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
 - 新しい先生とのよい関係づくりができるか
 - 新しい友達とのよい関係づくりができるか
 - 上級生とのよい関係づくりができるか
 - 校則やきまりをしっかりと守れるか
 - 部活動についていけない
 - 中学校の行事についていけない
 - そのほか→不安に思っていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 不安に思っていることはない、考えたことがない

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

	当てはまる	どちらかという程度	どちらかという程度	当てはまる
(14) はほぼ毎日、早起きをして、朝ごはんを食べている。 ……………	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。 ……………	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。 ……………	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。 ……………	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。 ……………	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。 ……………	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の人と、学校での出来事についてよく話をする。 ……………	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。 ……………	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。 ……………	1	2	3	4
(23) なりた職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。 ……………	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 ……………	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。 ……………	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。 ……………	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。 ……………	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。 ……………	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。 ……………	1	2	3	4
(30) いろいろな行事などで中学生と交流することは、楽しい。 ……………	1	2	3	4
(31) 中学生に親しみをを感じる。 ……………	1	2	3	4
(32) 中学校の先生が授業に来ることは、楽しみだ。 ……………	1	2	3	4
(33) 中学校の先生に親しみをを感じる。 ……………	1	2	3	4

平成29年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

小学校第6学年

- ③ あなたは、中学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、入学してから今までに、あいさつ運動や音楽朝会など、学校で中学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

- ④ 【(1)で「1一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】
あなたは、中学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 中学生はすごいなと、あこがれをもった
 - 自分のこれからの成長が楽しみだと思った
 - これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
 - 中学校への入学が楽しみだと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- 特に思ったことはない

- ④ あなたは、中学校の先生が参加する授業を受けたときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 中学校の勉強に対する不安が少なくなった
 - 中学校で勉強することが楽しみになった
 - 中学校の先生に親しみをもつようになった
 - 小学校の勉強をもっとがんばろうと思った
 - そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- 特に思ったことはない

＜中学１年生調査票＞

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第１学年

中学校第１学年
調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い

- １ この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
２ それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
３ 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを１つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまらない
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(3) １年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、ていよびな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第１学年

- ② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- １ 勉強すること
２ 運動すること
３ 先生と一緒に活動すること
４ 友達と一緒に活動すること
５ ほかの学年の人と一緒に活動すること
６ 給食を食べること
７ 休み時間過ごすこと
８ クラスの仕事や委員会活動や生徒会活動すること
９ 部活動すること
10 学校の行事に参加すること
11 そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
12 楽しんでいることはない、考えたことがない

- ② 学校生活で不満足に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- １ 勉強についていけない
２ 運動についていけない
３ 先生とのよい関係づくりができるか
４ 友達とのよい関係づくりができるか
５ 上級生とのよい関係づくりができるか
６ 校則やきまりをしっかりと守れるか
７ 部活動についていけない
８ 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
９ そのほか→不満足に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
10 不満足に思っていることはない、考えたことがない

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第１学年

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまらない
(14) はほぼ毎日、早起早寝をして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、１日のうち、テレビやゲームをしてすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、２時間より短い。	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	1	2	3	4
(23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がある。	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第１学年

- ③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを１つ選び、数字を○で囲んでください。

- １ 一緒に活動したことがある
２ 一緒に活動したことがない

- ② 【(1)で「一緒に活動したことがある」を選んだ人だけ答えてください】

- あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- １ 上級生としてしっかりしなくてはいけないと思った
２ 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したと思った
３ これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
４ 小学生が中学校へ入学してることが楽しみだと思った
５ そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
６ 特に思ったことはない、覚えていない

＜中学２年生調査票＞

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第２学年

中学校第２学年
調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い

- 1 この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
2 それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
3 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまらない
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(3) 2年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとるようにしている。	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、ていよびな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第２学年

- ② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
(1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強すること
2 運動すること
3 先生と一緒に活動すること
4 友達と一緒に活動すること
5 ほかの学年の人と一緒に活動すること
6 給食を食べること
7 休み時間をすごすこと
8 クラスの仕事や委員会活動や生徒会活動すること
9 部活動すること
10 学校の行事に参加すること
11 そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
()
12 楽しんでいることはない、考えたことがない

- ② 学校生活で不満足に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 勉強についていけない
2 運動についていけない
3 先生とのよい関係づくりができるか
4 友達とのよい関係づくりができるか
5 上級生とのよい関係づくりができるか
6 校則やきまりをしっかりと守れるか
7 部活動についていけない
8 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
9 そのほか→不満足に思っていることをカッコの中に書いてください。
()
10 不満足に思っていることはない、考えたことがない

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第２学年

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまらない
(14) はほぼ毎日、早起早寝をして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2時間より短い。	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	1	2	3	4
(23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がある。	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4

平成２９年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第２学年

- ③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

- 1 一緒に活動したことがある
2 一緒に活動したことがない

- ② 【1で1 一緒に活動したことがある、を選んだ人だけ答えてください】

- あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 1 上級生としてしっかりしなくてはいけないと思った
2 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したと思った
3 これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
4 小学生が中学校へ入学してくることに楽しみだと思った
5 そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
()
6 特に思ったことはない、覚えていない

< 中学 3 年生調査票 >

平成 2 9 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 3 学年

中学校第 3 学年 調査用紙

() 中学校 (男 ・ 女)

お願い

- この調査は、皆さんの勉強や生活の様子などについて尋ねるものです。
- それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの今の考えに最も近いものを選んで、数字を○で囲んでください。
- 質問を注意深く読み、できるだけ正確に答えてください。

- ① 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものを 1 つずつ選び、数字を○で囲んでください。

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまる
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	1	2	3	4
(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	1	2	3	4
(3) 3 年生の授業の内容は、だいたい分かる。	1	2	3	4
(4) 月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日、家庭学習に取り組んでいる。	1	2	3	4
(5) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	1	2	3	4
(6) 静かに集中して人の話を聞くようにしている。	1	2	3	4
(7) 自分の気持ちや考えを相手に伝えるようにしている。	1	2	3	4
(8) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	1	2	3	4
(9) 順番を待ったり、欲しいものを友達にゆずったりするなど、我慢することができる。	1	2	3	4
(10) 自分や相手の命は大切だと思う。	1	2	3	4
(11) 家や学校で、あいさつや返事をしっかりとするようにしている。	1	2	3	4
(12) 相手や場所に合わせて、ていよびな言葉をつかうようにしている。	1	2	3	4
(13) 学校のきまりや家の約束を守ることができる。	1	2	3	4

平成 2 9 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 3 学年

- ② あなたは、学校生活についてどのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。
- (1) 学校生活で楽しんでいることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強すること
- 運動すること
- 先生と一緒に活動すること
- 友達と一緒に活動すること
- ほかの学年の人と一緒に活動すること
- 給食を食べること
- 休み時間をすごすこと
- クラスの行事や委員会活動や生徒会活動すること
- 部活動すること
- 学校の行事に参加すること
- そのほか→楽しんでいることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 楽しんでいることはない、考えたことがない

- ② 学校生活で不満足に思っていることは何ですか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 勉強についていけない
- 運動についていけない
- 先生とのよい関係づくりができるか
- 友達とのよい関係づくりができるか
- 上級生とのよい関係づくりができるか
- 校則やきまりをしっかりと守れるか
- 部活動についていけない
- 中学校の行事にしっかりと取り組めるか
- そのほか→不満足に思っていることをカッコの中に書いてください。
- ()
- 不満足に思っていることはない、考えたことがない

平成 2 9 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 3 学年

	当てはまる	どちらかというくらいはまる	どちらかというくらいはまる	当てはまる
(14) はほぼ毎日、早起きをして、朝ごはんを食べている。	1	2	3	4
(15) 家や学校で、身の回りの整理や整頓ができています。	1	2	3	4
(16) 学校では、一生懸命、掃除をしています。	1	2	3	4
(17) 家や学校で、決められた時間を守ることができる。	1	2	3	4
(18) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。	1	2	3	4
(19) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	1	2	3	4
(20) きょうだい以外の家の人と、学校での出来事についてよく話をする。	1	2	3	4
(21) 月～金曜日で、1 日のうち、テレビやゲームをすごしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする時間を合わせると、2 時間より短い。	1	2	3	4
(22) よく声をかけてくれたり、話しかけてくれたりする近所の大人がいる。	1	2	3	4
(23) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	1	2	3	4
(24) 今までに、ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	1	2	3	4
(25) 難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している。	1	2	3	4
(26) 自分のことを好きだと思う。	1	2	3	4
(27) 自分には、よいところ(長所)があると思う。	1	2	3	4
(28) 自分は、努力すれば難しいことでもできる力をもっている。	1	2	3	4
(29) 自分は、人の役に立っていると思う。	1	2	3	4

平成 2 9 年度子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査

中学校第 3 学年

- ③ あなたは、園児や小学生と一緒に活動することについて、どのように思っていますか。それぞれの質問に答えてください。

- (1) あなたは、中学校へ入学してから今までに、学校の活動で園児や小学生と一緒に活動したことがありますか。当てはまるものを 1 つ選び、数字を○で囲んでください。

- 一緒に活動したことがある
- 一緒に活動したことがない

- ② 【1 で 1 一緒に活動したことがある、を選んだ人だけ答えてください】

- あなたは、園児や小学生と一緒に活動したときに、どんなことを思いましたか。当てはまるものをすべて選び、数字を○で囲んでください。

- 上級生としてしっかりしなくてはいけないと思った
- 園児や小学生の様子と比べて、自分は成長したと思った
- これからも、もっと勉強や運動をがんばろうと思った
- 小学生が中学校へ入学してることが楽しかったと思った
- そのほか→思ったことをカッコの中に書いてください。
- ()
- 特に思ったことはない、覚えていない

草加市子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート調査報告書

発行年月 平成30年3月

発 行 草加市教育委員会 子ども教育連携推進室

〒340-0015 埼玉県草加市高砂2丁目1番7号 ぶぎん草加ビル4階

電話：048-922-3494（直通）
